

第6次弟子屈町総合計画及び
人口ビジョン・次期てしかがまち・ひと・しごと創生戦略
町民アンケート調査結果

弟子屈町

【目次】

第1章 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の方法	1
3 回収状況	1
4 グラフ中の表記について	1
5 集計にあたっての留意事項について	1
6 標本誤差について	2
第2章 調査結果	3
1 回答者の属性	3
問1 性別	3
問2 年齢	3
問3 家族構成	4
問4 居住地区	5
問5 居住年数	6
問6 通勤・通学先	6
問7 職業	7
2 居住意向	8
問8 町の住みよさ	8
問9 今後の居住意向	11
問10 転居したい理由	14
問11 減少人口対策	18
3 町の取り組み	21
問12 町政等の満足度と重要度	21
【環境について】	21
【産業活性化について】	25
【暮らしについて】	29
【教育について】	33
【人材について】	35
【行政について】	37
■ 町政等の満足度と重要度によるマトリックス分析	40
■ 町政等の満足度点数の推移	53
問13 良くなった取り組みと今後必要な取り組み	55
問14 将来の弟子屈町のイメージ	58
問15 働く場づくりと雇用の促進に向けた取り組み	63
問16 転入者の増加に向けた取り組み	67
問17 転入前の本町情報の収集方法	72
問18 少子化の歯止めに向けた取り組み	76
問19 求める結婚支援策	81
問20 配偶者と出会ったきっかけ	84
問21 地域経済の活性化に向けた取り組み	90

4 町への意見や要望	94
問 22 自由意見.....	94
資料 調査票.....	95

第1章 調査概要

1 調査の目的

この調査は、令和3年度から新たに始まる（仮称）第6次総合計画の策定のため、弟子屈町のまちづくりや施策、行政運営等に対する住民の評価や意向を把握するために実施しました。

2 調査の方法

- ◆調査地域 : 弟子屈町全域
- ◆調査対象 : 令和2年12月1日時点で、弟子屈町に居住する18歳以上の住民 1,000名を住民基本台帳より無作為抽出
- ◆調査方法 : 郵送による配布・回収
- ◆調査時期 : 令和3年1月8日～令和3年1月18日

3 回収状況

- ◇配布数 : 1,000票
- ◇有効回収数 : 394票
- ◇有効回収率 : 39.4%

4 グラフ中の表記について

◇グラフの基数は、特に表記のない限り総数（n=394）です。基数が総数と異なるときには、その都度グラフ上に表記します。

◇各設問において、次の略称を使用しています。

SA：シングルアンサー（一つだけ選択回答）

OLA：リミテッドアンサー（○以内の選択回答）

MA：マルチアンサー（すべての選択回答）

◇クロス集計表において、色分け表記の区分は、以下のとおりとします。

属性内での1位： **XX.X** 属性内での2位： **XX.X**

※ただし、属性内での1位が複数項目ある場合は、属性内での2位には色分けしていません。

※また、属性内での1位が単数項目であり、かつ属性内での2位が複数項目ある場合は、属性内での2位にはすべて色分けしています。

5 集計にあたっての留意事項について

◇調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として小数点以下第2位を四捨五入して算出しており、四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。

◇複数回答形式の場合、回答比率の合計が100%を超える場合があります。

◇図表中の「n」（net）とは、その設問への回答者数を表します。小数点以下第1位まで示した数値は、回答比率（%）です。

◇選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いています。

6 標本誤差について

◇今回の町民意識調査では、18歳以上の住民1,000人を対象としていますが、回収数から見た標本誤差は以下のとおりです。

◇例えばある質問の回答者数が394人で、回答比率が50%であった場合、その回答比率の誤差は、最大で±4.78%以内となることを示しています。

回答比率 基数 (n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,000人	±1.70	±2.27	±2.60	±2.78	±2.83
☞ 394人	±2.87	±3.82	±4.38	±4.68	±4.78
300人	±3.31	±4.41	±5.06	±5.41	±5.52

※母集団である18歳以上人口を、6,115人（12月1日）として計算。

○仮に送付した1,000人全員から回収できた場合、ある設問への回答比率が50%であった場合、その回答比率の誤差（対象者6,115人全員から回答された場合との誤差）は±2.83%となります。

○今回の回収数は394票であり、その場合のある設問への回答比率が50%であった場合、その回答比率の誤差（対象者6,115人全員から回答された場合との誤差）は±4.78%となります。

○調査結果の分析にあたっては、標本誤差を踏まえて行っています。

※クロス集計結果において、ある回答選択肢の全体回答割合と比較し、各クロス項目（属性）の回答割合の差異が10.0%程度以上の場合、有意差があると評価しています。

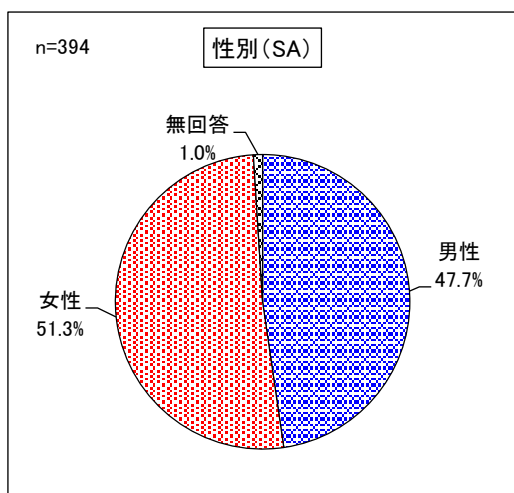
第2章 調査結果

1 回答者の属性

問1 あなたの性別をおたずねします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

【全体】

回答者の性別は、「男性」が47.7%（188人）、女性が51.3%（202人）となっています。なお、「無回答」は1.0%（4人）でした。



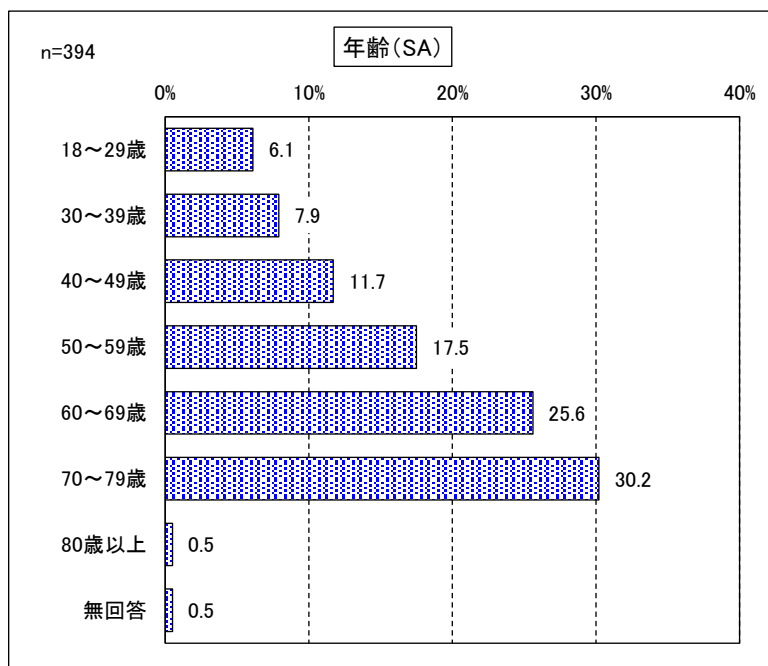
問2 あなたの満年齢をおたずねします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

【全体】

回答者の年齢は、「18～29歳」が6.1%（24人）、「30～39歳」が7.9%（31人）、「40～49歳」が11.7%（46人）、「50～59歳」が17.5%（69人）、「60～69歳」が25.6%（101人）、「70～79歳」が30.2%（119人）、「80歳以上」が0.5%（2人）となっています。

なお、「無回答」は0.5%（2人）でした。

回答者の年齢が上がるにつれ、回答割合が高くなる結果となっています。

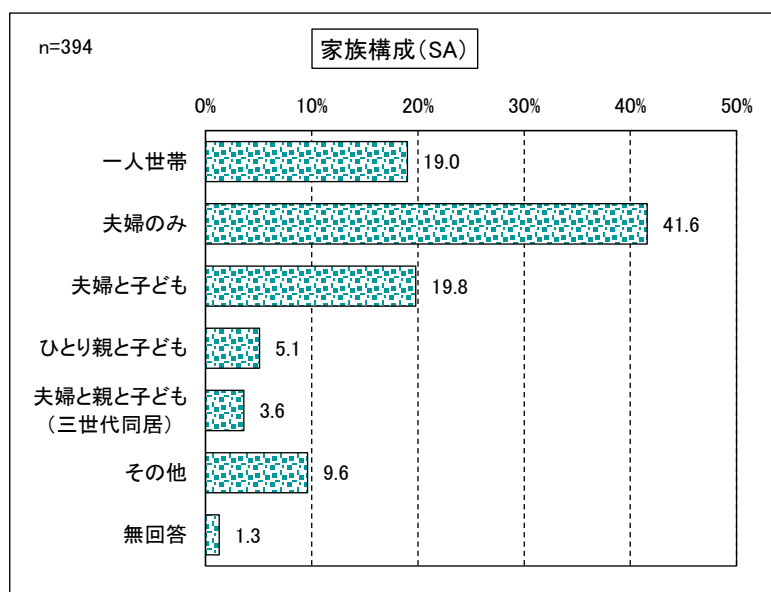


問3 あなたの家族構成をおたずねします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

【全体】

回答者の家族構成は、「一人世帯」が19.0%（75人）、「夫婦のみ」が41.6%（164人）、「夫婦と子ども」が19.8%（78人）、「ひとり親と子ども」が5.1%（20人）、「夫婦と親と子ども（三世代同居）」が3.6%（14人）、「その他」が9.6%（38人）となっています。

なお、「無回答」は1.3%（5人）でした。

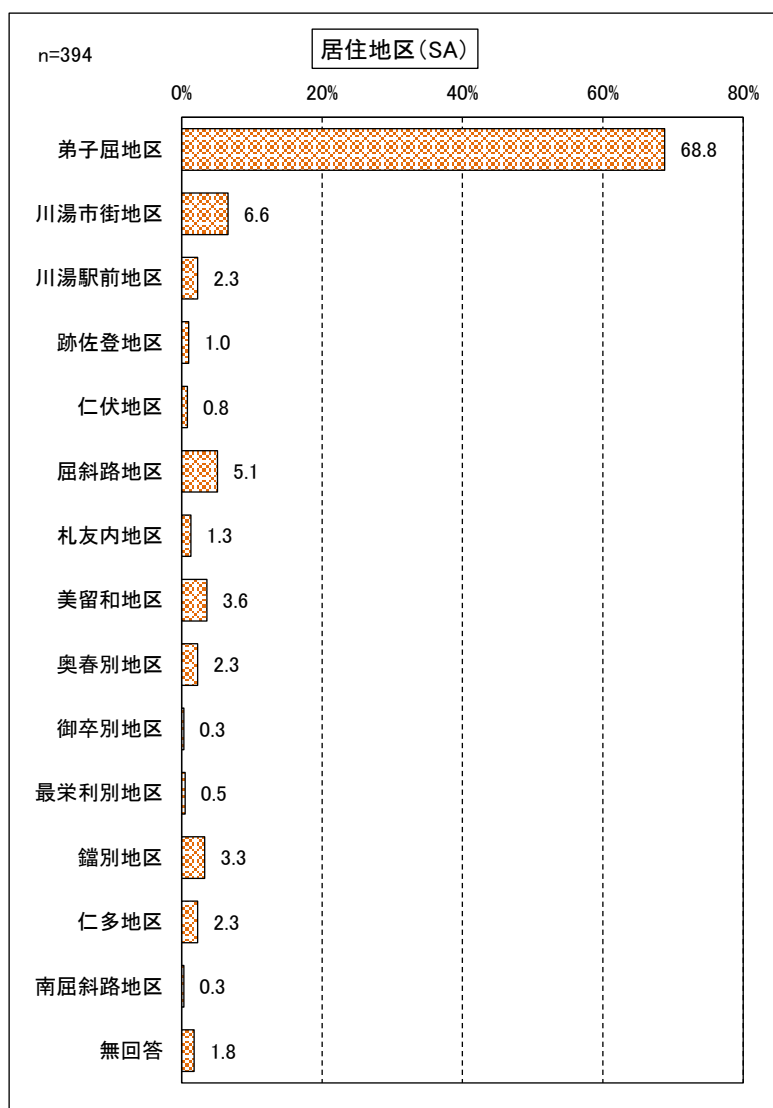


問4 あなたのお住いの地区をおたずねします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

【全体】

回答者の居住地区は、「弟子屈地区」が68.8% (271人)、「川湯市街地区」が6.6% (26人)、「川湯駅前地区」が2.3% (9人)、「跡佐登地区」が1.0% (4人)、「仁伏地区」が0.8% (3人)、「屈斜路地区」が5.1% (20名)、「札友内地区」が1.3% (5人)、「美留和地区」が3.6% (14人)、「奥春別地区」が2.3% (9人)、「御卒別地区」が0.3% (1人)、「最栄利別地区」が0.5% (2人)、「鑑別地区」が3.3% (13人)、「仁多地区」が2.3% (9人)、「南屈斜路地区」が0.3% (1人) となっています。

なお、「無回答」は1.8% (7人) でした。

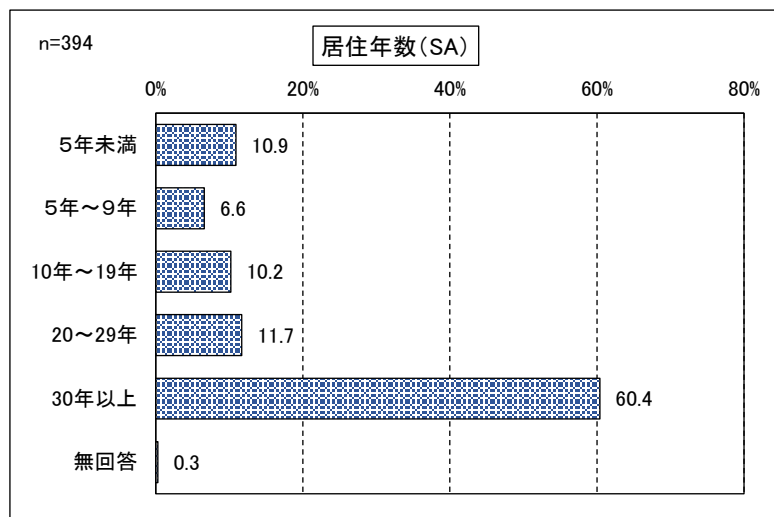


問5 あなたは弟子屈町にお住まいになって、通算何年になりますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

【全体】

回答者の居住年数は、「5年未満」が10.9%（43人）、「5年～9年」が6.6%（26人）、「10年～19年」が10.2%（40人）、「20～29年」が11.7%（46人）、「30年以上」が60.4%（238人）となっています。

なお、「無回答」は1.8%（7人）でした。

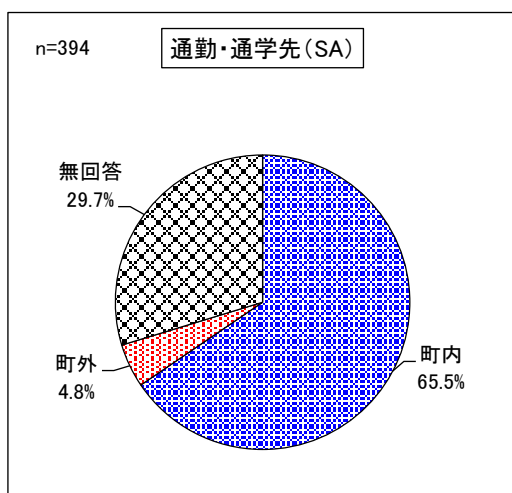


問6 あなたの通勤・通学先はどこですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

【全体】

回答者の通勤・通学先は、「町内」が65.5%（258人）、「町外」が4.8%（19人）となっています。

なお、「無回答」は29.7%（117人）でした。

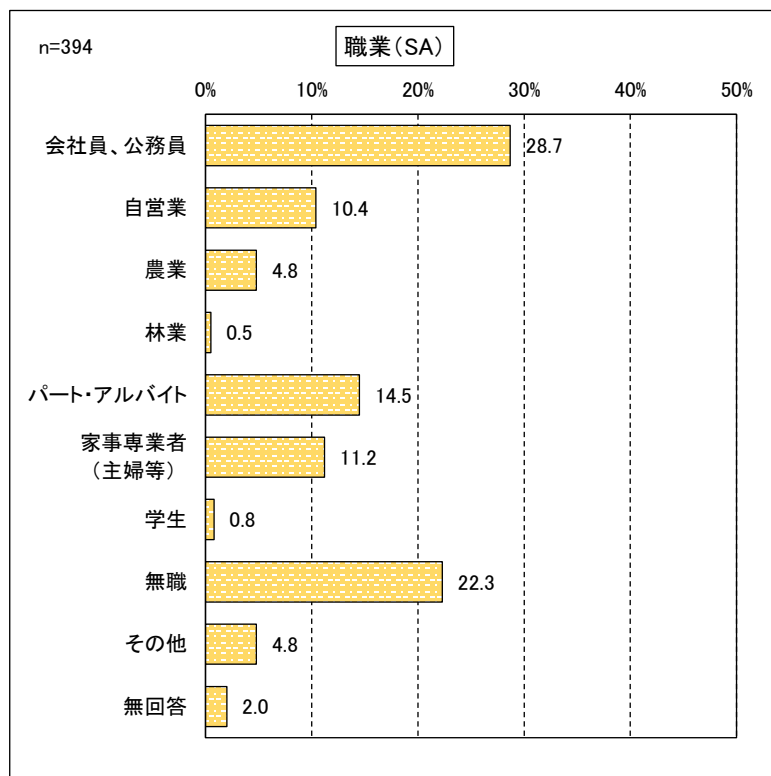


問7 あなたの職業についておたずねします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

【全体】

回答者の職業は、「会社員、公務員」は28.7%（113人）、「自営業」が10.4%（41人）、「農業」が4.8%（19人）、「林業」が0.5%（2人）、「パート・アルバイト」が14.5%（57人）、「家事専業者（主婦等）」が11.2%（44人）、「学生」が0.8%（3人）、「無職」が22.3%（88人）、「その他」が4.8%（19人）となっています。

なお、「無回答」は2.0%（8人）でした。



2 居留意向

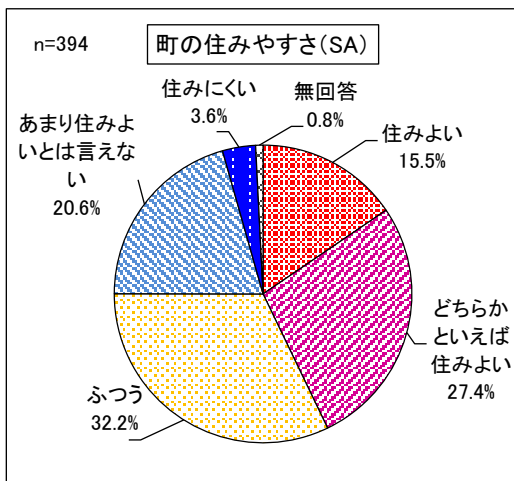
問 8 弟子屈町はあなたにとって住みよいまちだと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

【全体】

本町の住みよさについて、「住みよい」が 15.5%、「どちらかといえば住みよい」が 27.4% となっており、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた“住みよい”は 42.9% と、4割を超える結果となっています。

一方、「あまり住みよいとは言えない」は 20.6%、「住みにくい」は 3.6%となっており、「あまり住みよいとは言えない」と「住みにくい」を合わせた“住みにくい”は 24.2%となっており、約4人に1人が“住みにくい”と回答する結果となっています。

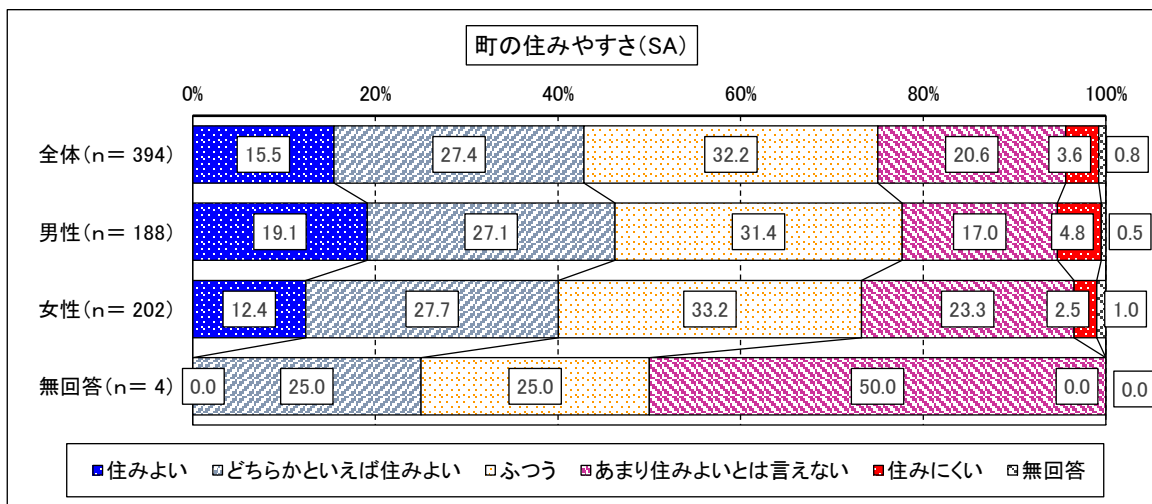
なお、「ふつう」は 32.2%でした。



【属性別】

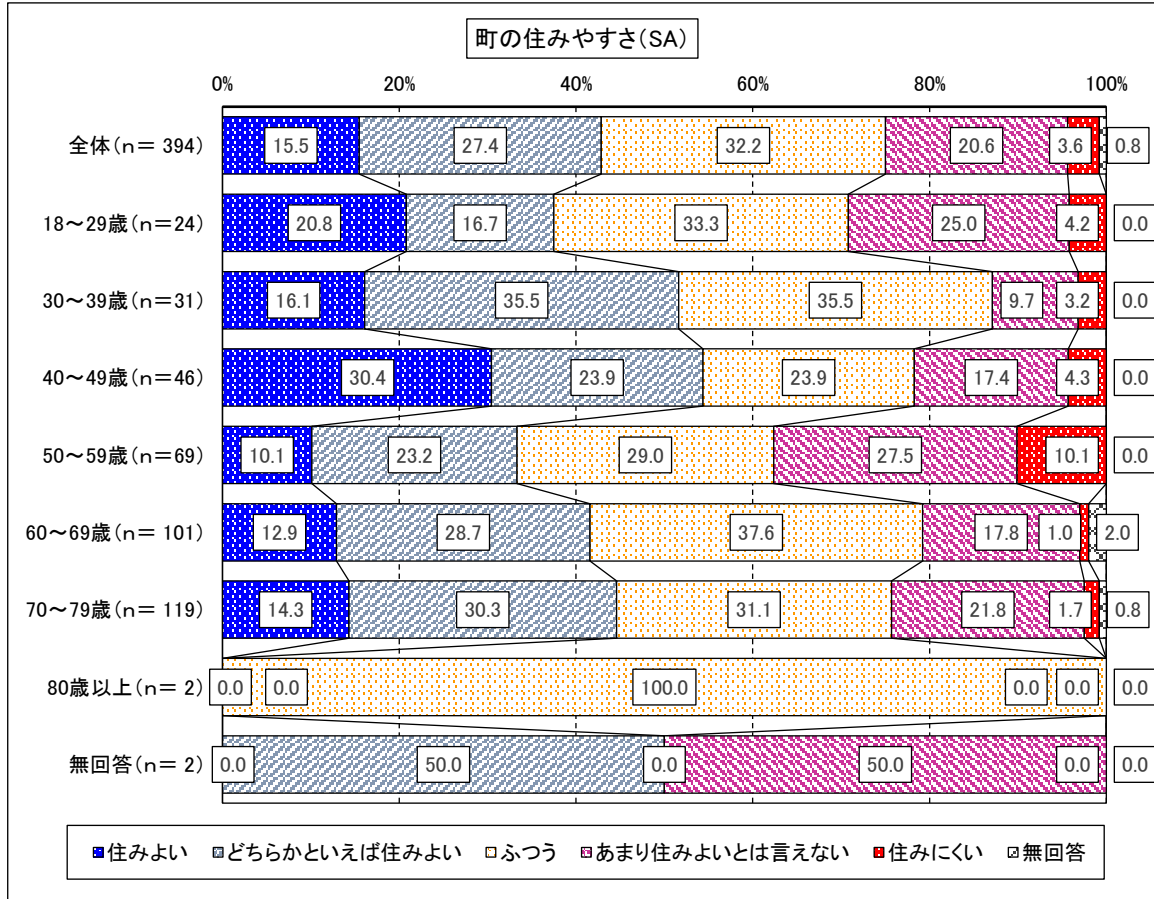
〔性別〕

本町の住みよさについて、「男性」と「女性」を比較すると、「女性」よりも「男性」の“住みよい”の回答割合が高くなっています。



〔年齢別〕

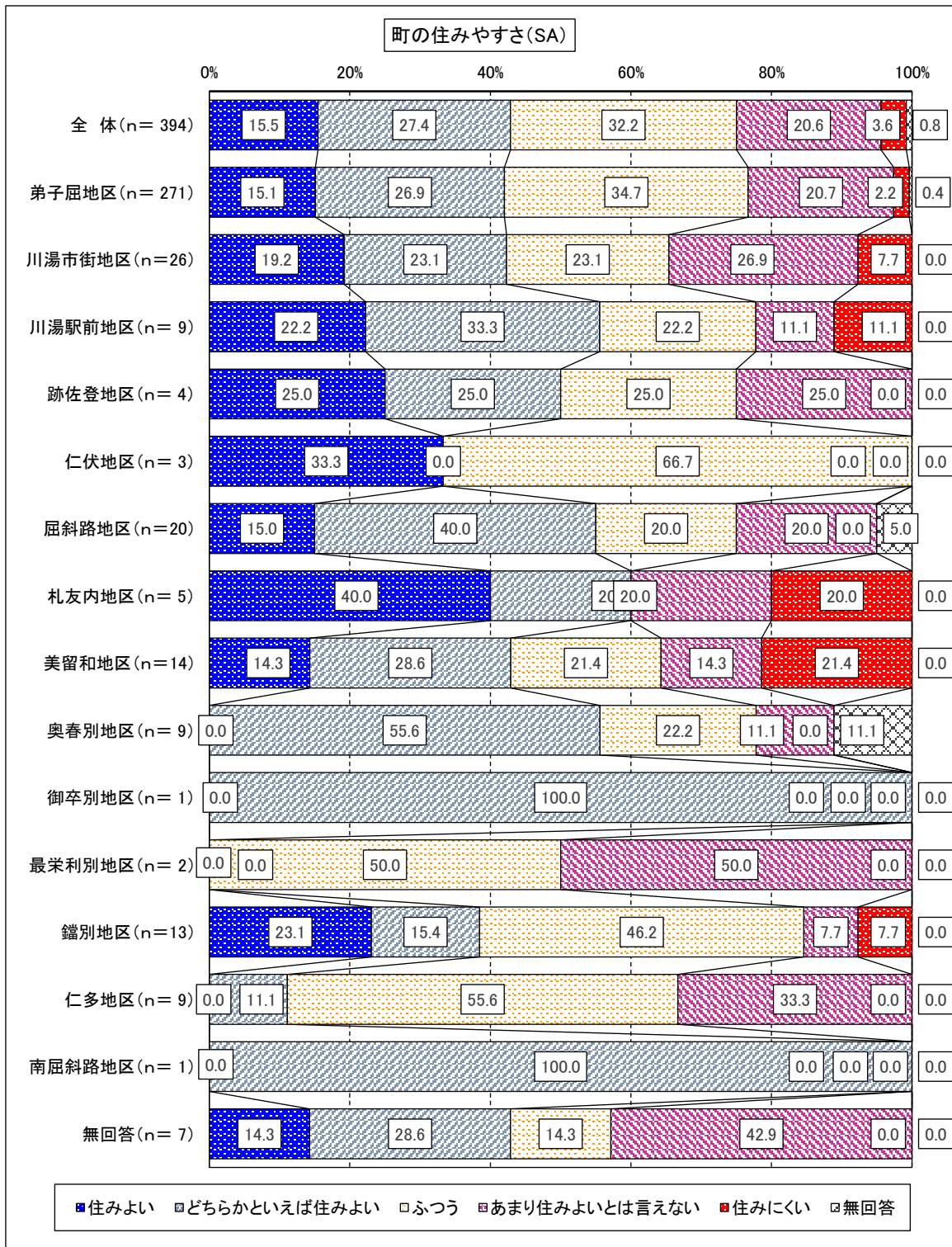
本町の住みよさについて、年齢別に見ると、「40～49歳」の“住みよい”への回答割合が最も高くなっている一方、「50～59歳」の“住みにくい”への回答割合が最も少なくなっています。



〔居住地区別〕

「弟子屈地区」、「川湯市街地区」及び「屈斜路地区」を除き居住地区毎の回答者数が少ないことから、本町の住みよさについて、「弟子屈地区」、「川湯市街地区」及び「屈斜路地区」の3地区を比較してみると、「屈斜路地区」の“住みよい”への回答割合は、「弟子屈地区」及び「川湯市街地区」への回答割合よりも高い結果となっています。

一方、「川湯市街地区」の“住みにくい”への回答割合は、「弟子屈地区」及び「屈斜路地区」への回答割合よりも高い結果となっています。

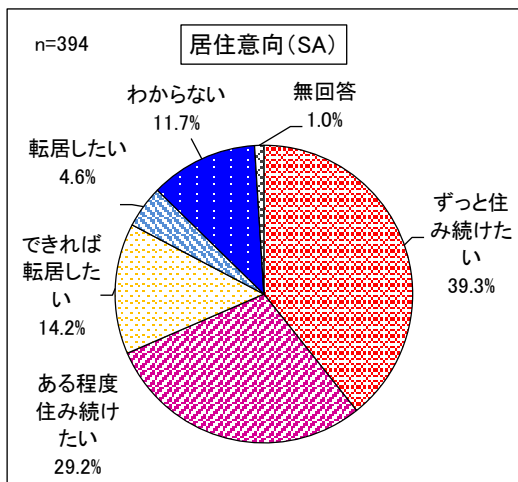


問9 あなたは将来も引き続き、弟子屈町に住みたいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

【全体】

本町への居住意向について、「ずっと住み続けたい」が39.3%、「ある程度住み続けたい」が29.2%となっており、「ずっと住み続けたい」と「ある程度住み続けたい」を合わせた“住み続けたい”は68.5%と、7割近い回答結果となっています。

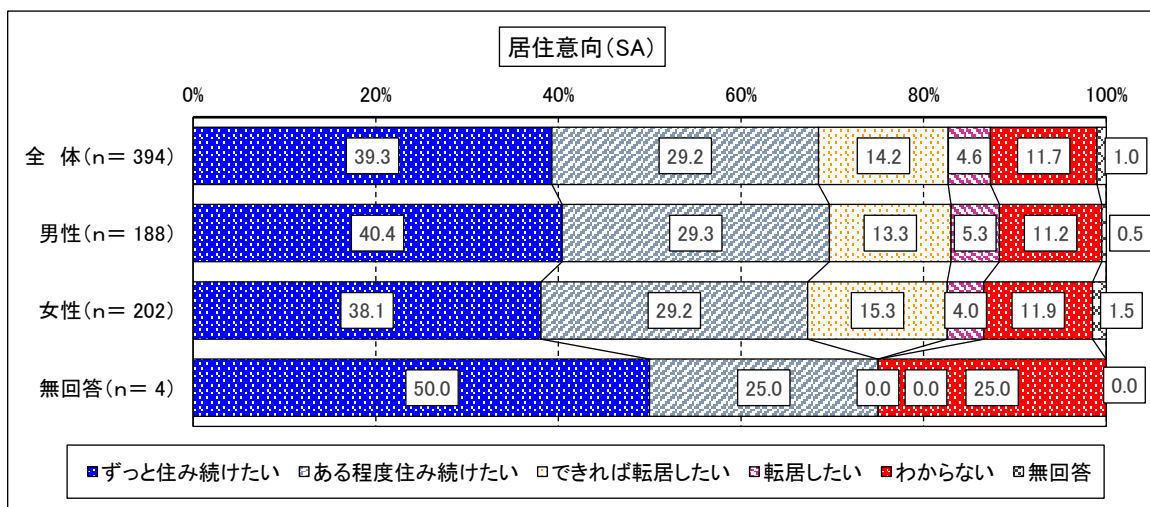
一方、「できれば転居したい」は14.2%、「転居したい」は4.6%となっており、「できれば転居したい」と「転居したい」を合わせた“転居したい”は18.8%となっており、2割近い回答者が転居する意向を示す結果となっています。



【属性別】

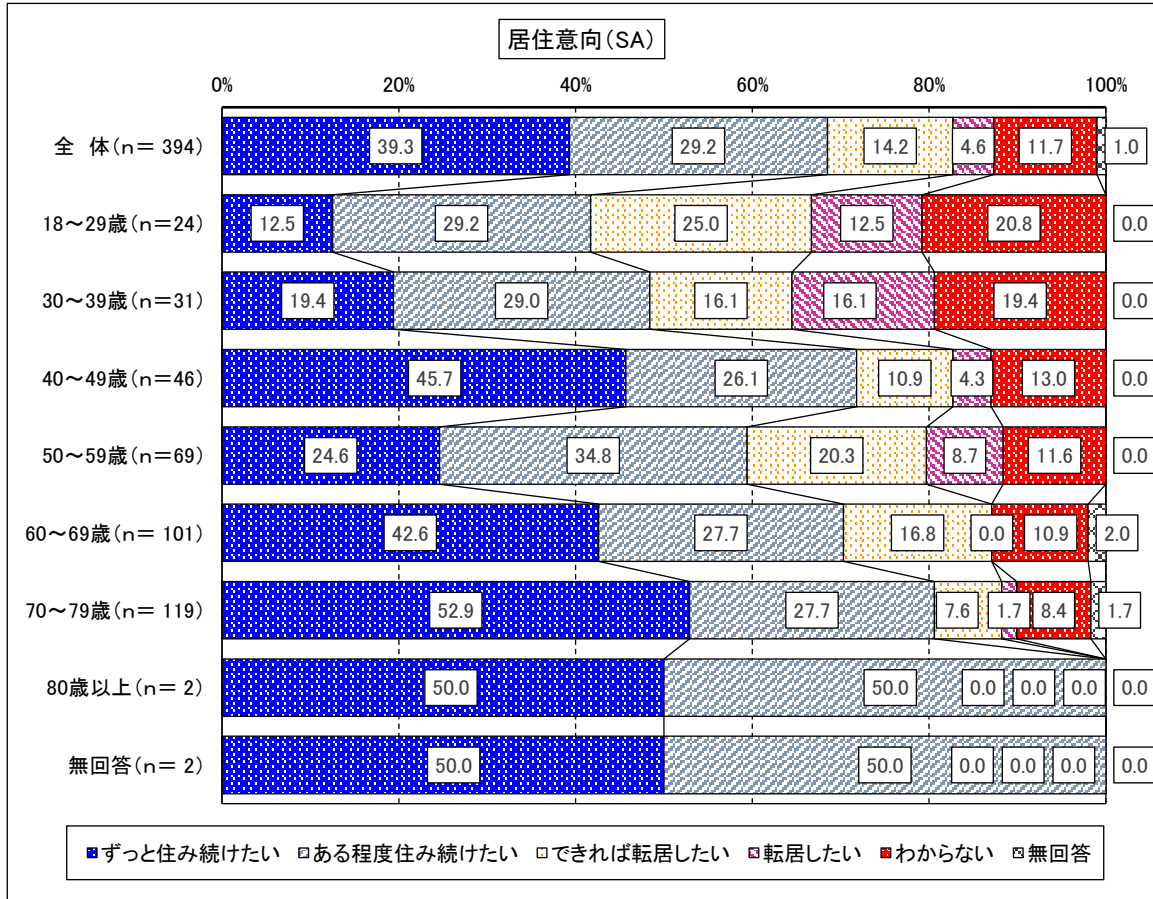
〔性別〕

本町への居住意向について、「男性」と「女性」を比較すると、ほとんど差異はない結果となっています。



〔年齢別〕

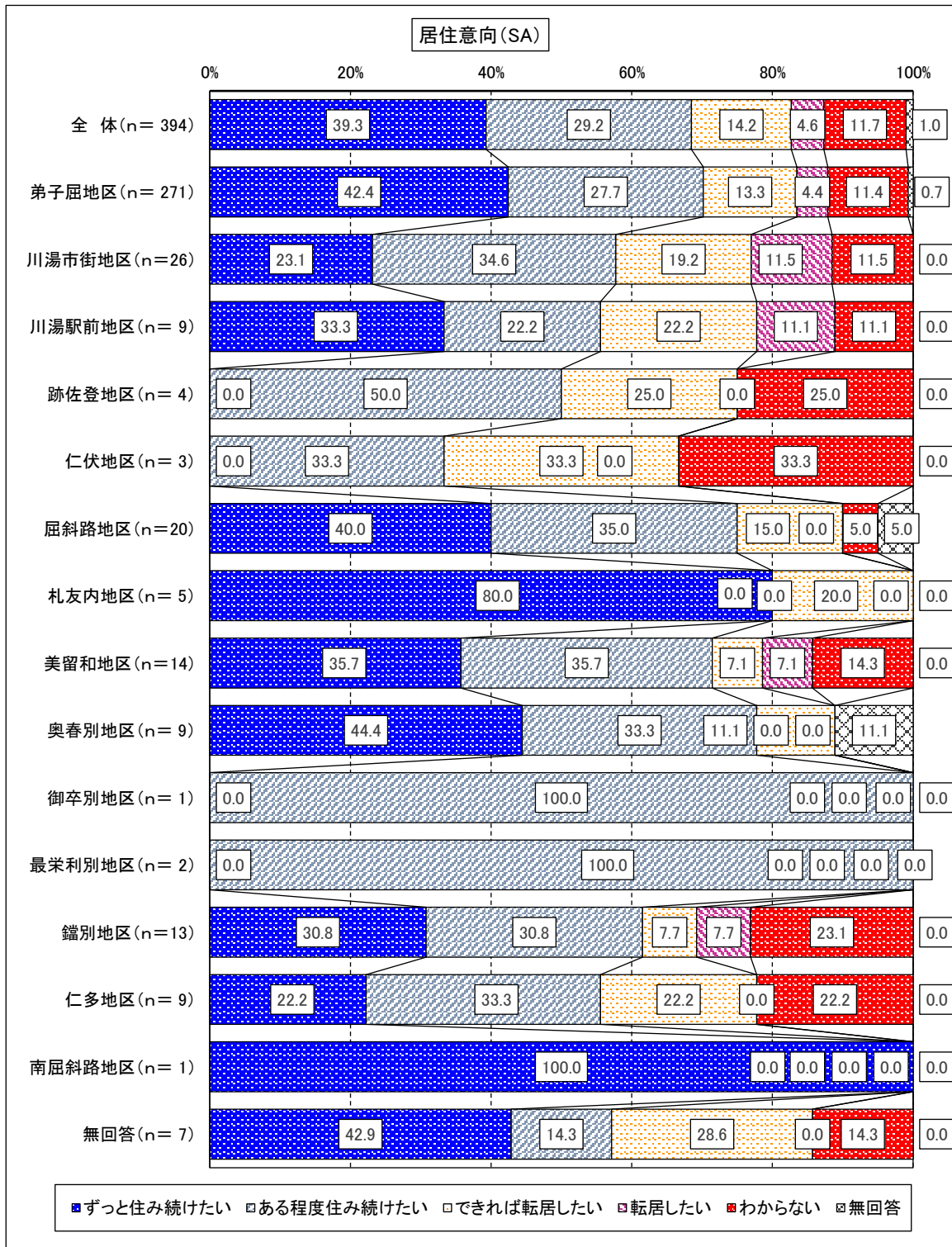
本町への居住意向について、年齢別に見ると、他の年代に比べ「18～29歳」及び「30～39歳」において、居住意向の割合が比較的低いとともに、「移住意向」が比較的高い回答結果となっています。



〔居住地区別〕

「弟子屈地区」、「川湯市街地区」及び「屈斜路地区」を除き居住地区毎の回答者数が少ないことから、本町への居住意向について、「弟子屈地区」、「川湯市街地区」及び「屈斜路地区」の3地区を比較してみると、「屈斜路地区」の“居住意向”への回答割合は、「弟子屈地区」及び「川湯市街地区」への回答割合よりも高い結果となっています。

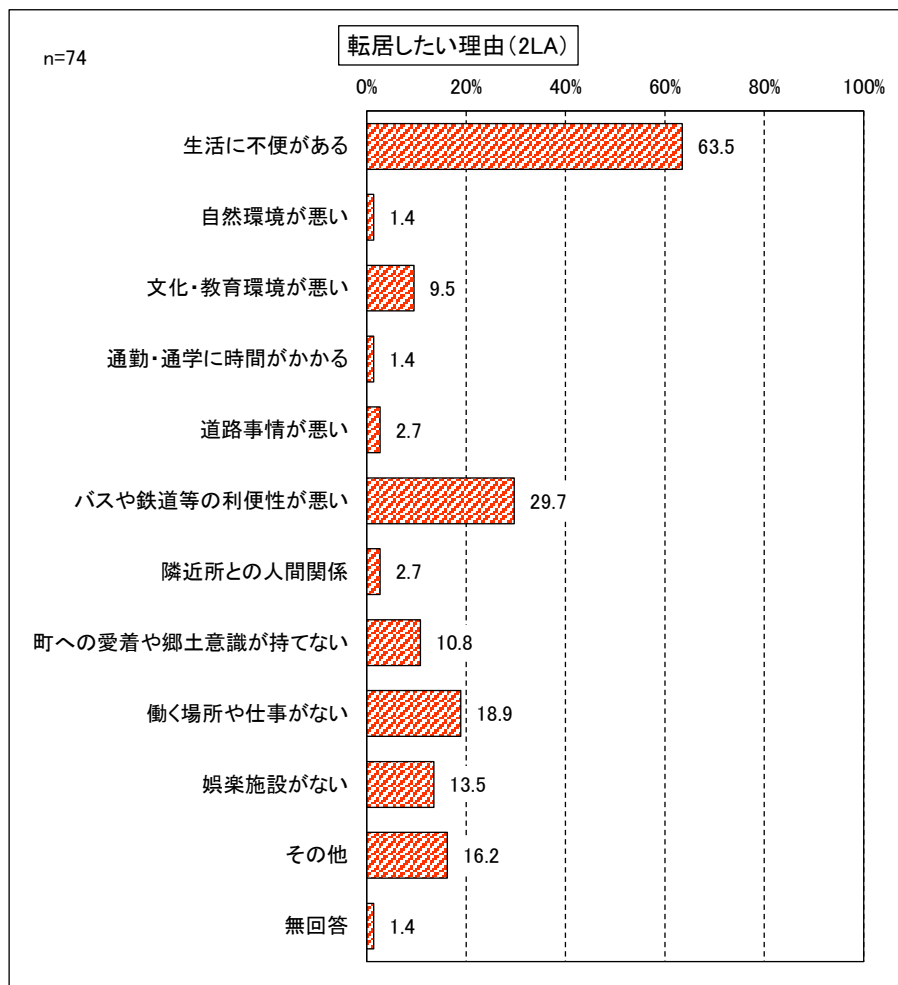
また、「屈斜路地区」の“転居意向”への回答割合は、「弟子屈地区」及び「川湯市街地区」への回答割合に比べ非常に低い結果となっています。



問10 問9で「3. できれば転居したい」または「4. 転居したい」と答えた方におたずねします。
 転居したい理由は何ですか。あてはまる番号に2つまで○をつけてください。

【全体】

問9で、「できれば転居したい」または「転居したい」を合わせた“転居したい”と回答した74人に、転居したい理由をお聞きしたところ、「生活に不便がある」への回答割合が最も高く63.5%となっており、次いで、「バスや鉄道等の利便性が悪い」が29.7%、「働く場所や仕事がない」が18.9%、「娯楽施設がない」が13.5%と続いています。



【属性別】

性別では、“転居したい”理由について「男性」と「女性」を比較すると、上位の選択項目は同じ結果となっていますが、最も回答割合が高い「生活に不便がある」では、「男性」よりも「女性」の回答割合が非常に高くなっています。

一方、「男性」は「生活に不便がある」への回答割合が「女性」ほど高くはなく、「文化・教育環境が悪い」、「働く場所や仕事がない」、及び「娯楽施設がない」への回答も比較的高い結果となっています。

年齢別では、「50～59歳」を除き回答者数が少ないことから、「50～59歳」を「全体」と比較してみると、「生活に不便がある」への回答割合に大きな差異はないものの、それ以外の回答に大きな傾向は出ていない結果となっています。

居住地区別では、「弟子屈地区」を除き回答者数が少ないことから、「弟子屈地区」を「全体」と比較してみると、ほぼ同じ結果となっています。

〔性別〕

	生活に不便がある	自然環境が悪い	文化・教育環境が悪い	通勤・通学に時間がかかる	道路事情が悪い	バスや鉄道等の利便性が悪い	隣近所との人間関係	町への愛着や郷土意識が持てない	働く場所や仕事がない
全体 (n=74)	63.5	1.4	9.5	1.4	2.7	29.7	2.7	10.8	18.9
男性 (n=35)	45.7	0.0	14.3	2.9	2.9	28.6	5.7	11.4	22.9
女性 (n=39)	79.5	2.6	5.1	0.0	2.6	30.8	0.0	10.3	15.4

	娯楽施設がない	その他	無回答
全体 (n=74)	13.5	16.2	1.4
男性 (n=35)	20.0	14.3	2.9
女性 (n=39)	7.7	17.9	0.0

※性別の無回答者はいない (n=0) ので、表記していない。

〔年齢別〕

	生活に不便がある	自然環境が悪い	文化・教育環境が悪い	通勤・通学にかかると時間がかかる	道路事情が悪い	バスや鉄道等の利便性が悪い	隣近所との人間関係	町への愛着や郷土意識が持てない	働く場所や仕事がない
全体 (n=74)	63.5	1.4	9.5	1.4	2.7	29.7	2.7	10.8	18.9
18～29歳 (n=9)	55.6	0.0	33.3	0.0	11.1	11.1	0.0	22.2	33.3
30～39歳 (n=10)	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0
40～49歳 (n=7)	42.9	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0	14.3	57.1
50～59歳 (n=20)	70.0	0.0	5.0	0.0	5.0	15.0	5.0	15.0	20.0
60～69歳 (n=17)	58.8	5.9	11.8	0.0	0.0	52.9	0.0	5.9	11.8
70～79歳 (n=11)	63.6	0.0	0.0	0.0	0.0	54.5	9.1	0.0	0.0
80歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	娯楽施設がない	その他	無回答
全体 (n=74)	13.5	16.2	1.4
18～29歳 (n=9)	33.3	0.0	0.0
30～39歳 (n=10)	30.0	20.0	0.0
40～49歳 (n=7)	14.3	0.0	0.0
50～59歳 (n=20)	10.0	25.0	0.0
60～69歳 (n=17)	0.0	17.6	0.0
70～79歳 (n=11)	9.1	18.2	9.1
80歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

※年齢別の無回答者はいない (n=0) ので、表記していない。

〔居住地区別〕

	生活に不便がある	自然環境が悪い	文化・教育環境が悪い	通勤・通学に時間がかかる	道路事情が悪い	バスや鉄道等の利便性が悪い	隣近所との人間関係	町への愛着や郷土意識が持てない	働く場所や仕事がない
全体 (n=74)	63.5	1.4	9.5	1.4	2.7	29.7	2.7	10.8	18.9
弟子屈地区 (n=48)	64.6	0.0	10.4	0.0	0.0	25.0	4.2	12.5	18.8
川湯市街地区 (n=8)	62.5	0.0	12.5	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	12.5
川湯駅前地区 (n=3)	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
跡佐登地区 (n=1)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
仁伏地区 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
屈斜路地区 (n=3)	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
札友内地区 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
美留和地区 (n=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
奥春別地区 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
御卒別地区 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最栄利別地区 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鑑別地区 (n=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
仁多地区 (n=2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
南屈斜路地区 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

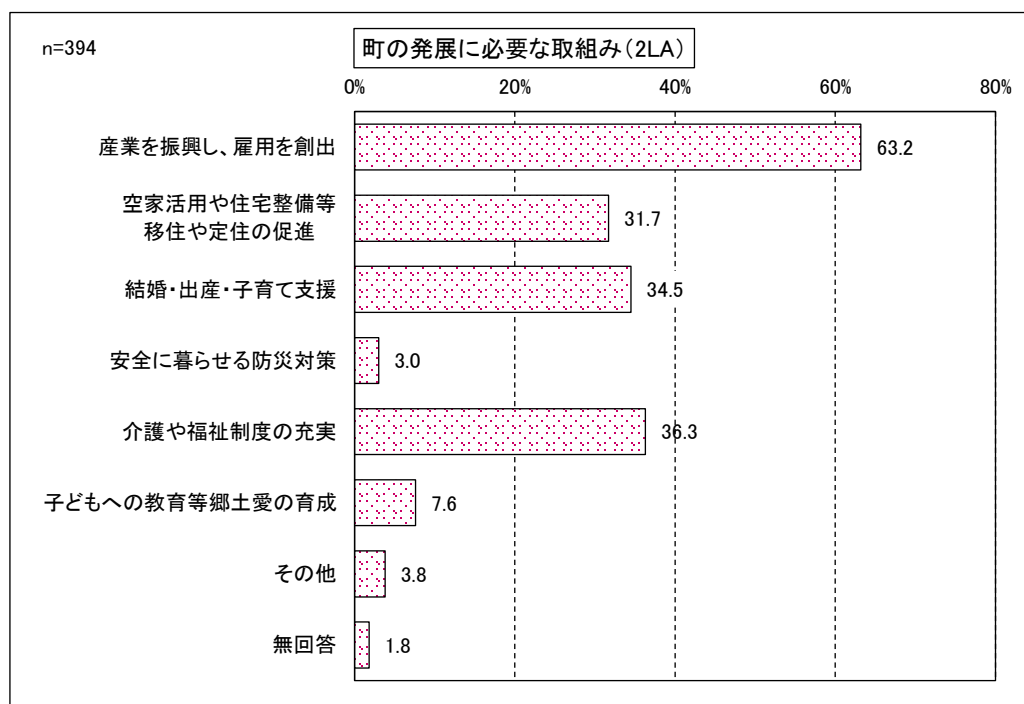
	娯楽施設がない	その他	無回答
全体 (n=74)	13.5	16.2	1.4
弟子屈地区 (n=48)	14.6	20.8	0.0
川湯市街地区 (n=8)	12.5	0.0	12.5
川湯駅前地区 (n=3)	0.0	33.3	0.0
跡佐登地区 (n=1)	0.0	0.0	0.0
仁伏地区 (n=1)	0.0	0.0	0.0
屈斜路地区 (n=3)	0.0	33.3	0.0
札友内地区 (n=1)	0.0	0.0	0.0
美留和地区 (n=2)	0.0	0.0	0.0
奥春別地区 (n=1)	0.0	0.0	0.0
御卒別地区 (n=0)	0.0	0.0	0.0
最栄利別地区 (n=0)	0.0	0.0	0.0
鑑別地区 (n=2)	50.0	0.0	0.0
仁多地区 (n=2)	50.0	0.0	0.0
南屈斜路地区 (n=0)	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=2)	0.0	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

問 11 本町は今後も人口が減少していくことが見込まれますが、人口減少に歯止めをかけ、本町の持続ある発展を目指すためには、どのような取り組みが必要とお考えですか。あてはまる番号に2つまで○をつけてください。

【全体】

人口減少に歯止めをかけ、本町の持続ある発展を目指すために必要な取り組みとしては、「産業を振興し、雇用の創出を図る取り組み」への回答割合が最も高く 63.2%となっており、次いで、「介護や福祉制度の充実など、高齢者も安心して暮らせるための取り組み」が 36.3%、「結婚・出産・子育てを支援し、安心して子どもを産み育てるための取り組み」が 34.5%、「空家活用や住宅整備等による、移住や定住を促進する取り組み」が 31.7%と続いています。



【属性別】

性別では、男女ともに同じ回答傾向となっています。

年齢別では、各属性ともに「産業を振興し、雇用の創出を図る取り組み」への回答割合が高い結果となっていますが、「18～29歳」では「空家活用や住宅整備等による、移住や定住を促進する取り組み」への回答割合が高く、「30～39歳」では「結婚・出産・子育てを支援し、安心して子どもを産み育てるための取り組み」への回答割合が高くなっています。

一方、60歳以上では「介護や福祉制度の充実など、高齢者も安心して暮らせるための取り組み」への回答割合が高くなっています。

居住地区別では、「弟子屈地区」、「川湯市街地区」及び「屈斜路地区」を除き居住地区毎の回答者数が少ないことから、「弟子屈地区」、「川湯市街地区」及び「屈斜路地区」の3地区を比較してみると、「弟子屈地区」では「介護や福祉制度の充実など、高齢者も安心して暮らせるための取り組み」への回答割合が高くなっていますが、「川湯市街地区」及び「屈斜路地区」では「空家活用や住宅整備等による、移住や定住を促進する取り組み」への回答割合が高くなっています。

〔性別〕

	出 産業を振興し、雇用を創	住 空家活用や住宅整備等移 や定住の促進	結 婚・出産・子育て支援	安全に暮らせる防災対策	介 護や福祉制度の充実	子 どもへの教育等郷土愛 の育成	その他	無回答
全体 (n=394)	63.2	31.7	34.5	3.0	36.3	7.6	3.8	1.8
男性 (n=188)	67.6	30.3	33.0	2.7	34.0	7.4	5.3	1.6
女性 (n=202)	59.4	33.2	35.6	3.5	38.6	7.9	2.5	2.0
無回答 (n=4)	50.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

〔年齢別〕

	出 産業を振興し、雇用を創	住 空家活用や住宅整備等移 や定住の促進	結 婚・出産・子育て支援	安全に暮らせる防災対策	介 護や福祉制度の充実	子 どもへの教育等郷土愛 の育成	その他	無回答
全体 (n=394)	63.2	31.7	34.5	3.0	36.3	7.6	3.8	1.8
18～29 歳 (n=24)	54.2	54.2	33.3	4.2	0.0	20.8	4.2	8.3
30～39 歳 (n=31)	54.8	35.5	58.1	0.0	19.4	9.7	3.2	0.0
40～49 歳 (n=46)	67.4	52.2	30.4	4.3	21.7	2.2	10.9	0.0
50～59 歳 (n=69)	65.2	40.6	31.9	0.0	33.3	4.3	1.4	0.0
60～69 歳 (n=101)	65.3	21.8	37.6	3.0	39.6	9.9	5.0	1.0
70～79 歳 (n=119)	63.0	21.0	28.6	5.0	52.1	6.7	1.7	3.4
80 歳以上 (n=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=2)	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

〔居住地区別〕

	出 産業を振興し、雇用を創	住 空家活用や住宅整備等移 や定住の促進	結 婚・出産・子育て支援	安 全に暮らせる防災対策	介 護や福祉制度の充実	子 どもへの教育等郷土愛 の育成	そ の 他	無 回 答
全体 (n=394)	63.2	31.7	34.5	3.0	36.3	7.6	3.8	1.8
弟子屈地区 (n=271)	64.9	29.9	37.3	2.6	38.4	7.7	2.2	1.5
川湯市街地区 (n=26)	53.8	46.2	26.9	3.8	38.5	11.5	3.8	0.0
川湯駅前地区 (n=9)	55.6	22.2	44.4	11.1	55.6	11.1	0.0	0.0
跡佐登地区 (n=4)	75.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0
仁伏地区 (n=3)	66.7	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
屈斜路地区 (n=20)	40.0	55.0	25.0	5.0	30.0	0.0	5.0	5.0
札友内地区 (n=5)	80.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0
美留和地区 (n=14)	64.3	35.7	35.7	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0
奥春別地区 (n=9)	55.6	22.2	22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1
御卒別地区 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最栄利別地区 (n=2)	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
鑑別地区 (n=13)	69.2	15.4	30.8	0.0	38.5	7.7	7.7	0.0
仁多地区 (n=9)	66.7	22.2	11.1	0.0	44.4	11.1	11.1	11.1
南屈斜路地区 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=7)	71.4	57.1	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

3 町の取り組み

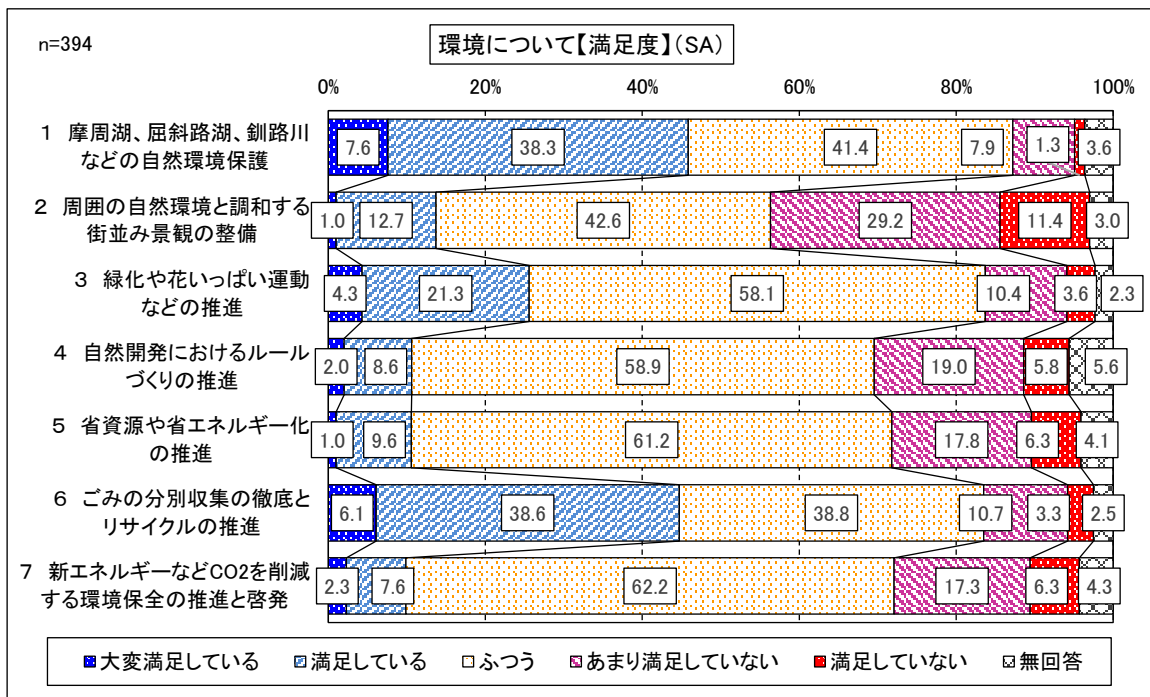
問 12 弟子屈町の生活環境やまちづくり、町政等について「満足度」と「重要度」についておたずねします。以下の 60 ある項目の「満足度」と「重要度」それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

【環境について】

〔全体：満足度〕

本町の「環境」について設定している 7 項目の「満足度」についての回答結果は、「1 摩周湖、屈斜路湖、釧路川などの自然環境保護」及び「6 ごみの分別収集の徹底とリサイクルの推進」への“満足している”（「大変満足している」及び「満足している」を合わせた回答。以下、同様。）が多い結果となっています。

一方、「2 周囲の自然環境と調和する街並み景観の整備」への“満足していない”（「満足していない」と「あまり満足していない」を合わせた回答。以下、同様。）が多い結果となっています。



〔全体：満足度（加重平均）〕

本報告書での「加重平均」とは、各選択肢への回答者数の重み（人数）の違いを考慮して計算した平均のことをいい、数値に重みを掛けた値の総和を重みの総和で割ることにより求めています。

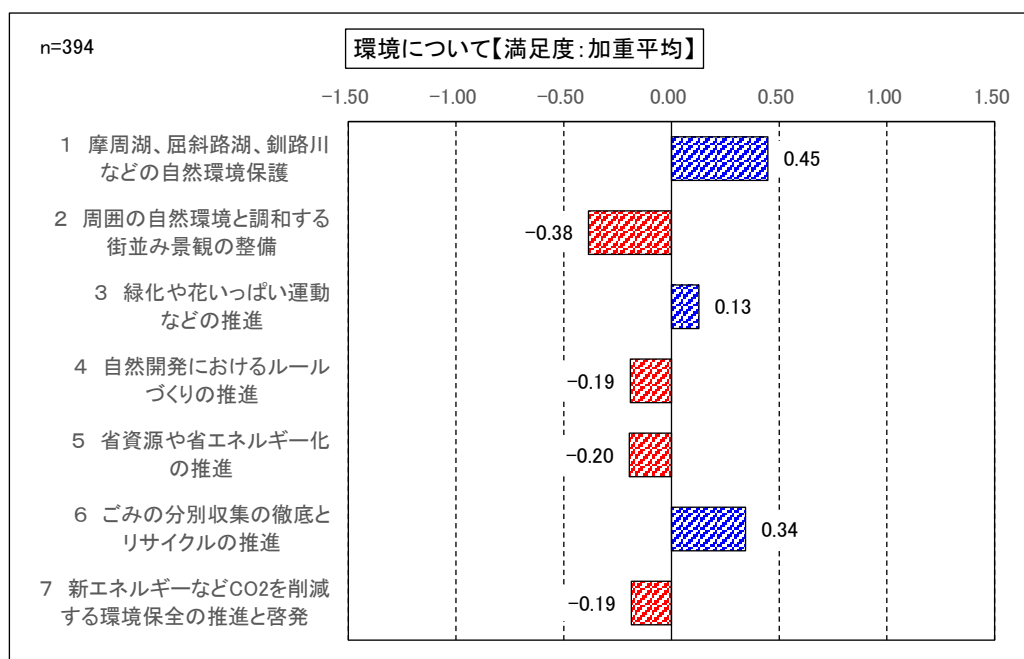
各選択肢に次のように得点をつけ、それぞれの点数に回答者数（※無回答を除く）を掛け合わせた総得点数を、無回答を除いた回答者数で除して算出します。したがって、評価点は-2点～+2点の範囲となり、数値が大きいほど満足度への評価が高くなります。

各選択肢の得点は次のように配点しています。

[選択肢]	点数	[選択肢]	点数
大変満足している	+2	あまり満足していない	-1
満足している	+1	満足していない	-2
ふつう	±0	無回答	※対象除外

以上を踏まえた、加重平均値の結果は以下の通りです。

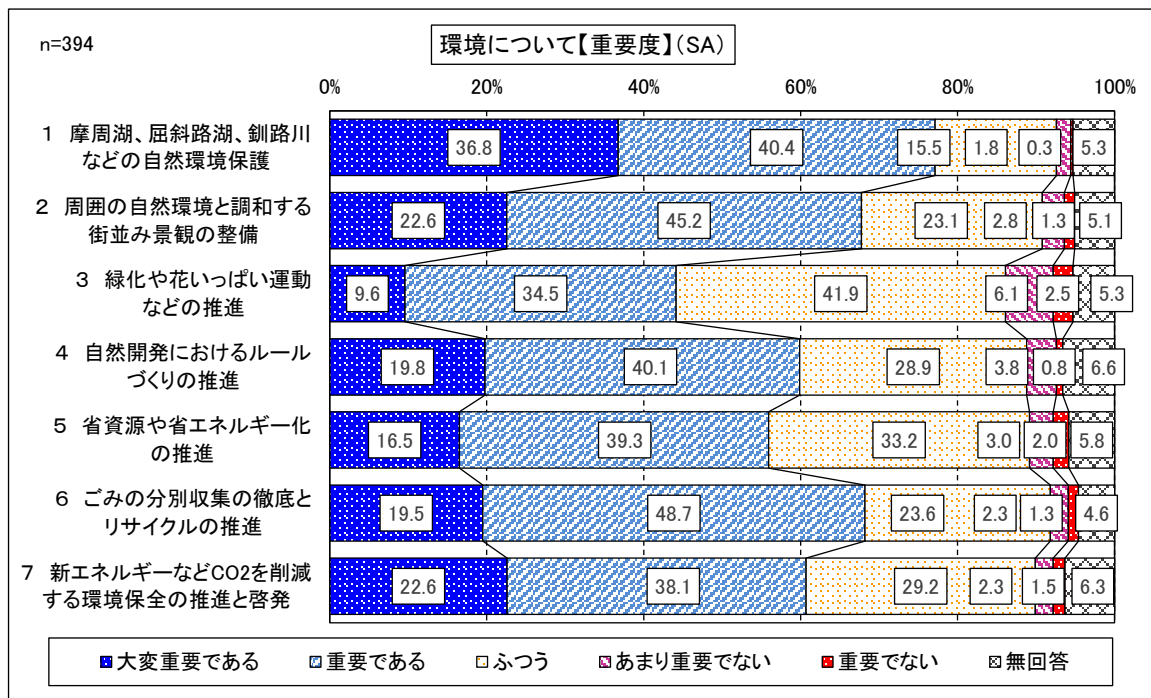
(※加重平均値が 0.50 の場合は、「満足している」と「ふつう」の中間値、-0.50 の場合は、「あまり満足していない」と「ふつう」の中間値となります。)



〔全体：重要度〕

本町の「環境」について設定している7項目の「重要度」についての回答結果は、「1 摩周湖、屈斜路湖、釧路川などの自然環境保護」、「2 周囲の自然環境と調和する街並み景観の整備」及び「6 ごみの分別収集の徹底とリサイクルの推進」への“重要である”（「大変重要である」及び「重要である」を合わせた回答。以下、同様。）が多い結果となっています。

一方、“重要でない”（「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた回答。以下、同様。）項目は見られない結果となっています。



〔全体：重要度（加重平均）〕

本報告書では重要度についても「加重平均」を算出しています。とは、各選択肢への回答者数の重み（人数）の違いを考慮して計算した平均とすることは、満足度の加重平均値算出と同様です。

重要度については、各選択肢に次のように得点をつけ、それぞれの点数に回答者数（※無回答を除く）を掛け合わせた総得点数を、無回答を除いた回答者数で除して算出します。したがって、評価点は-2点～+2点の範囲となり、数値が大きいくほど重要度への評価が高くなります。

各選択肢の得点は次のように配点しています。

〔選択肢〕	点数	〔選択肢〕	点数
大変重要である	+2	あまり重要でない	-1
重要である	+1	重要でない	-2
ふつう	±0	無回答	※対象除外

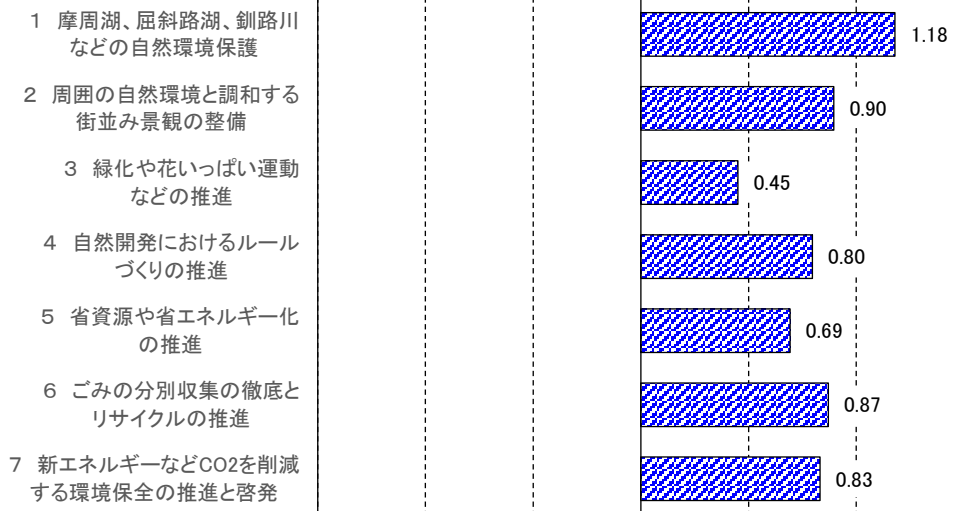
以上を踏まえた、加重平均値の結果は以下の通りです。

（※加重平均値が0.50の場合は、「重要である」と「ふつう」の中間値、-0.50の場合は、「あまり重要でない」と「ふつう」の中間値となります。）

n=394

環境について【重要度:加重平均】

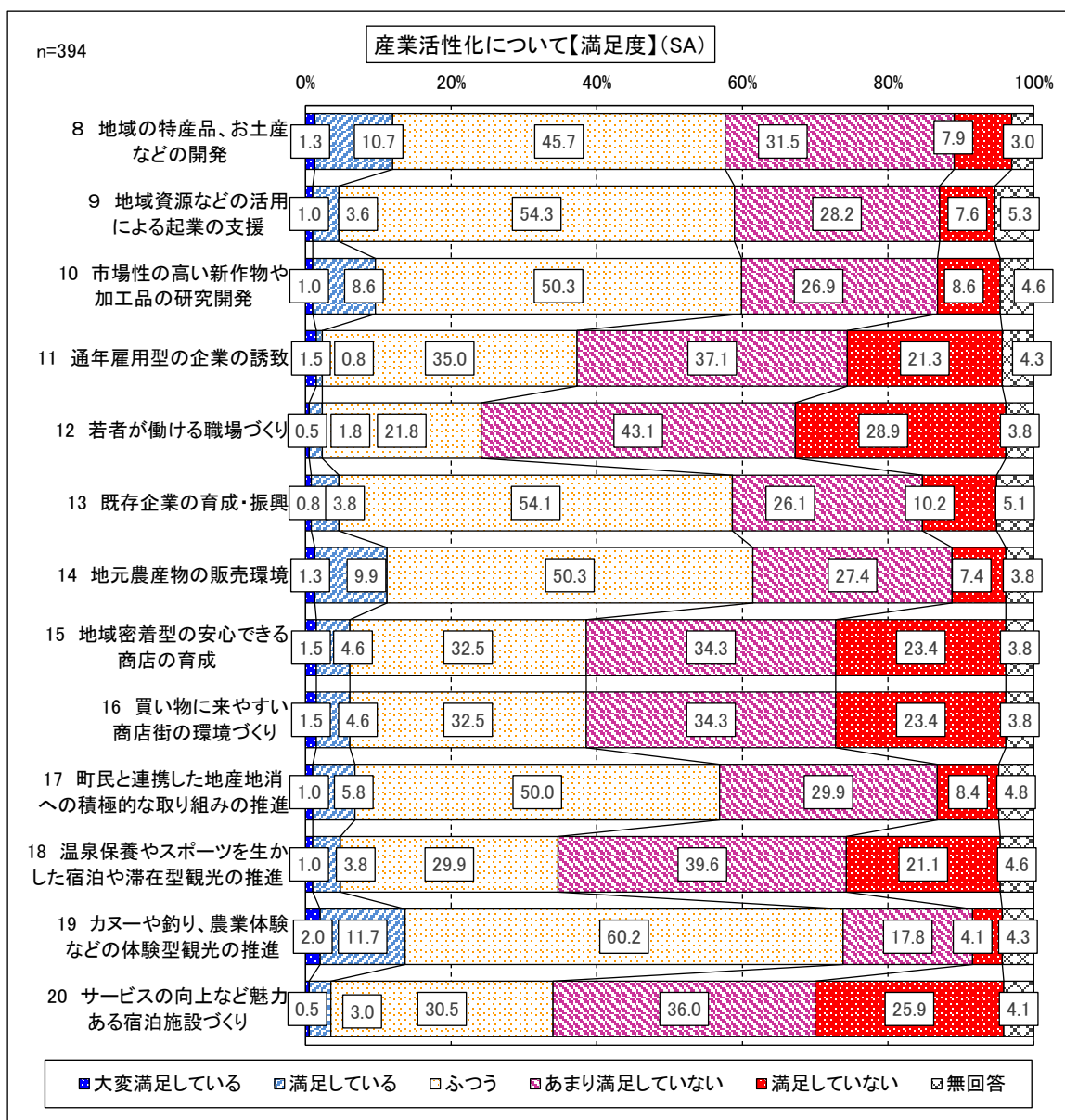
-1.50 -1.00 -0.50 0.00 0.50 1.00 1.50



【産業活性化について】

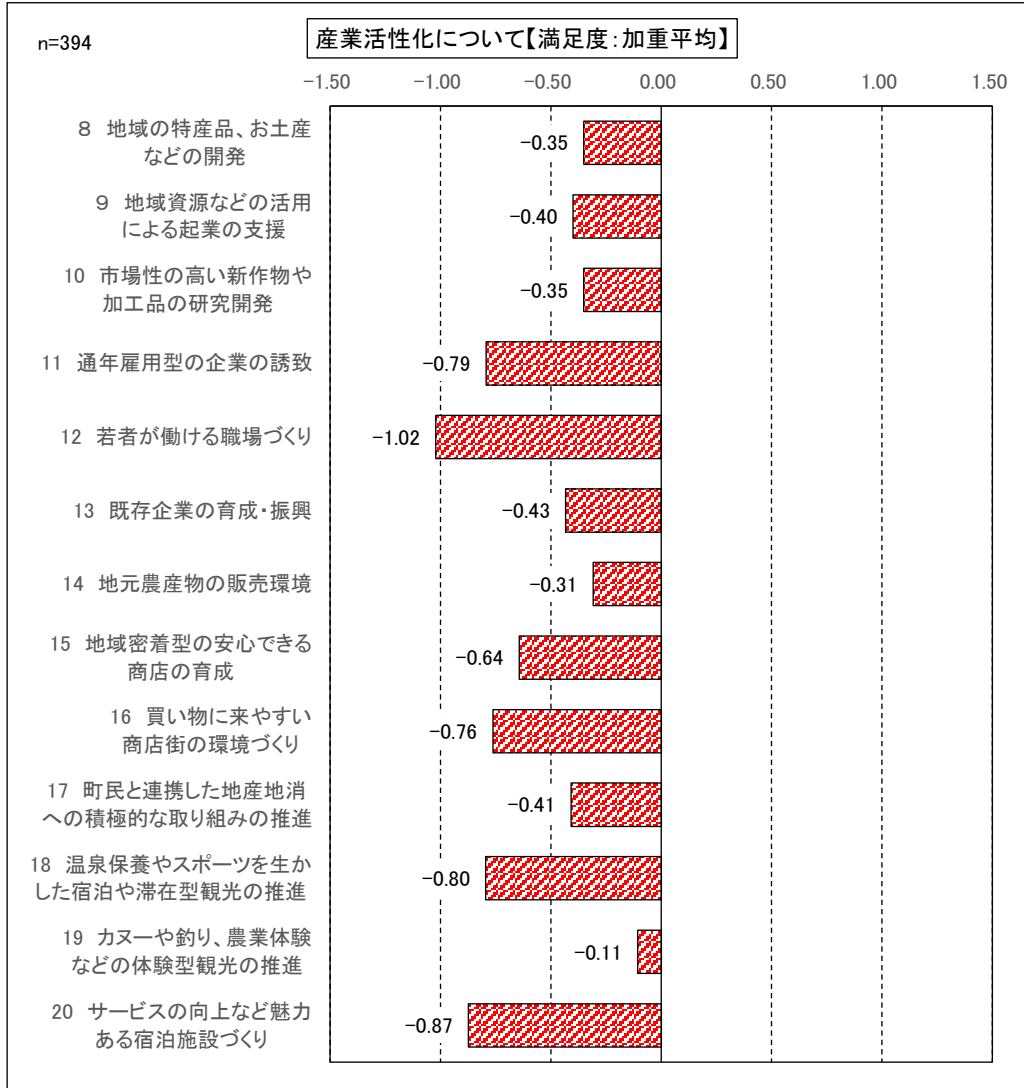
〔全体：満足度〕

本町の「産業活性化」について設定している13項目の「満足度」についての回答結果は、「11 通年雇用型の企業の誘致」、「12 若者が働ける職場づくり」、「15 地域密着型の安心できる商店の育成」、「16 買い物に来やすい商店街の環境づくり」、「18 温泉保養やスポーツを生かした宿泊や滞在型観光の推進」及び「20 サービスの向上など魅力ある宿泊施設づくり」への“満足していない”回答が多い結果となっています。



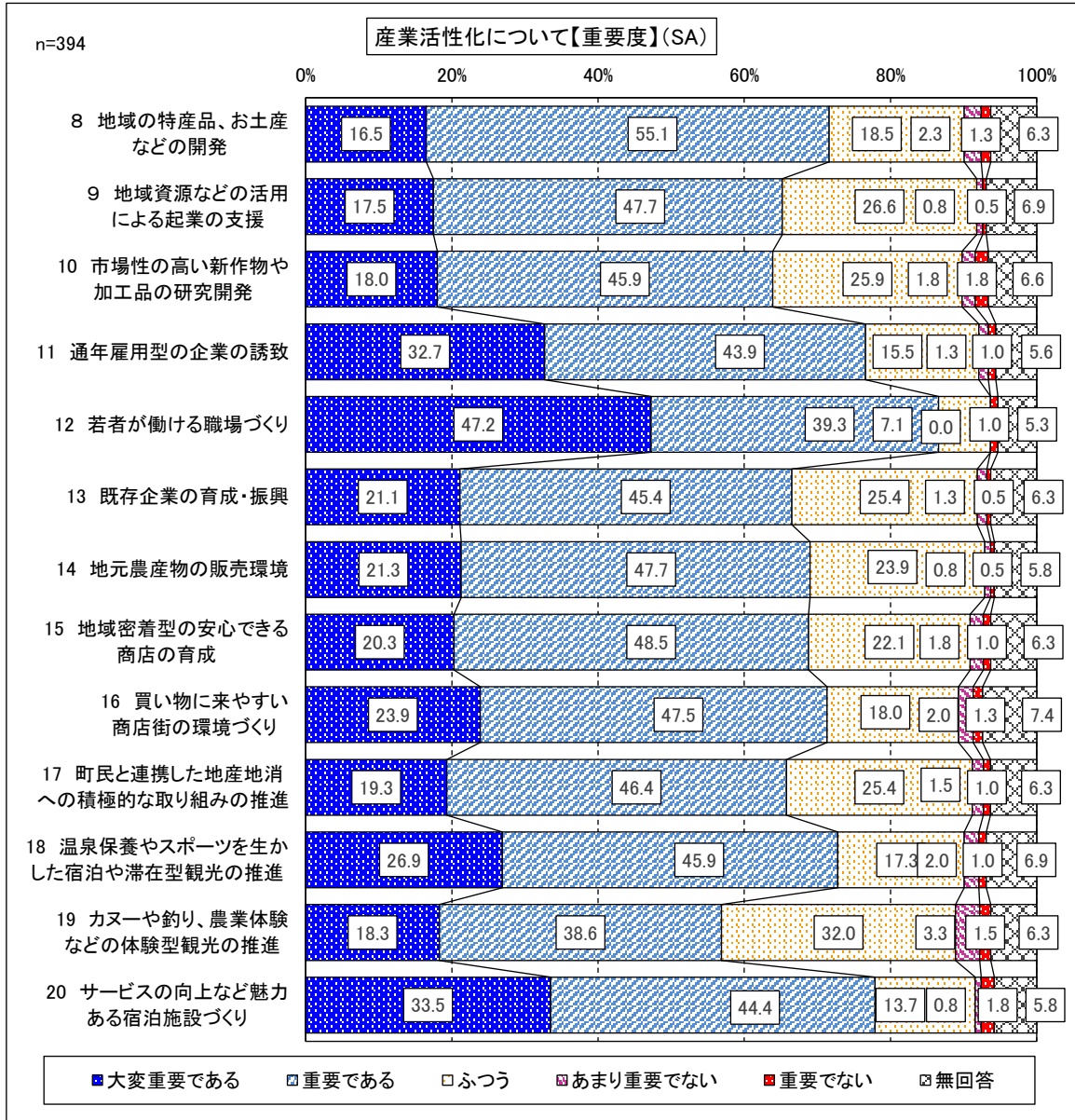
[全体：満足度（加重平均）]

加重平均値の結果は以下の通りです。



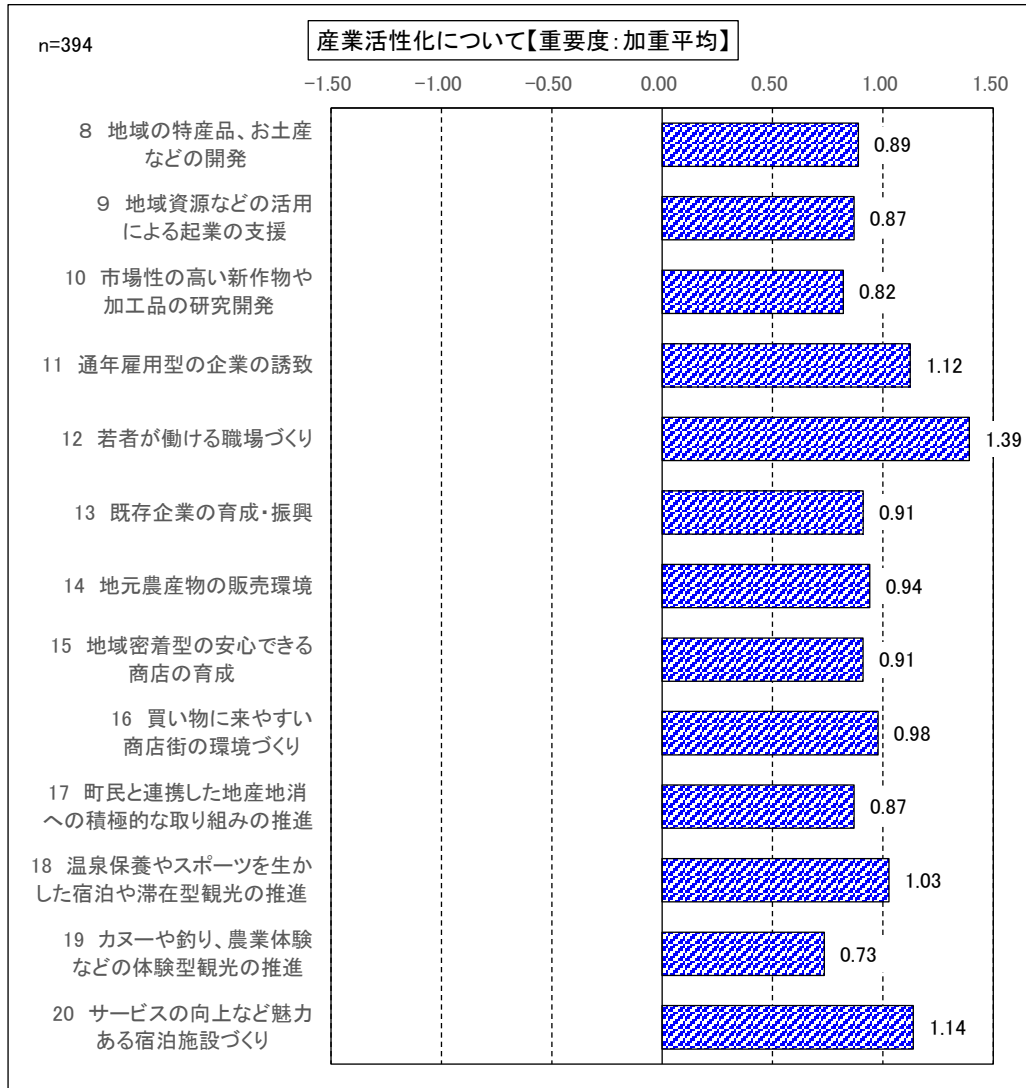
〔全体：重要度〕

本町の「産業活性化」について設定している13項目の「重要度」についての回答結果は、各項目ともに“重要である”への回答が多い結果となっていますが、特に、「11 通年雇用型の企業の誘致」、「12 若者が働ける職場づくり」及び「20 サービスの向上など魅力ある宿泊施設づくり」への回答が多い結果となっています。



[全体：重要度（加重平均）]

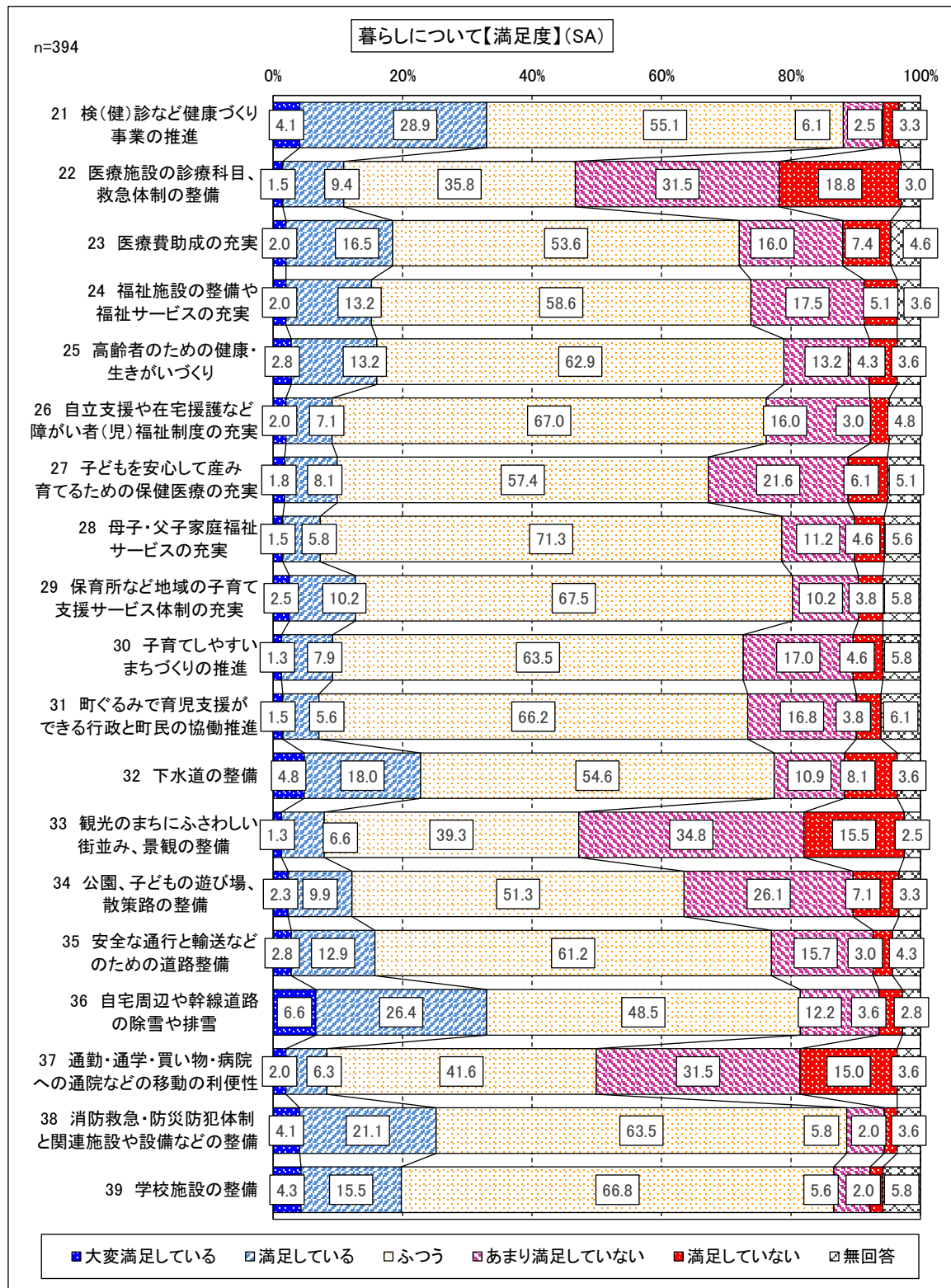
加重平均値の結果は以下の通りです。



【暮らしについて】

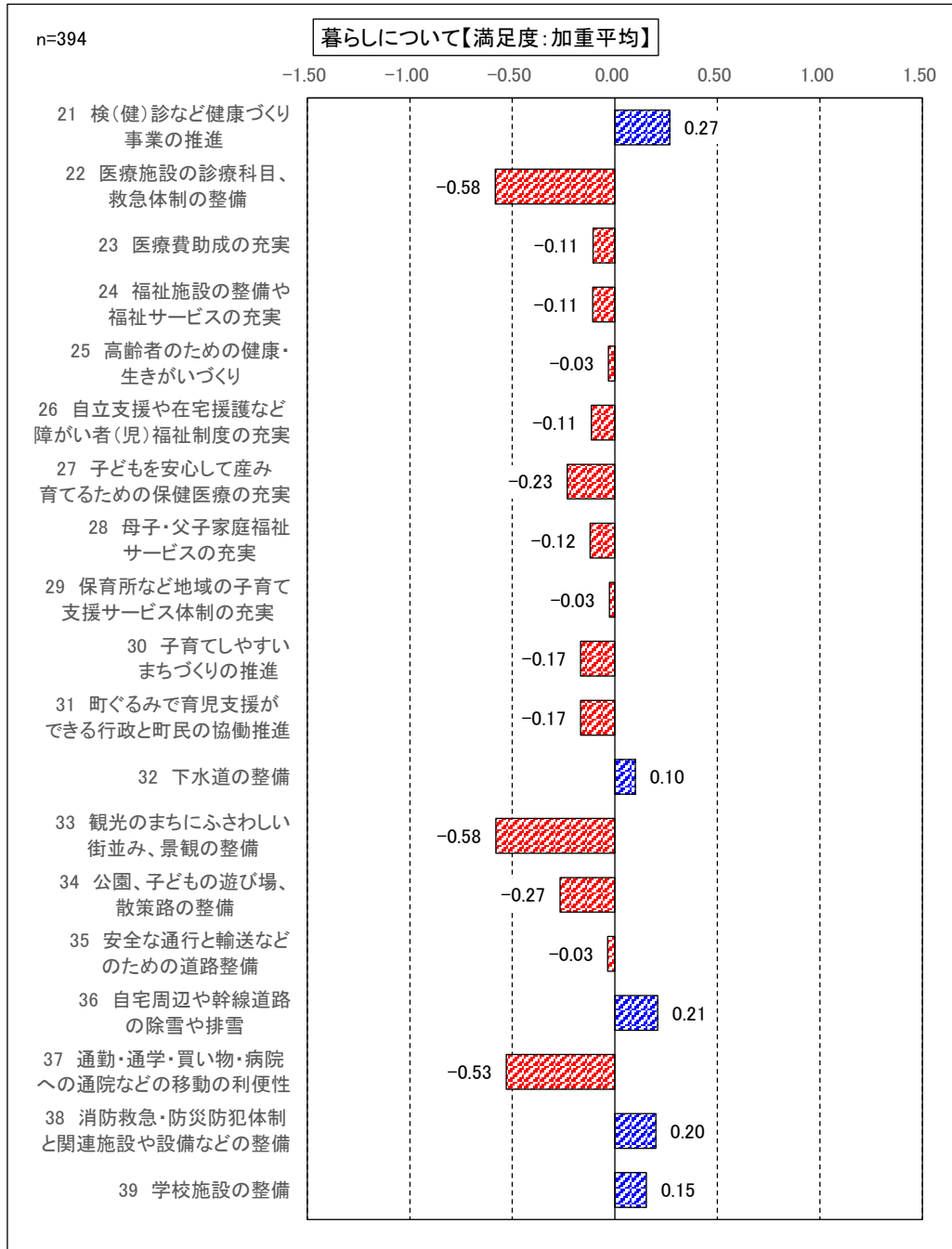
〔全体：満足度〕

本町の「暮らし」について設定している19項目の「満足度」についての回答結果は、「22 医療施設の診療科目、救急体制の整備」、「33 観光のまちにふさわしい街並み、景観の整備」、及び「37 通勤・通学・買い物・病院への通院などの移動の利便性」への“満足していない”回答が多い結果となっています。



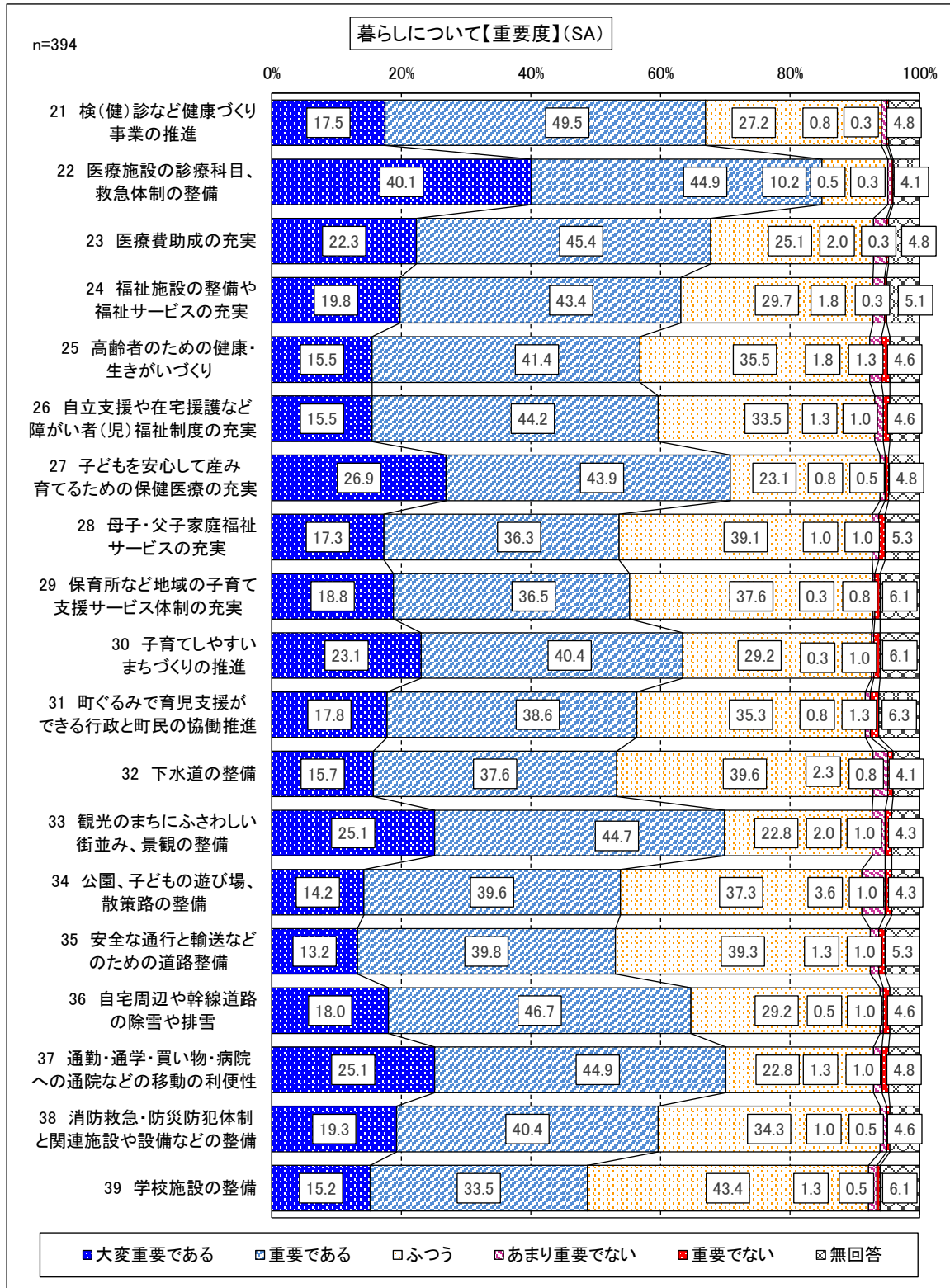
〔全体：満足度（加重平均）〕

加重平均値の結果は以下の通りです。



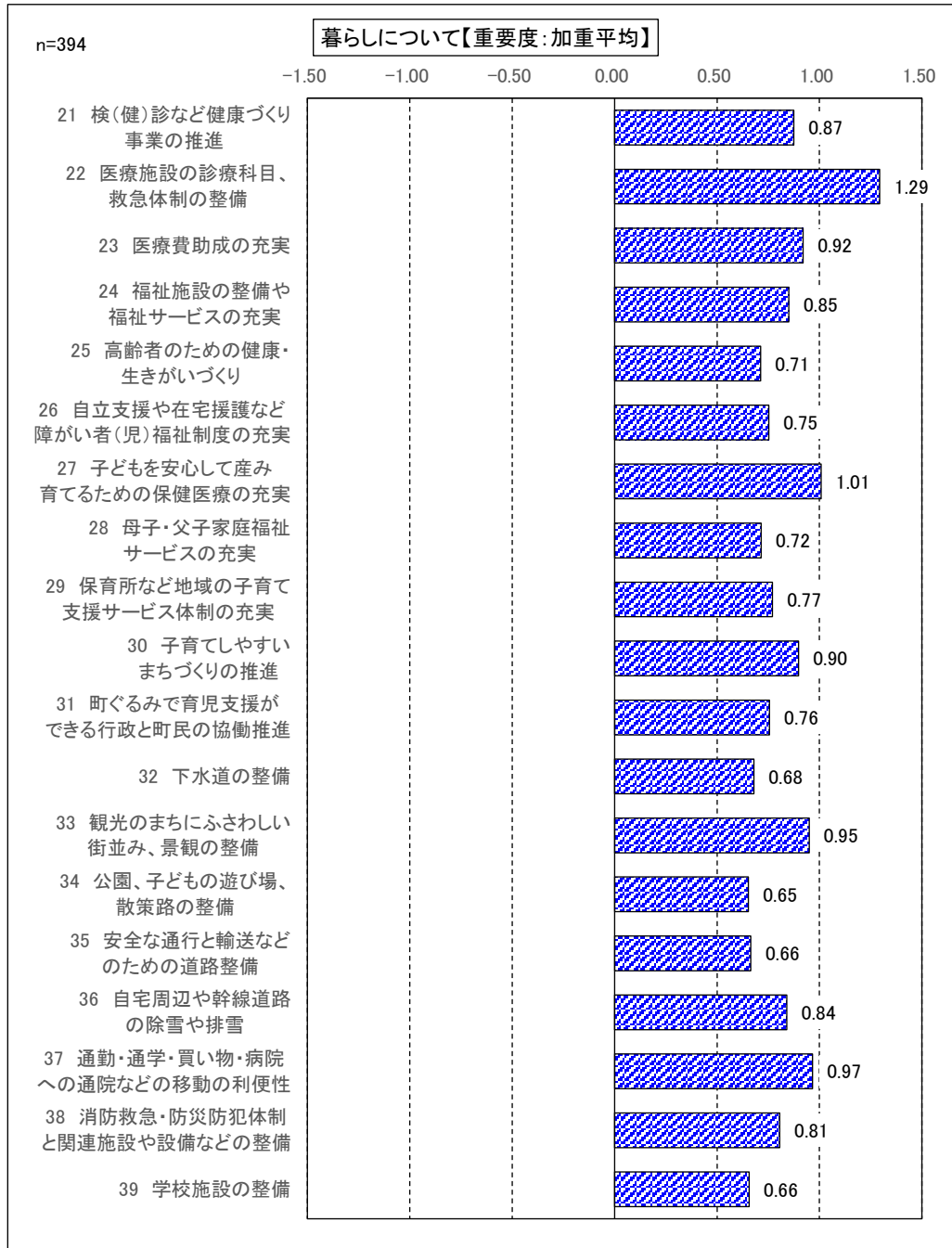
〔全体：重要度〕

本町の「暮らし」について設定している19項目の「重要度」についての回答結果は、各項目ともに“重要である”への回答が多い結果となっていますが、特に、「22 医療施設の診療科目、救急体制の整備」、「27 子どもを安心して産み育てるための保健医療の充実」、「33 観光のまちにふさわしい街並み、景観の整備」及び「37 通勤・通学・買い物・病院への通院などの移動の利便性」への回答が多い結果となっています。



[全体：重要度（加重平均）]

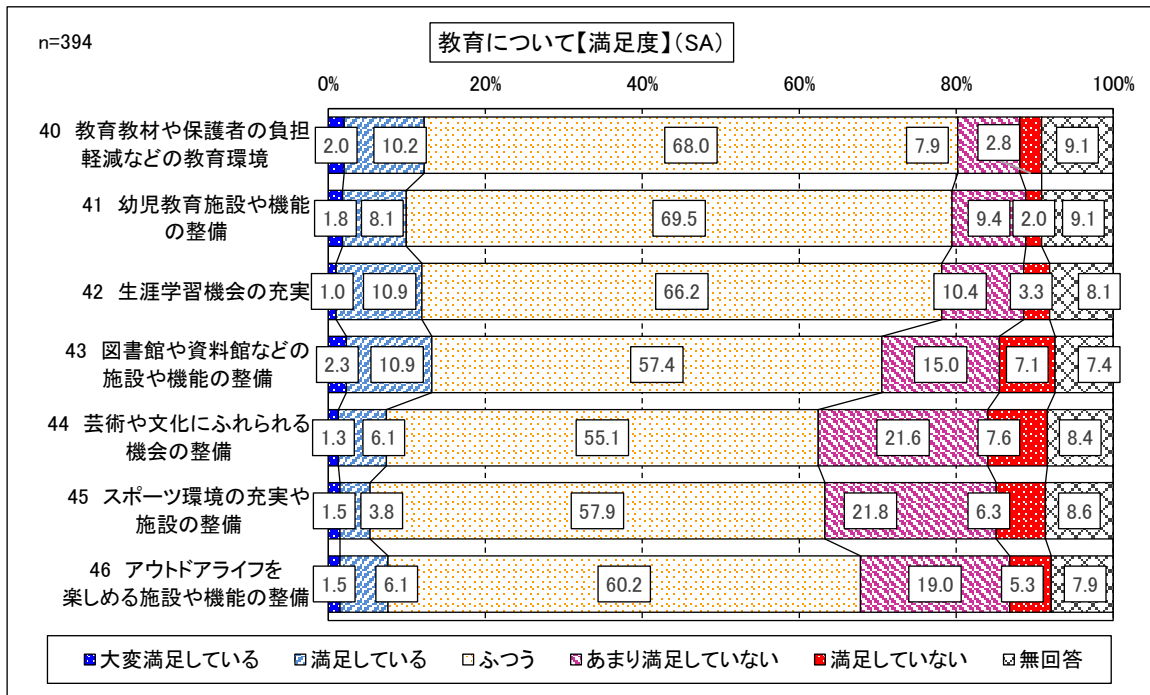
加重平均値の結果は以下の通りです。



【教育について】

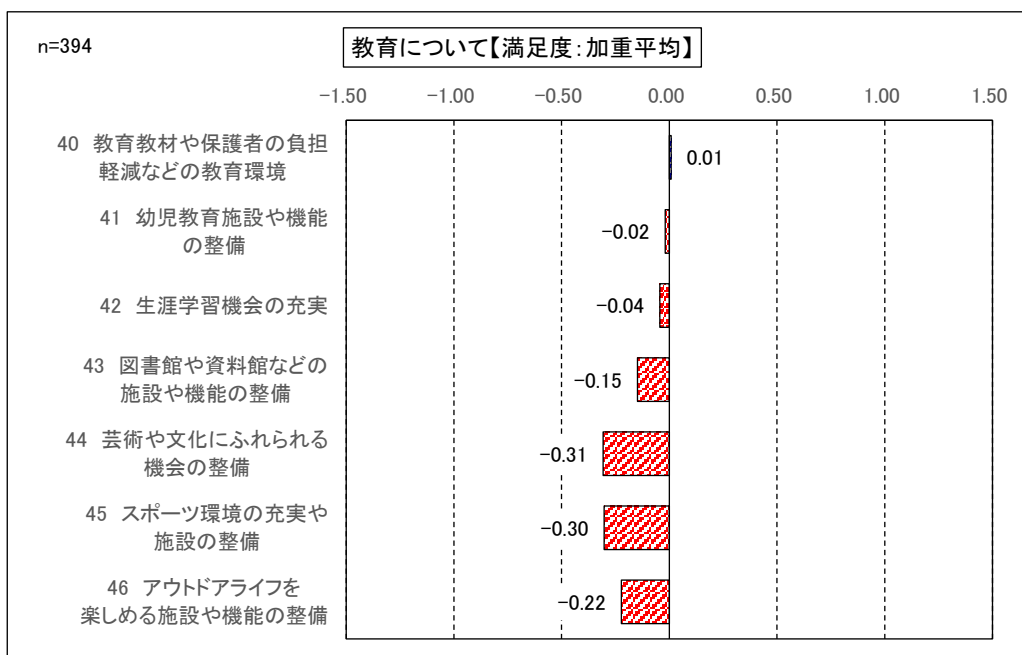
〔全体：満足度〕

本町の「教育」について設定している7項目の「満足度」についての回答結果は、「44 芸術や文化にふれられる機会の整備」、「45 スポーツ環境の充実や施設の整備」、及び「46 アウトドアライフを楽しめる施設や機能の整備」への“満足していない”回答が多い結果となっています。



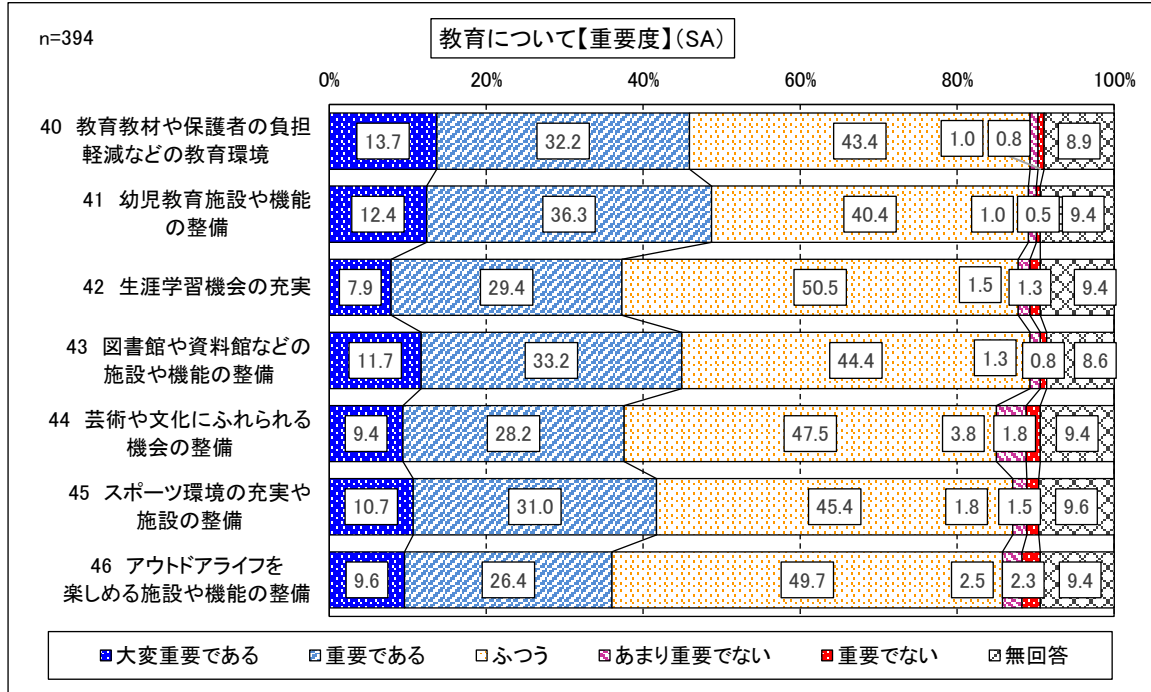
〔全体：満足度（加重平均）〕

加重平均値の結果は以下の通りです。



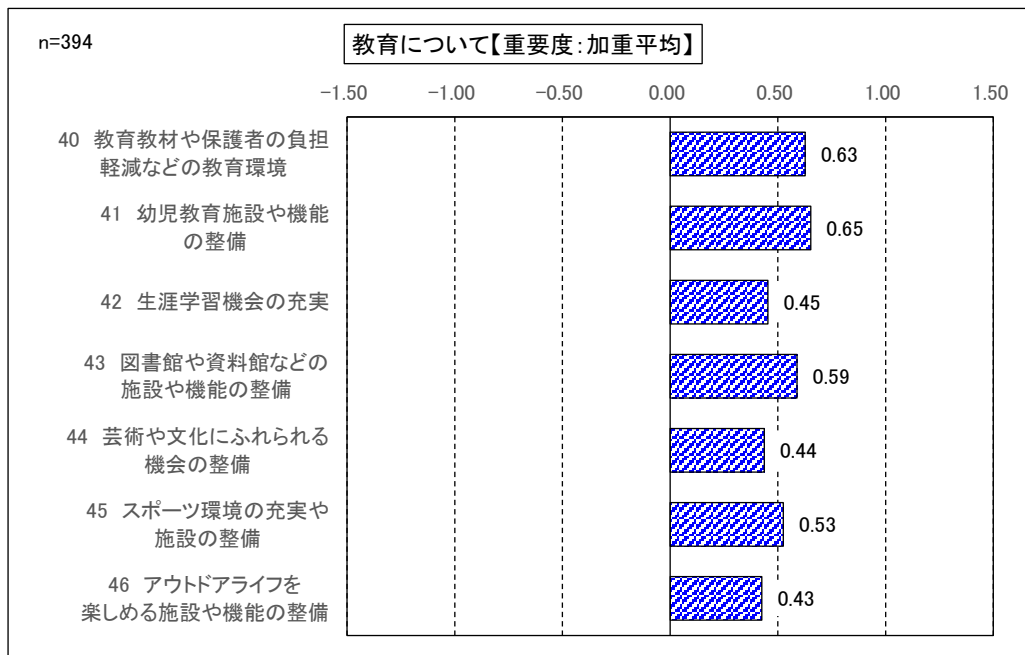
〔全体：重要度〕

本町の「教育」について設定している7項目の「重要度」についての回答結果は、各項目ともに「重要である」への回答が多い結果となっていますが、著しく回答割合の高い項目は見られません。



〔全体：満足度（加重平均）〕

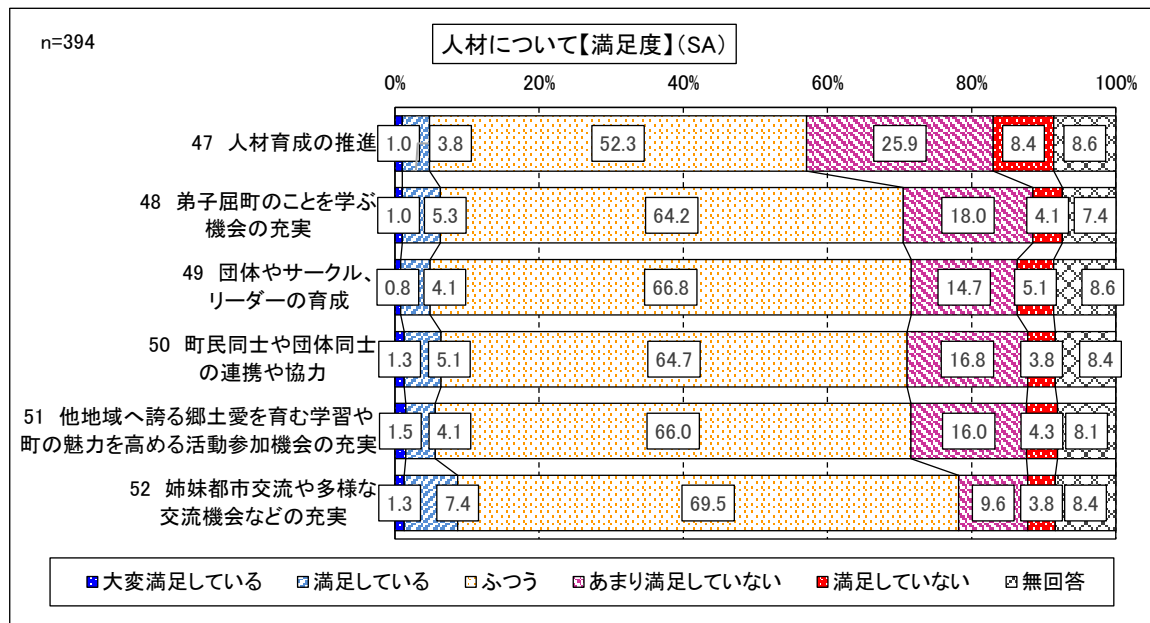
加重平均値の結果は以下の通りです。



【人材について】

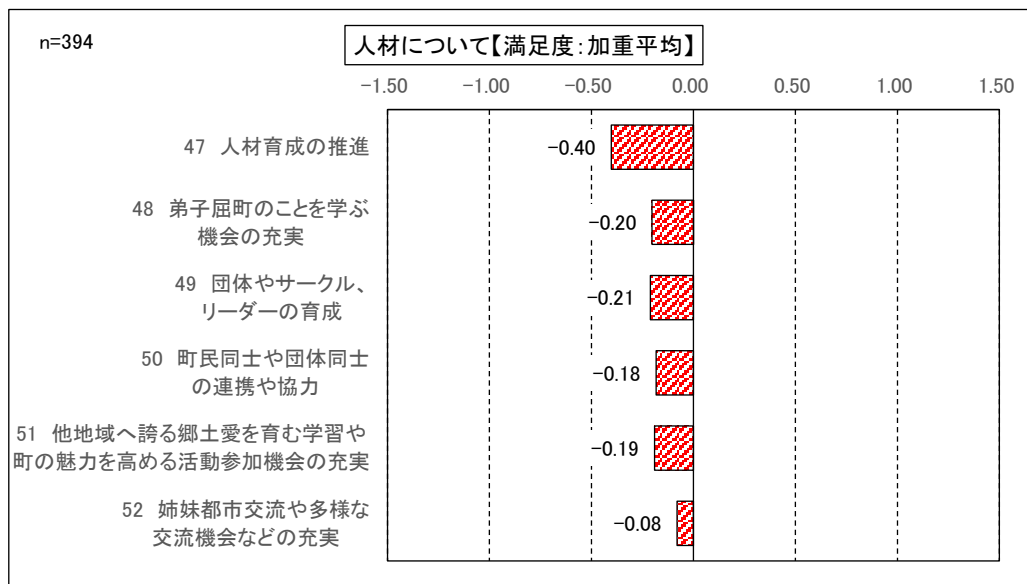
〔全体：満足度〕

本町の「人材」について設定している6項目の「満足度」についての回答結果は、「47 人材育成の推進」への“満足していない”回答が多い結果となっています。



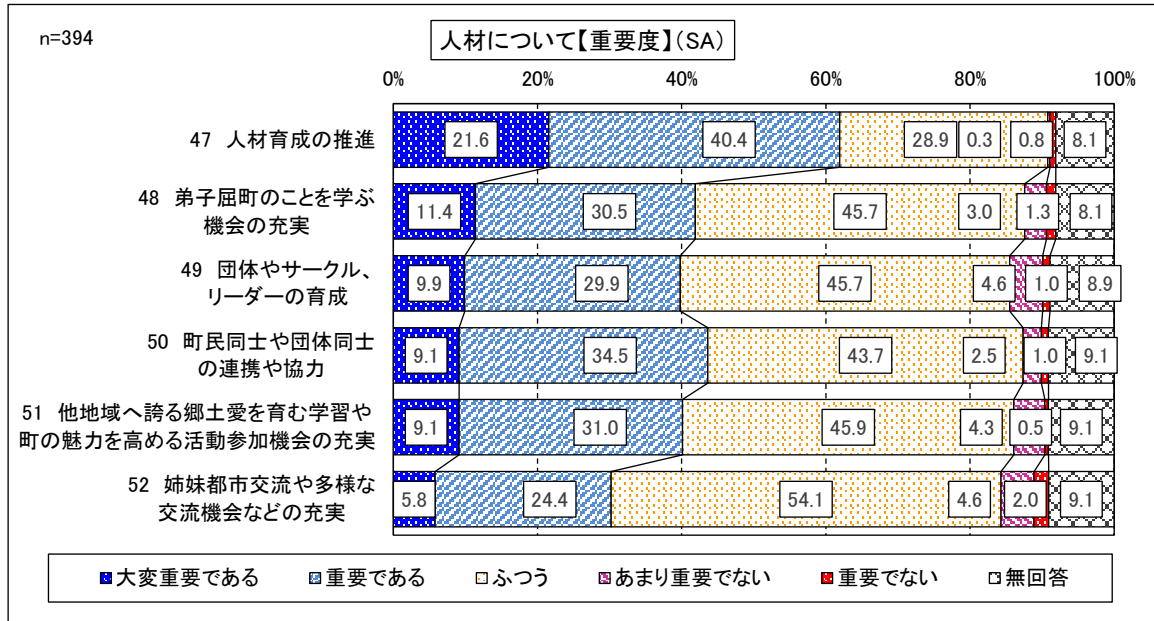
〔全体：満足度（加重平均）〕

加重平均値の結果は以下の通りです。



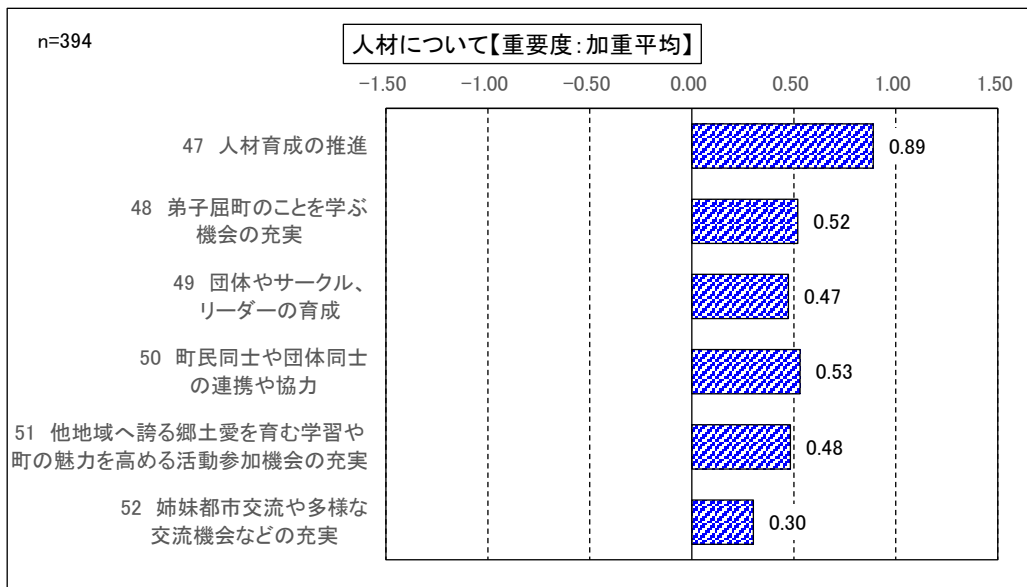
〔全体：重要度〕

本町の「人材」について設定している6項目の「重要度」についての回答結果は、「47 人材育成の推進」の“重要である”への回答が多い結果となっています。



〔全体：満足度（加重平均）〕

加重平均値の結果は以下の通りです。

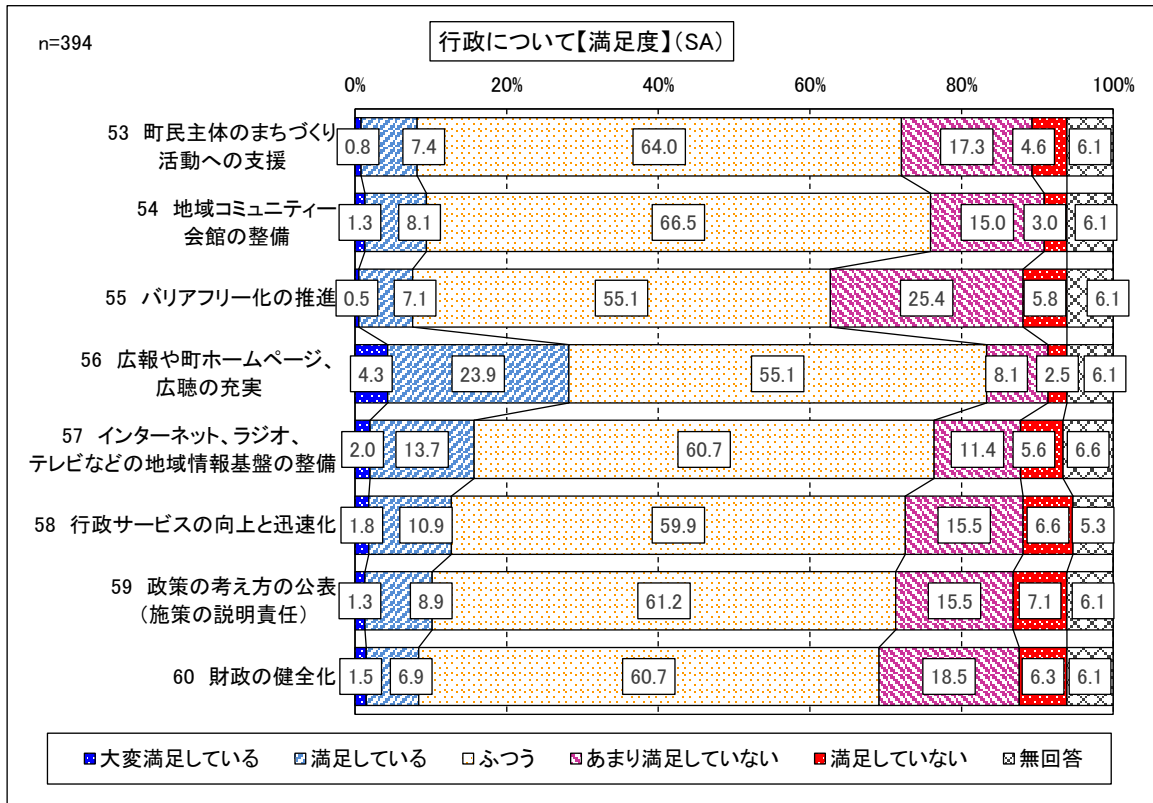


【行政について】

〔全体：満足度〕

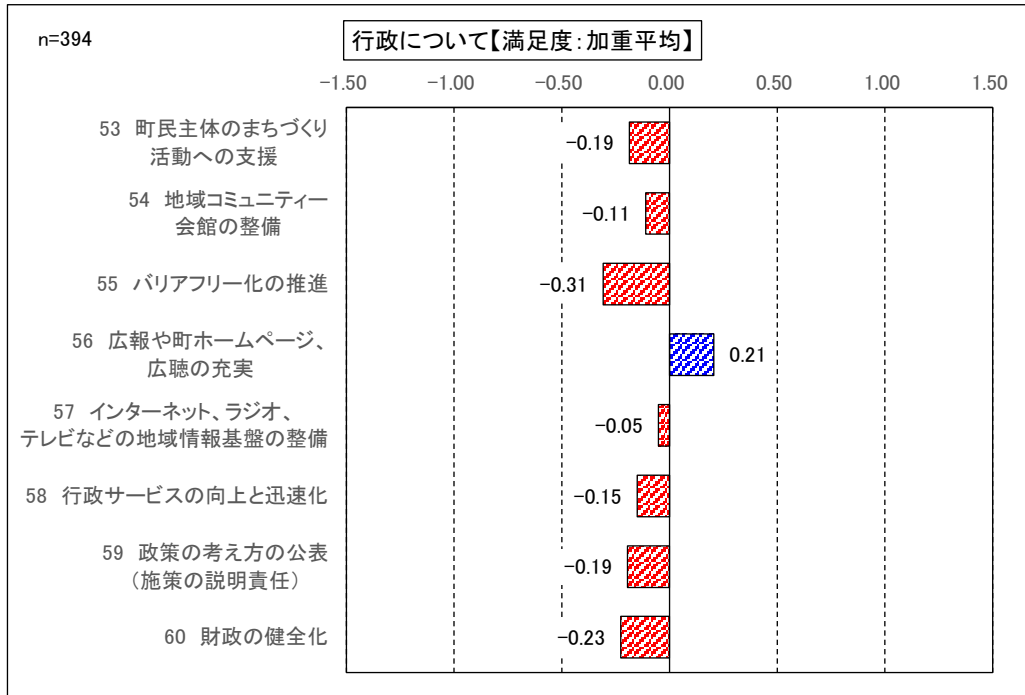
本町の「行政」について設定している8項目の「満足度」についての回答結果は、いずれの項目も“満足している”への回答割合は高くありませんが、「56 広報や町ホームページ、広聴の充実」への“満足している”回答割合は、他の項目と比較して多少高い結果となっています。

一方、“満足している”への回答割合も比較的高い項目はありませんが、「55 バリアフリー化の推進」への“満足していない”回答は、他の項目と比較して多少高い結果となっています。



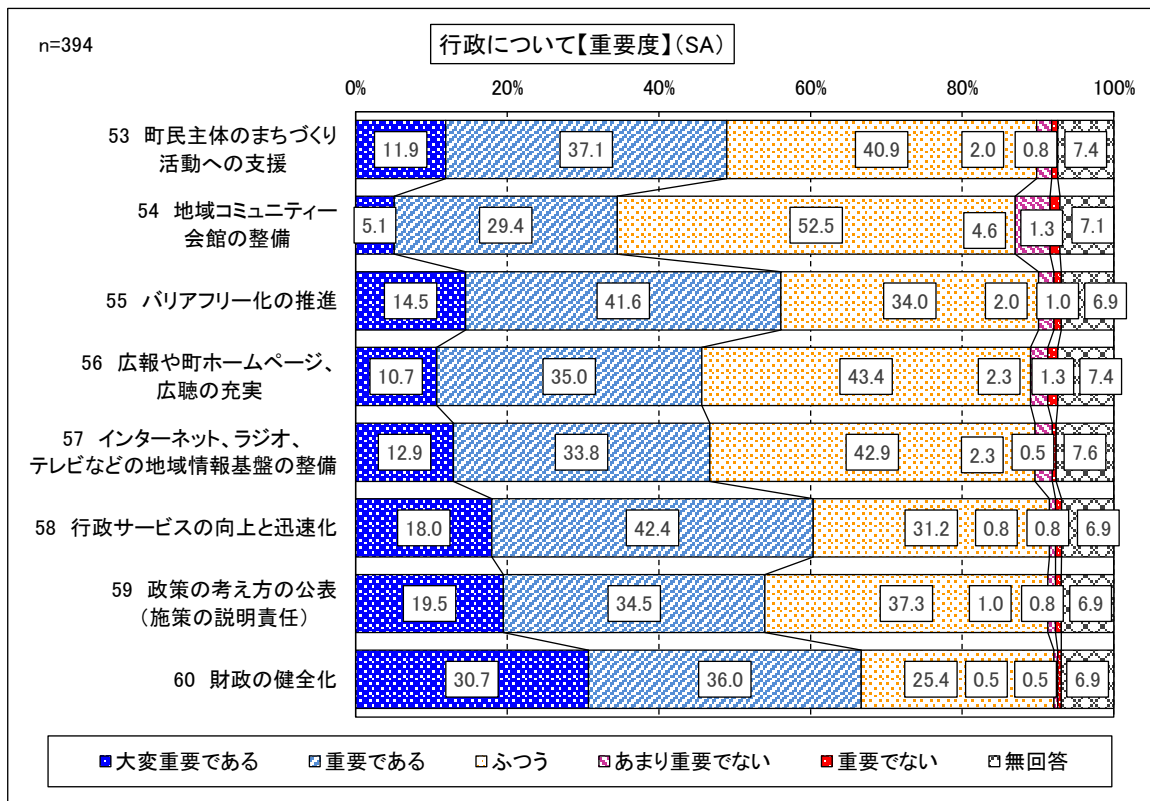
〔全体：満足度（加重平均）〕

加重平均値の結果は以下の通りです。



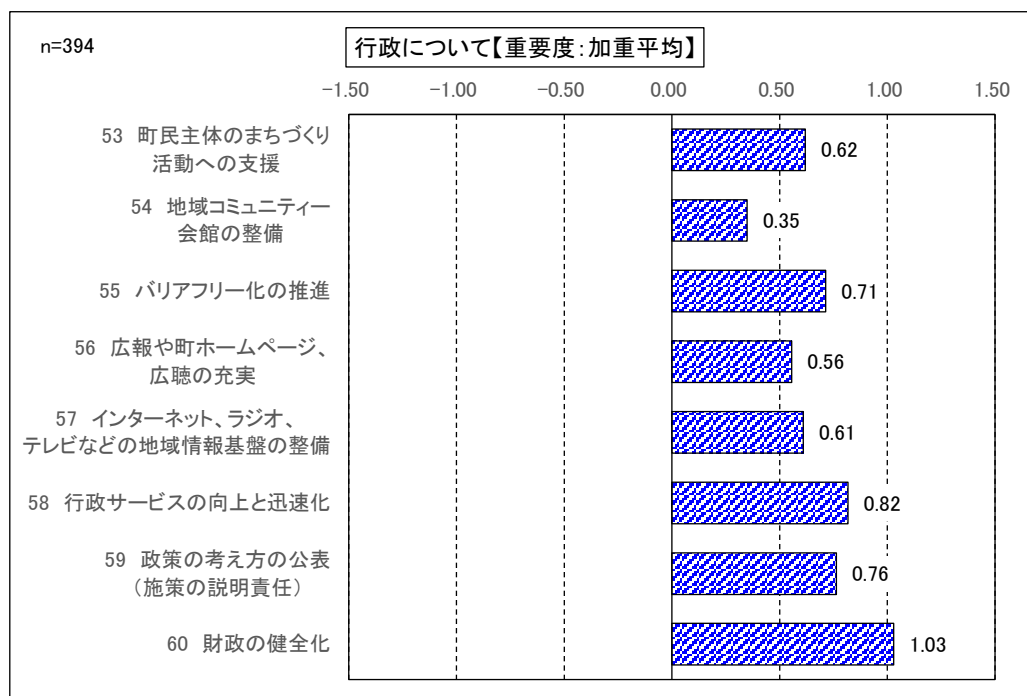
〔全体：重要度〕

本町の「行政」について設定している8項目の「重要度」についての回答結果は、「58 行政サービスの向上と迅速化」、及び「60 財政の健全化」の“重要である”への回答が多い結果となっています。



[全体：満足度（加重平均）]

加重平均値の結果は以下の通りです。



■ 町政等の満足度と重要度によるマトリックス分析

町政等の満足度と重要度によるマトリックス分析を行うにあたり、60項目の「満足度」及び「重要度」の加重平均値を一覧にすると、以下のとおりです。

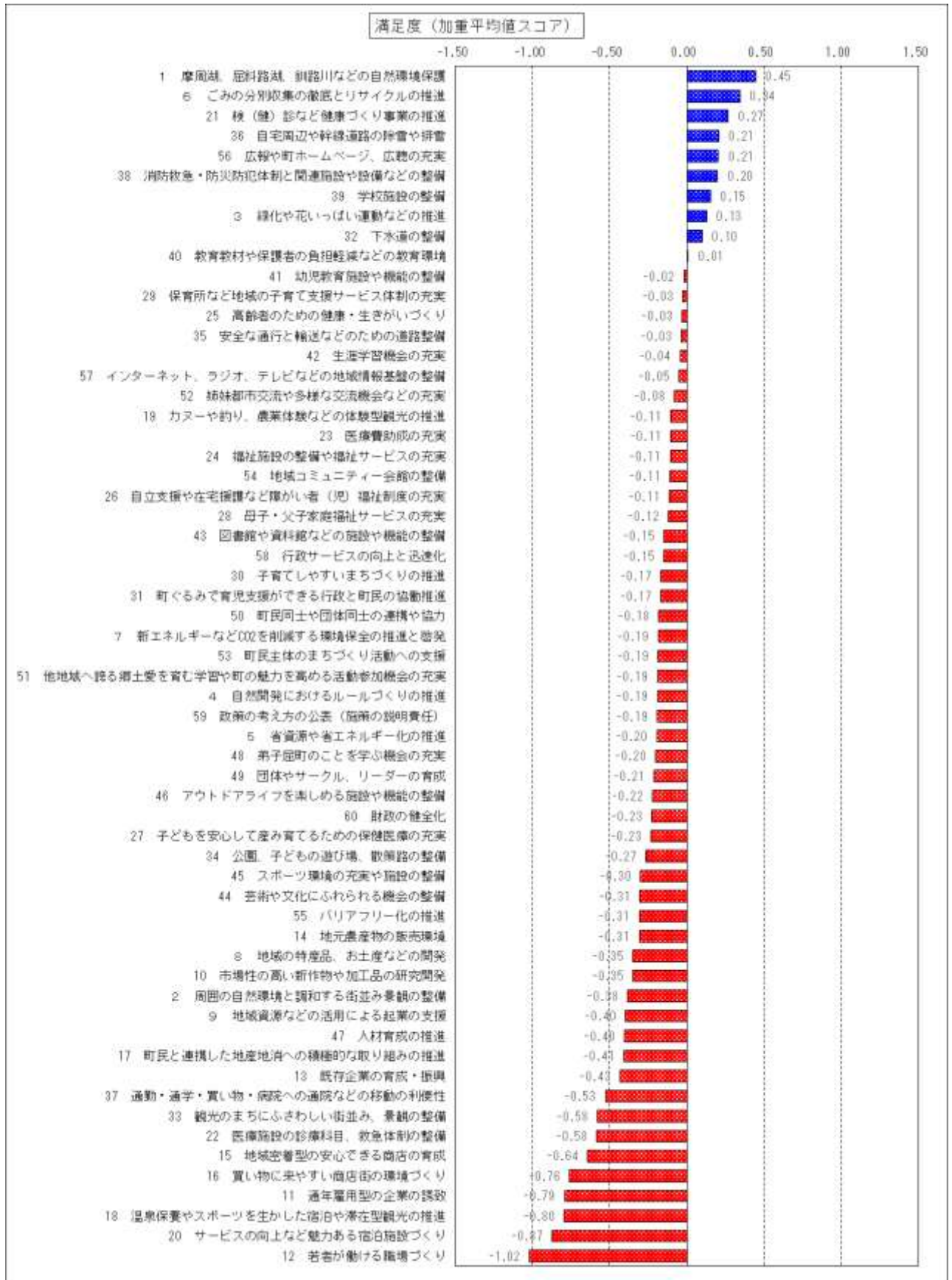
[全項目：加重平均値スコア（%）]

		満足度	重要度
【環境】	1 摩周湖、屈斜路湖、釧路川などの自然環境保護	0.45	1.18
	2 周囲の自然環境と調和する街並み景観の整備	-0.38	0.90
	3 緑化や花いっぱい運動などの推進	0.13	0.45
	4 自然開発におけるルールづくりの推進	-0.19	0.80
	5 省資源や省エネルギー化の推進	-0.20	0.69
	6 ごみの分別収集の徹底とリサイクルの推進	0.34	0.87
	7 新エネルギーなどCO2を削減する環境保全の推進と啓発	-0.19	0.83
【産業活性化】	8 地域の特産品、お土産などの開発	-0.35	0.89
	9 地域資源などの活用による起業の支援	-0.40	0.87
	10 市場性の高い新作物や加工品の研究開発	-0.35	0.82
	11 通年雇用型の企業の誘致	-0.79	1.12
	12 若者が働ける職場づくり	-1.02	1.39
	13 既存企業の育成・振興	-0.43	0.91
	14 地元農産物の販売環境	-0.31	0.94
	15 地域密着型の安心できる商店の育成	-0.64	0.91
	16 買い物に来やすい商店街の環境づくり	-0.76	0.98
	17 町民と連携した地産地消への積極的な取り組みの推進	-0.41	0.87
	18 温泉保養やスポーツを生かした宿泊や滞在型観光の推進	-0.80	1.03
	19 カヌーや釣り、農業体験などの体験型観光の推進	-0.11	0.73
	20 サービスの向上など魅力ある宿泊施設づくり	-0.87	1.14
【暮らし】	21 検（健）診など健康づくり事業の推進	0.27	0.87
	22 医療施設の診療科目、救急体制の整備	-0.58	1.29
	23 医療費助成の充実	-0.11	0.92
	24 福祉施設の整備や福祉サービスの充実	-0.11	0.85
	25 高齢者のための健康・生きがいづくり	-0.03	0.71
	26 自立支援や在宅介護など障がい者（児）福祉制度の充実	-0.11	0.75
	27 子どもを安心して産み育てるための保健医療の充実	-0.23	1.01
	28 母子・父子家庭福祉サービスの充実	-0.12	0.72
	29 保育所など地域の子育て支援サービス体制の充実	-0.03	0.77
	30 子育てしやすいまちづくりの推進	-0.17	0.90
	31 町ぐるみで育児支援ができる行政と町民の協働推進	-0.17	0.76
	32 下水道の整備	0.10	0.68
	33 観光のまちにふさわしい街並み、景観の整備	-0.58	0.95
	34 公園、子どもの遊び場、散策路の整備	-0.27	0.65
	35 安全な通行と輸送などのための道路整備	-0.03	0.66
	36 自宅周辺や幹線道路の除雪や排雪	0.21	0.84
	37 通勤・通学・買い物・病院への通院などの移動の利便性	-0.53	0.97
	38 消防救急・防災防犯体制と関連施設や設備などの整備	0.20	0.81
	39 学校施設の整備	0.15	0.66

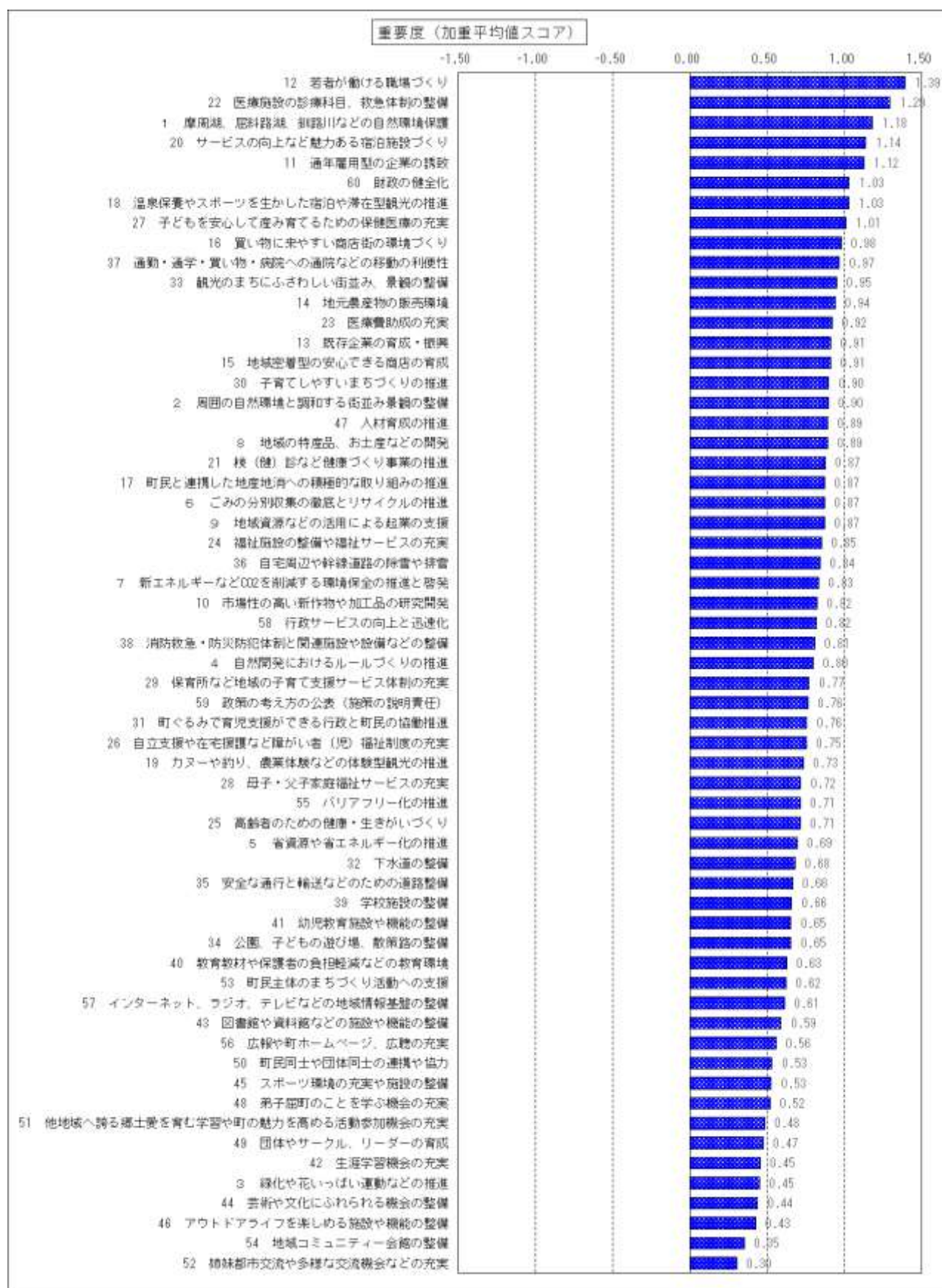
		満足度	重要度
【教育】	40 教育教材や保護者の負担軽減などの教育環境	0.01	0.63
	41 幼児教育施設や機能の整備	-0.02	0.65
	42 生涯学習機会の充実	-0.04	0.45
	43 図書館や資料館などの施設や機能の整備	-0.15	0.59
	44 芸術や文化にふれられる機会の整備	-0.31	0.44
	45 スポーツ環境の充実や施設の整備	-0.30	0.53
	46 アウトドアライフを楽しめる施設や機能の整備	-0.22	0.43
【人材】	47 人材育成の推進	-0.40	0.89
	48 弟子屈町のことを学ぶ機会の充実	-0.20	0.52
	49 団体やサークル、リーダーの育成	-0.21	0.47
	50 町民同士や団体同士の連携や協力	-0.18	0.53
	51 他地域へ誇る郷土愛を育む学習や町の魅力を高める活動参加機会の充実	-0.19	0.48
	52 姉妹都市交流や多様な交流機会などの充実	-0.08	0.30
【行政】	53 町民主体のまちづくり活動への支援	-0.19	0.62
	54 地域コミュニティー会館の整備	-0.11	0.35
	55 バリアフリー化の推進	-0.31	0.71
	56 広報や町ホームページ、広聴の充実	0.21	0.56
	57 インターネット、ラジオ、テレビなどの地域情報基盤の整備	-0.05	0.61
	58 行政サービスの向上と迅速化	-0.15	0.82
	59 政策の考え方の公表（施策の説明責任）	-0.19	0.76
	60 財政の健全化	-0.23	1.03
	平均	-0.21	0.77

また、60項目の「満足度」及び「重要度」の加重平均値をグラフにすると、以下のとおりです。

[全項目：満足度スコア（%）]

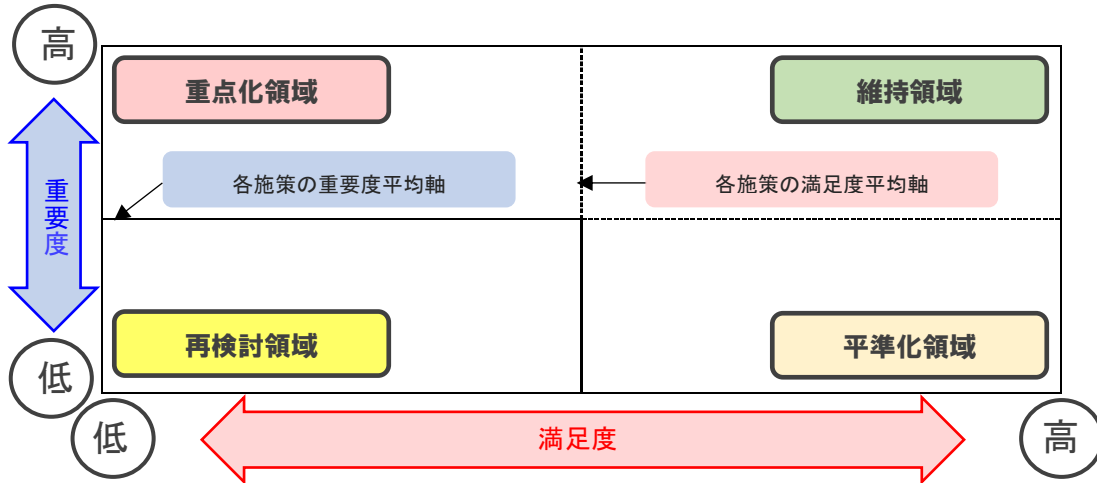


〔全項目：重視度スコア (%)〕



以上の結果について、満足度スコアを横軸に、重要度を縦軸にとり、各調査項目の数値を座標点として「マトリックスグラフ」とすると、次頁以下となります。

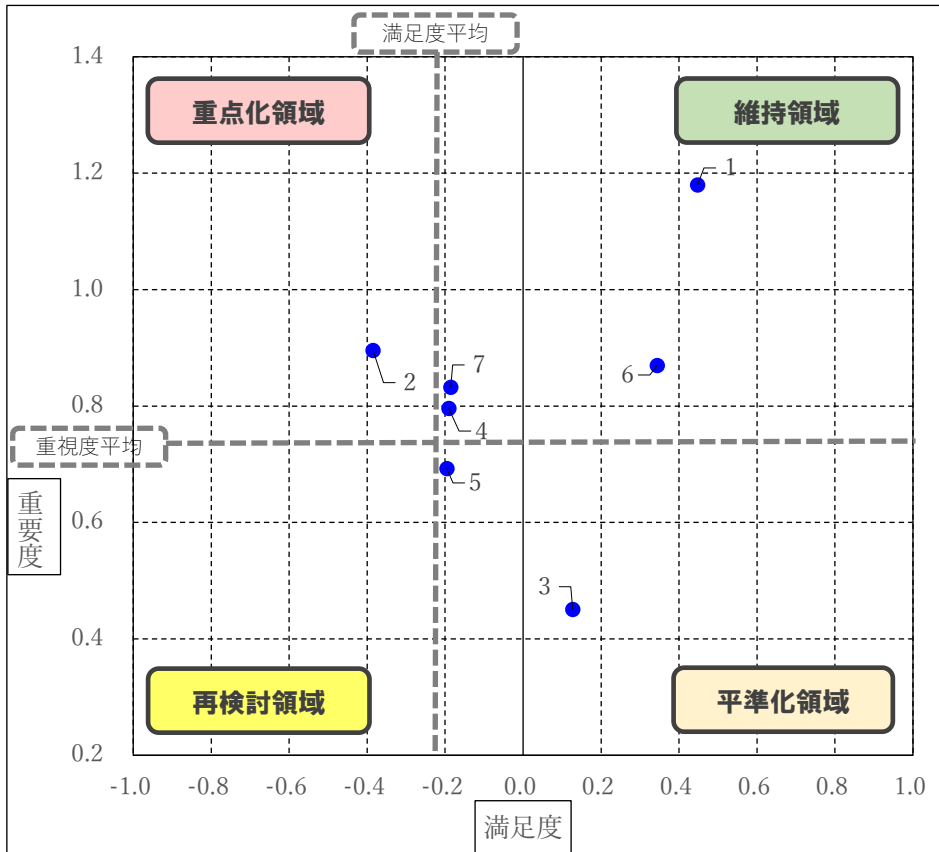
また、グラフ中の横軸、縦軸については満足度・重要度スコアの平均値をあらわしており、マトリックスグラフによって各項目を配置していくと、各項目は以下の4つの領域に位置づけられます。



上記4つの領域ごとに、今後の取り組みは異なります。一般に、領域ごとに必要と考えられる対応は、以下のとおりです。

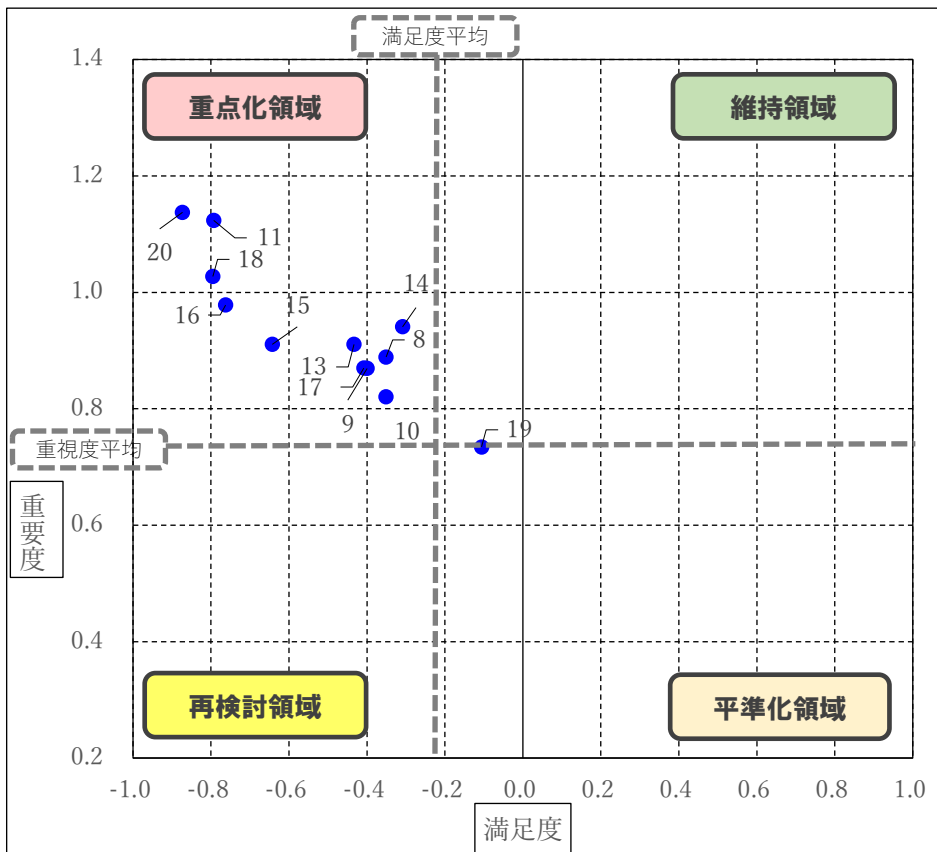
維持領域	重要度も満足度も高い領域であり、ここに含まれる施策は、現在の水準を維持すればよい施策と考えることができます。
平準化領域	満足度は高いものの重要度は低い領域であり、その施策の水準について改めて検討を行う必要がある項目であると考えられます。
重点化領域	満足度が低く、重要度が高い領域であり、ここに含まれる施策は、町民は弟子屈町のまちづくりにとって重要だと思っているものの、満足していない傾向にあり、今度積極的に対応すべき項目であると考えられます。
再検討領域	重要度も満足度も低い領域であり、その施策のあり方を含めて、改めて検討することが必要であると考えられる項目です。

〔マトリックスグラフ【環境】〕



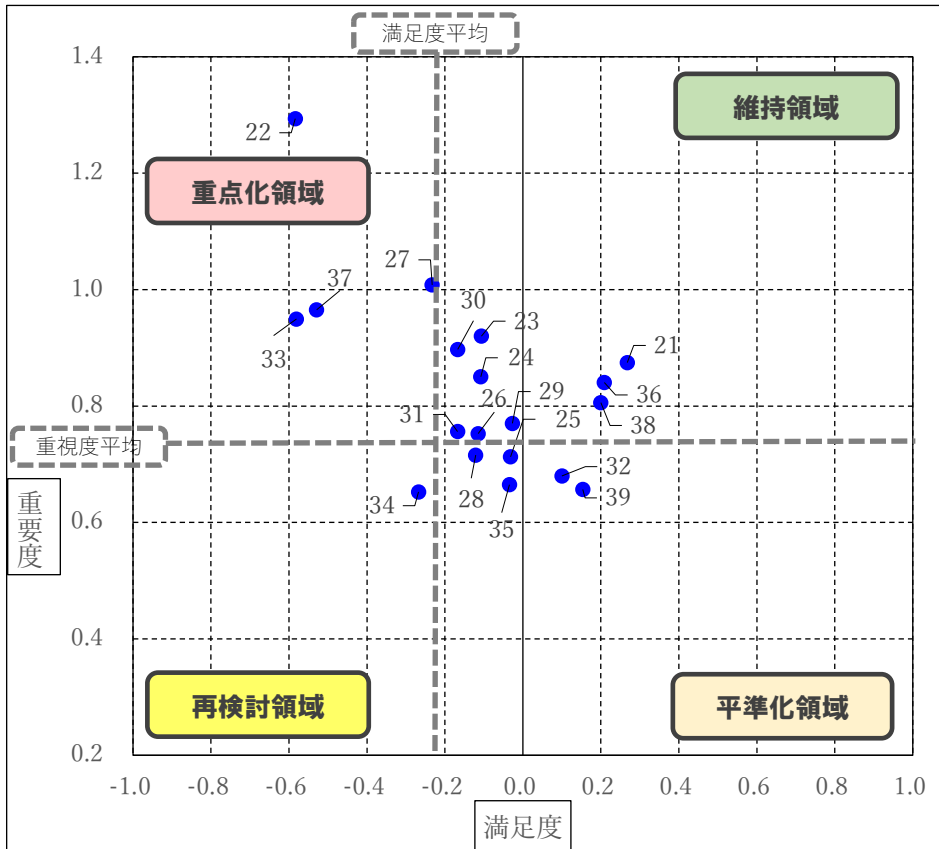
		満足度	重要度
【環境】	1 摩周湖、屈斜路湖、釧路川などの自然環境保護	0.45	1.18
	2 周囲の自然環境と調和する街並み景観の整備	-0.38	0.90
	3 緑化や花いっぱい運動などの推進	0.13	0.45
	4 自然開発におけるルールづくりの推進	-0.19	0.80
	5 省資源や省エネルギー化の推進	-0.20	0.69
	6 ごみの分別収集の徹底とリサイクルの推進	0.34	0.87
	7 新エネルギーなど CO2 を削減する環境保全の推進と啓発	-0.19	0.83

【マトリックスグラフ【産業活性化】】



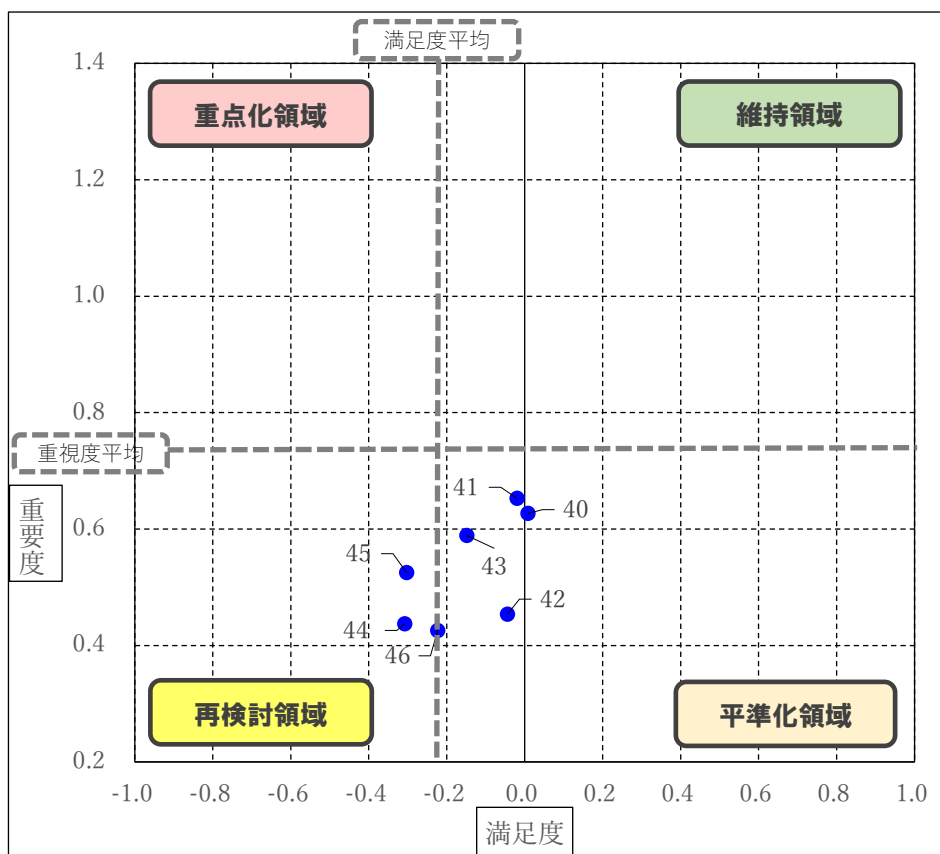
		満足度	重要度
【産業活性化】	8 地域の特産品、お土産などの開発	-0.35	0.89
	9 地域資源などの活用による起業の支援	-0.40	0.87
	10 市場性の高い新作物や加工品の研究開発	-0.35	0.82
	11 通年雇用型の企業の誘致	-0.79	1.12
	12 若者が働ける職場づくり	-1.02	1.39
	13 既存企業の育成・振興	-0.43	0.91
	14 地元農産物の販売環境	-0.31	0.94
	15 地域密着型の安心できる商店の育成	-0.64	0.91
	16 買い物に来やすい商店街の環境づくり	-0.76	0.98
	17 町民と連携した地産地消への積極的な取り組みの推進	-0.41	0.87
	18 温泉保養やスポーツを生かした宿泊や滞在型観光の推進	-0.80	1.03
	19 カヌーや釣り、農業体験などの体験型観光の推進	-0.11	0.73
	20 サービスの向上など魅力ある宿泊施設づくり	-0.87	1.14

〔マトリックスグラフ【暮らし】〕



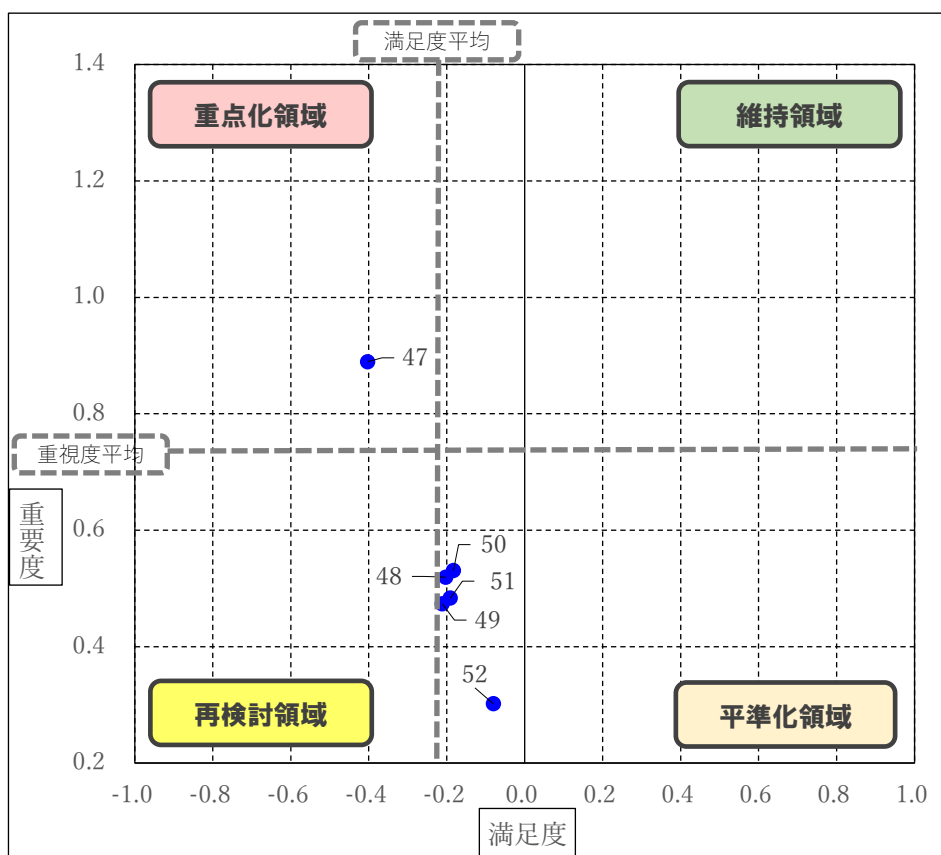
		満足度	重要度
【暮らし】	21 検（健）診など健康づくり事業の推進	0.27	0.87
	22 医療施設の診療科目、救急体制の整備	-0.58	1.29
	23 医療費助成の充実	-0.11	0.92
	24 福祉施設の整備や福祉サービスの充実	-0.11	0.85
	25 高齢者のための健康・生きがいづくり	-0.03	0.71
	26 自立支援や在宅介護など障がい者（児）福祉制度の充実	-0.11	0.75
	27 子どもを安心して産み育てるための保健医療の充実	-0.23	1.01
	28 母子・父子家庭福祉サービスの充実	-0.12	0.72
	29 保育所など地域の子育て支援サービス体制の充実	-0.03	0.77
	30 子育てしやすいまちづくりの推進	-0.17	0.90
	31 町ぐるみで育児支援ができる行政と町民の協働推進	-0.17	0.76
	32 下水道の整備	0.10	0.68
	33 観光のまちにふさわしい街並み、景観の整備	-0.58	0.95
	34 公園、子どもの遊び場、散策路の整備	-0.27	0.65
	35 安全な通行と輸送などのための道路整備	-0.03	0.66
	36 自宅周辺や幹線道路の除雪や排雪	0.21	0.84
	37 通勤・通学・買い物・病院への通院などの移動の利便性	-0.53	0.97
	38 消防救急・防災防犯体制と関連施設や設備などの整備	0.20	0.81
	39 学校施設の整備	0.15	0.66

〔マトリックスグラフ【教育】〕



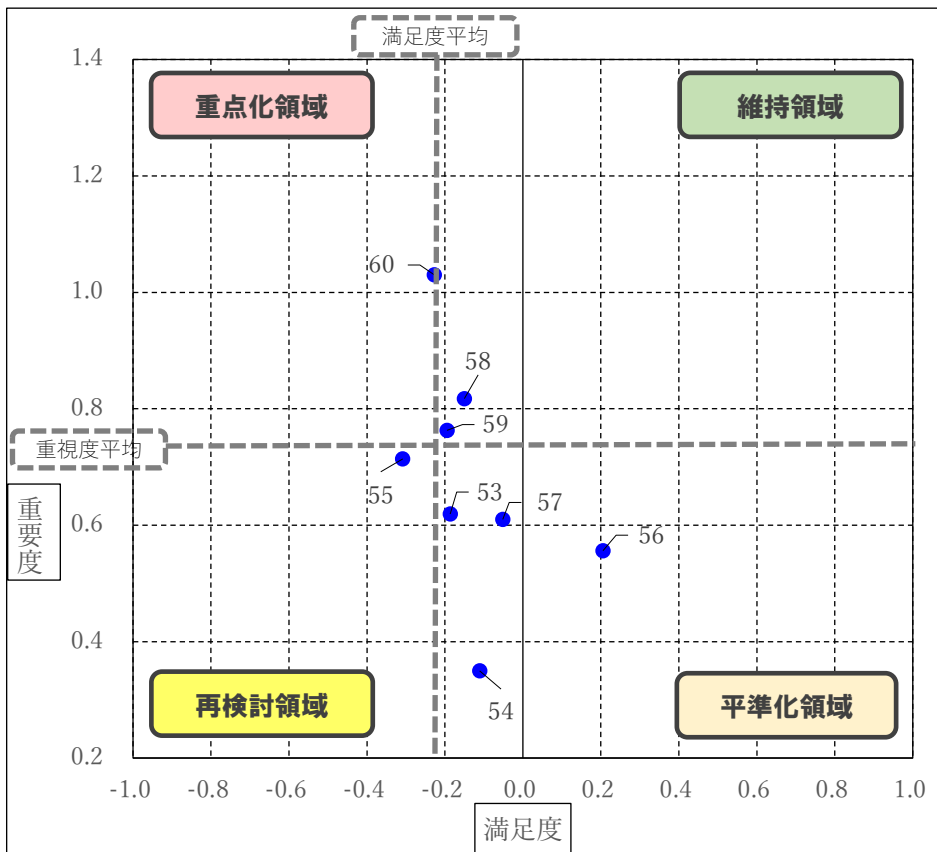
		満足度	重要度
【教育】	40 教育教材や保護者の負担軽減などの教育環境	0.01	0.63
	41 幼児教育施設や機能の整備	-0.02	0.65
	42 生涯学習機会の充実	-0.04	0.45
	43 図書館や資料館などの施設や機能の整備	-0.15	0.59
	44 芸術や文化にふれられる機会の整備	-0.31	0.44
	45 スポーツ環境の充実や施設の整備	-0.30	0.53
	46 アウトドアライフを楽しめる施設や機能の整備	-0.22	0.43

【マトリックスグラフ【人材】】



		満足度	重要度
【人材】	47 人材育成の推進	-0.40	0.89
	48 弟子屈町のことを学ぶ機会の充実	-0.20	0.52
	49 団体やサークル、リーダーの育成	-0.21	0.47
	50 町民同士や団体同士の連携や協力	-0.18	0.53
	51 他地域へ誇る郷土愛を育む学習や町の魅力を高める活動参加機会の充実	-0.19	0.48
	52 姉妹都市交流や多様な交流機会などの充実	-0.08	0.30

〔マトリックスグラフ【行政】〕



		満足度	重要度
【行政】	53 町民主体のまちづくり活動への支援	-0.19	0.62
	54 地域コミュニティー会館の整備	-0.11	0.35
	55 バリアフリー化の推進	-0.31	0.71
	56 広報や町ホームページ、広聴の充実	0.21	0.56
	57 インターネット、ラジオ、テレビなどの地域情報基盤の整備	-0.05	0.61
	58 行政サービスの向上と迅速化	-0.15	0.82
	59 政策の考え方の公表（施策の説明責任）	-0.19	0.76
	60 財政の健全化	-0.23	1.03

以上の結果から、上記4つの領域それぞれに、以下の項目が区分される結果となっています。

維持領域

項 目	
1	摩周湖、屈斜路湖、釧路川などの自然環境保護
4	自然開発におけるルールづくりの推進
6	ごみの分別収集の徹底とリサイクルの推進
7	新エネルギーなどCO2を削減する環境保全の推進と啓発
21	検（健）診など健康づくり事業の推進
23	医療費助成の充実
24	福祉施設の整備や福祉サービスの充実
26	自立支援や在宅介護など障がい者（児）福祉制度の充実
29	保育所など地域の子育て支援サービス体制の充実
30	子育てしやすいまちづくりの推進
31	町ぐるみで育児支援ができる行政と町民の協働推進
36	自宅周辺や幹線道路の除雪や排雪
38	消防救急・防災防犯体制と関連施設や設備などの整備
58	行政サービスの向上と迅速化
59	政策の考え方の公表（施策の説明責任）

平準化領域

項 目	
3	緑化や花いっぱい運動などの推進
5	省資源や省エネルギー化の推進
19	カヌーや釣り、農業体験などの体験型観光の推進
25	高齢者のための健康・生きがいづくり
28	母子・父子家庭福祉サービスの充実
32	下水道の整備
35	安全な通行と輸送などのための道路整備
39	学校施設の整備
40	教育教材や保護者の負担軽減などの教育環境
41	幼児教育施設や機能の整備
42	生涯学習機会の充実
43	図書館や資料館などの施設や機能の整備
48	弟子屈町のことを学ぶ機会の充実
49	団体やサークル、リーダーの育成
50	町民同士や団体同士の連携や協力
51	他地域へ誇る郷土愛を育む学習や町の魅力を高める活動参加機会の充実
52	姉妹都市交流や多様な交流機会などの充実

平準化領域

項 目	
53	町民主体のまちづくり活動への支援
54	地域コミュニティー会館の整備
55	バリアフリー化の推進
57	インターネット、ラジオ、テレビなどの地域情報基盤の整備

重点化領域

項 目	
2	周囲の自然環境と調和する街並み景観の整備
8	地域の特産品、お土産などの開発
9	地域資源などの活用による起業の支援
10	市場性の高い新作物や加工品の研究開発
11	通年雇用型の企業の誘致
12	若者が働ける職場づくり
13	既存企業の育成・振興
14	地元農産物の販売環境
15	地域密着型の安心できる商店の育成
16	買い物に来やすい商店街の環境づくり
17	町民と連携した地産地消への積極的な取り組みの推進
18	温泉保養やスポーツを生かした宿泊や滞在型観光の推進
20	サービスの向上など魅力ある宿泊施設づくり
22	医療施設の診療科目、救急体制の整備
27	子どもを安心して産み育てるための保健医療の充実
33	観光のまちにふさわしい街並み、景観の整備
37	通勤・通学・買い物・病院への通院などの移動の利便性
47	人材育成の推進
60	財政の健全化

再検討領域

項 目	
34	公園、子どもの遊び場、散策路の整備
44	芸術や文化にふれられる機会の整備
45	スポーツ環境の充実や施設の整備
46	アウトドアライフを楽しめる施設や機能の整備
56	広報や町ホームページ、広聴の充実

■ 町政等の満足度点数の推移

本町では、町政等の満足度について毎年度点数化して行政評価の指標等で活用しています。点数化は、「1.大変満足である」(a)が100点、「2.満足である」(b)が75点、「3.ふつう」(c)が50点、「4.あまり満足ではない」(d)が25点、「5.満足でない」(e)が0点として、各回答者数を乗じ、その総数を以下の計算式で算出しています。

$$\frac{[(a) \text{ 回答者数} \times 100 + (b) \text{ 回答者数} \times 75 + (c) \text{ 回答者数} \times 50 + (d) \text{ 回答者数} \times 25 + (e) \text{ 回答者数} \times 0 \text{ 点}]}{[(a) \text{ 回答者数} + (b) \text{ 回答者数} + (c) \text{ 回答者数} + (d) \text{ 回答者数} + (e) \text{ 回答者数}]}$$

また、下表の「H28～R2」は実施年度ですが、各年5月に実施しています。なお、「今回」は本調査（※R3.1月実施）の結果を示しています。

「今回」の欄で、**青字**は前回（※R2.5月実施）よりも点数が増加、**赤字**は前回（※R2.5月実施）よりも点数が低下、**黒字**は前回（※R2.5月実施）と同点数を示しています。

〔全項目：満足度点数の推移（点）〕

【環境】

項 目	H28	H29	H30	R1	R2	今回
1 摩周湖、屈斜路湖、釧路川などの自然環境保護	59	58	58	60	62	61
2 周囲の自然環境と調和する街並み景観の整備	45	42	41	41	45	40
3 緑化や花いっぱい運動などの推進	54	51	52	54	54	53
4 自然開発におけるルールづくりの推進	48	46	46	46	49	45
5 省資源や省エネルギー化の推進	48	47	47	48	50	45
6 ごみの分別収集の徹底とリサイクルの推進	58	59	59	61	62	59
7 新エネルギーなどCO2を削減する環境保全の推進と啓発	48	47	46	48	50	45

【産業活性化】

項 目	H28	H29	H30	R1	R2	今回
8 地域の特産品、お土産などの開発	44	42	43	41	43	41
9 地域資源などの活用による起業の支援	43	41	40	41	42	40
10 市場性の高い新作物や加工品の研究開発	42	41	42	40	41	41
11 通年雇用型の企業の誘致	32	34	31	33	33	30
12 若者が働ける職場づくり	24	27	24	23	27	24
13 既存企業の育成・振興	35	37	36	36	37	39
14 地元農産物の販売環境	42	41	41	41	43	42
15 地域密着型の安心できる商店の育成	32	34	30	32	33	34
16 買い物に来やすい商店街の環境づくり	30	31	29	29	31	31
17 町民と連携した地産地消への積極的な取り組みの推進	37	37	38	38	36	40
18 温泉保養やスポーツを生かした宿泊や滞在型観光の推進	31	30	27	30	30	30
19 カヌーや釣り、農業体験などの体験型観光の推進	46	44	45	49	46	47
20 サービスの向上など魅力ある宿泊施設づくり	28	28/	28	29	31	28

【暮らし】

項 目	H28	H29	H30	R1	R2	今回
21 検（健）診など健康づくり事業の推進	53	56	54	56	54	57
22 医療施設の診療科目、救急体制の整備	31	32	37	37	40	35
23 医療費助成の充実	47	45	47	46	49	47
24 福祉施設の整備や福祉サービスの充実	48	48	48	48	51	47
25 高齢者のための健康・生きがいづくり	49	49	50	50	50	49
26 自立支援や在宅援護など障がい者（児）福祉制度の充実	46	46	46	47	49	47
27 子どもを安心して産み育てるための保健医療の充実	41	40	42	43	45	44
28 母子・父子家庭福祉サービスの充実	45	46	45	48	47	47
29 保育所など地域の子育て支援サービス体制の充実	50	49	48	50	49	49
30 子育てしやすいまちづくりの推進	46	-	45	43	45	46
31 町ぐるみで育児支援ができる行政と町民の協働推進	50	45	45	44	46	46
32 下水道の整備	35	48	48	50	48	50
33 観光のまちにふさわしい街並み、景観の整備	39	33	32	33	35	35
34 公園、子どもの遊び場、散策路の整備	42	40	37	39	40	43
35 安全な通行と輸送などのための道路整備	39	44	46	45	47	49
36 自宅周辺や幹線道路の除雪や排雪	39	45	47	50	51	55
37 通勤・通学・買い物・病院への通院などの移動の利便性	52	37	38	36	40	37
38 消防救急・防災防犯体制と関連施設や設備などの整備	53	54	56	55	56	55
39 学校施設の整備	31	55	55	55	54	54

【教育】

項 目	H28	H29	H30	R1	R2	今回
40 教育教材や保護者の負担軽減などの教育環境	54	50	51	52	51	50
41 幼児教育施設や機能の整備	50	50	49	51	50	50
42 生涯学習機会の充実	48	49	50	51	50	49
43 図書館や資料館などの施設や機能の整備	50	47	46	47	47	46
44 芸術や文化にふれられる機会の整備	48	42	44	44	43	42
45 スポーツ環境の充実や施設の整備	45	44	40	43	43	42
46 アウトドアライフを楽しめる施設や機能の整備	44	42	42	43	43	44

【人材】

項 目	H28	H29	H30	R1	R2	今回
47 人材育成の推進	41	40	40	41	40	40
48 弟子屈町のことを学ぶ機会の充実	44	44	43	43	44	45
49 団体やサークル、リーダーの育成	43	44	44	43	43	45
50 町民同士や団体同士の連携や協力	44	44	44	44	44	45
51 他地域へ誇る郷土愛を育む学習や町の魅力を高める活動参加機会の充実	44	44	44	44	44	45
52 姉妹都市交流や多様な交流機会などの充実	48	47	49	49	47	48

【人材】

項 目	H28	H29	H30	R1	R2	今回
53 町民主体のまちづくり活動への支援	45	44	45	44	45	45
54 地域コミュニティー会館の整備	46	45	45	44	46	47
55 バリアフリー化の推進	43	42	42	43	43	42
56 広報や町ホームページ、広聴の充実	52	53	54	55	54	55
57 インターネット、ラジオ、テレビなどの地域情報基盤の整備	45	46	46	47	45	49
58 行政サービスの向上と迅速化	45	47	45	47	45	46
59 政策の考え方の公表（施策の説明責任）	44	45	45	44	45	45
60 財政の健全化	43	43	41	44	42	44

問 13 ここ数年のうちに特に良くなったと思われる町の取り組みと、今後特に必要だと思われる取り組みは何ですか。良くなった取り組み、必要な取り組みそれぞれについて、あてはまる番号を3つまで選び、下記欄に番号を記入してください。

【全体】

①特に良くなったと思われる町の取り組み

ここ数年のうちに特に良くなったと思われる町の取り組みについて、43項目から最大3項目まで選択していただいたところ、回答割合が10%を超える項目は以下のとおりです。

	取り組み項目	回答割合 (%)
1	下水道の整備	18.8
2	消防・防災・救急体制の整備	13.5
3	河川・水路などの環境整備	13.2
4	ごみの減量化や処理体制の整備	11.2
5	広報・広聴活動の推進	10.7

「下水道の整備」への回答割合が18.8%と2割近くになっています。次いで、「消防・防災・救急体制の整備」、「河川・水路などの環境整備」、「ごみの減量化や処理体制の整備」と続いています。まちの基盤整備、安全なまちづくり、生活環境の整備等への回答が上位を占める結果となっています。

②今後特に必要と思われる町の取り組み

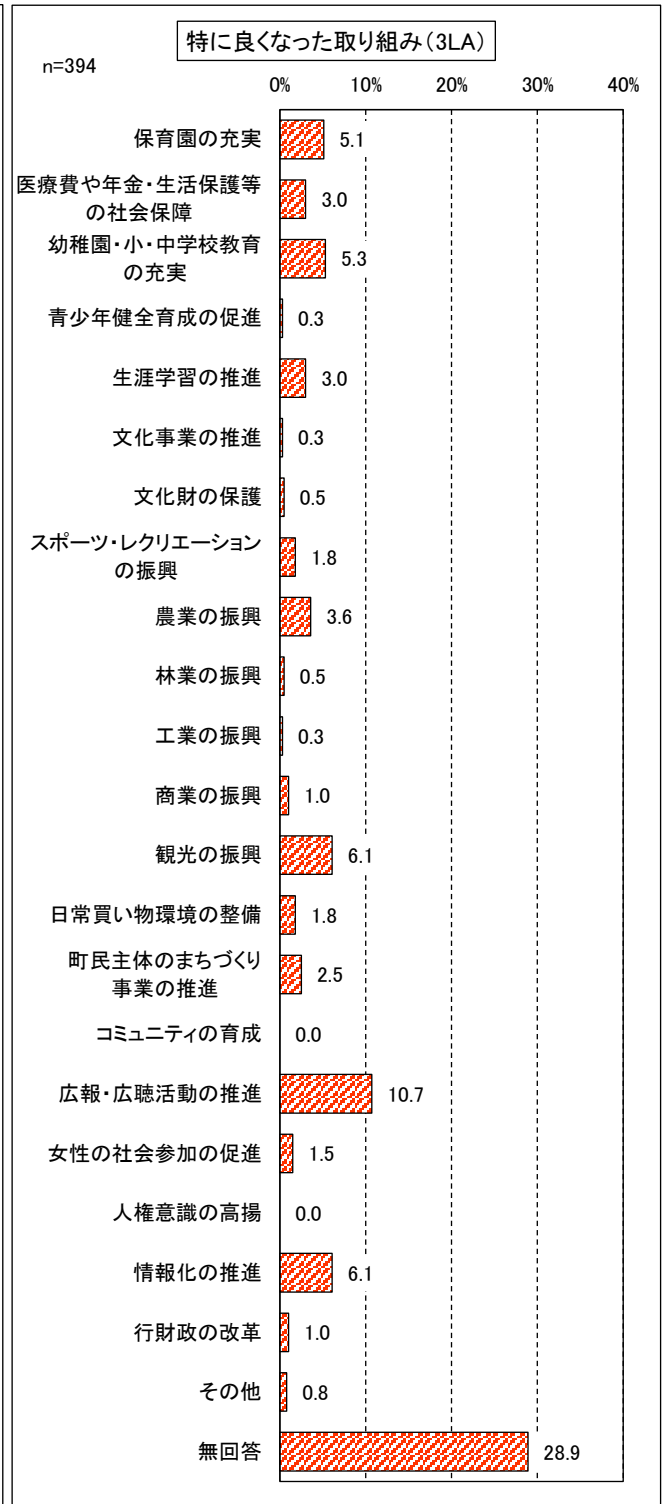
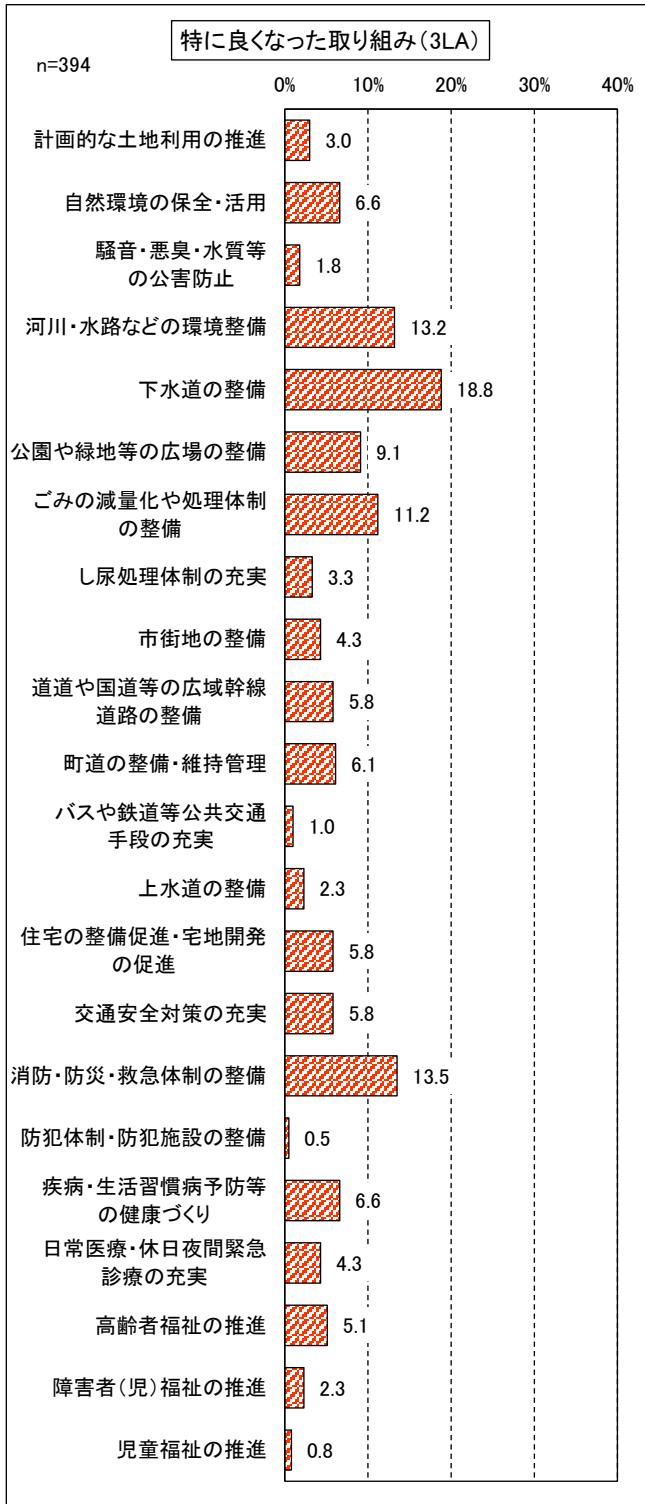
今後特に必要だと思われる町の取り組みについて、43項目から最大3項目まで選択していただいたところ、回答割合が10%を超える項目は以下のとおりです。

	取り組み項目	回答割合 (%)
1	バスや鉄道等公共交通手段の充実	25.4
2	観光の振興	24.9
3	日常医療・休日夜間緊急診療の充実	21.1
4	日常買い物環境の整備	11.9
5	医療費や年金・生活保障等の社会保障	10.9
6	高齢者福祉の推進	10.4

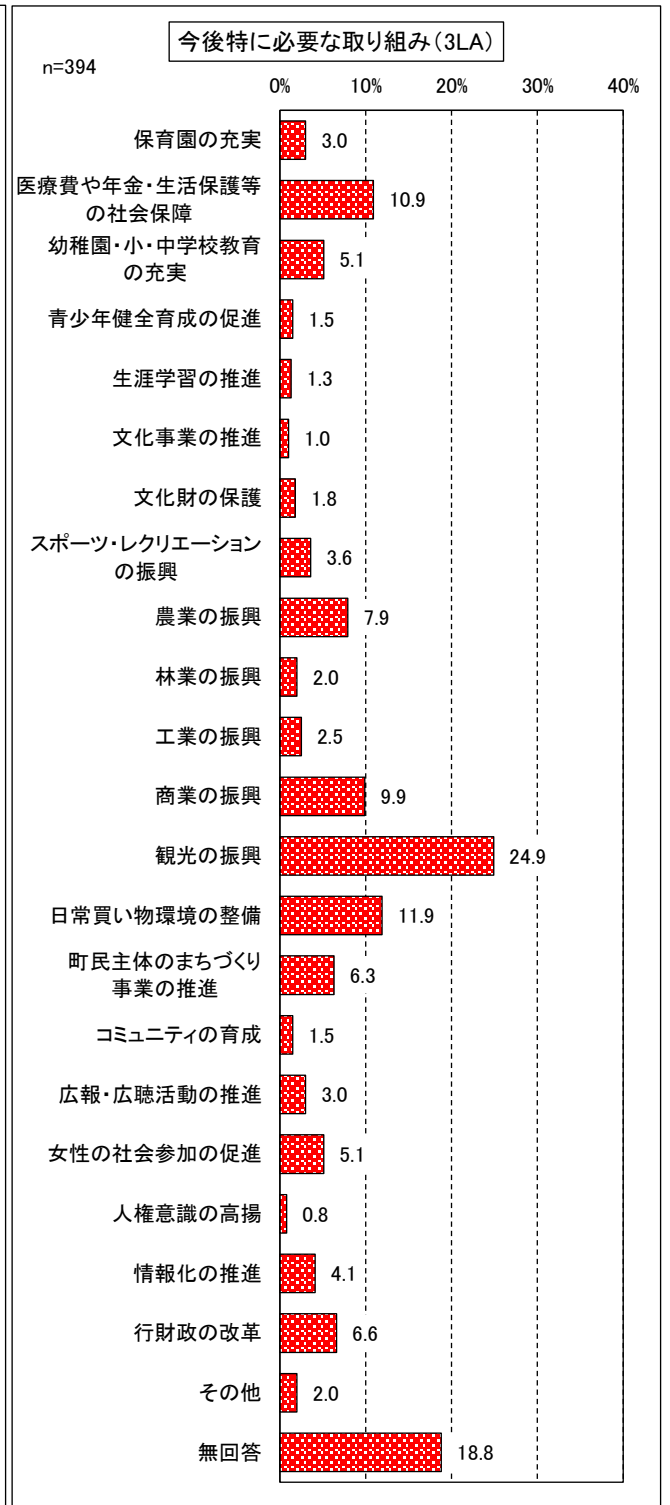
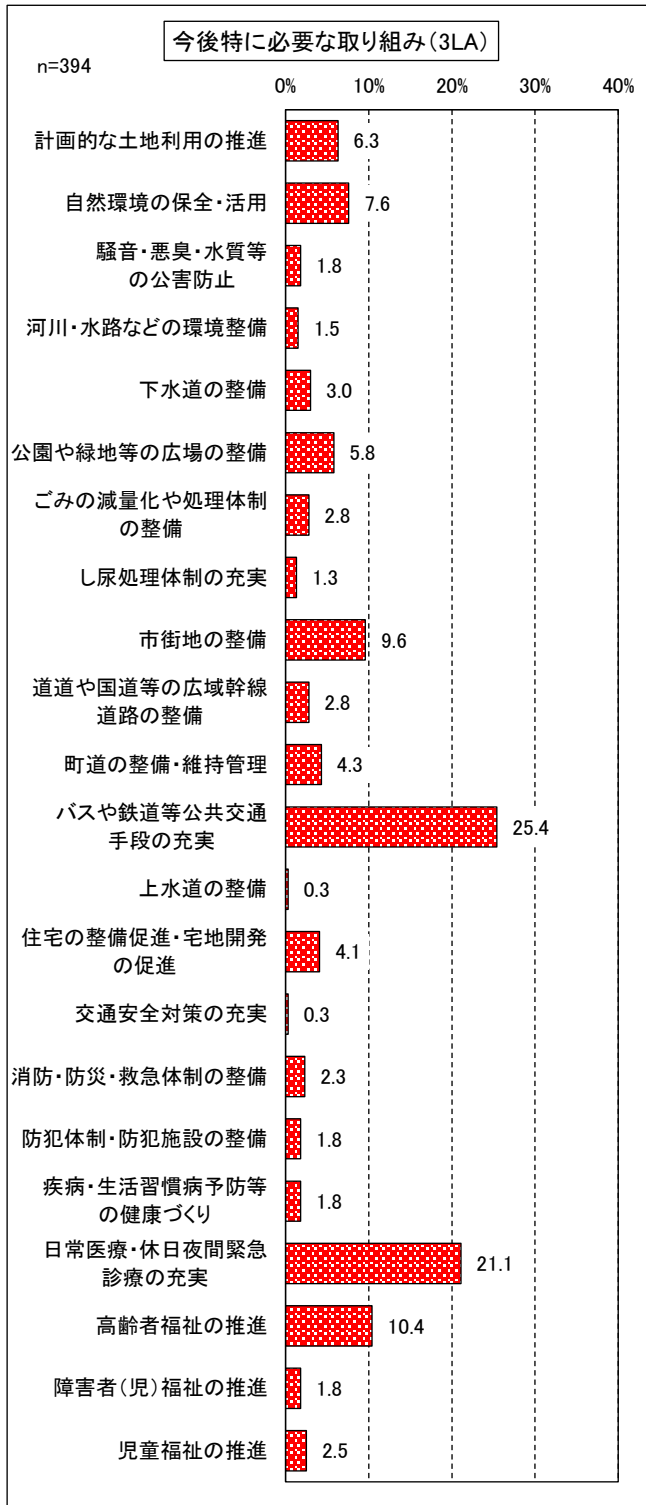
「バスや鉄道等公共交通手段の充実」への回答割合が25.4%、「観光の振興」が24.9%、「日常医療・休日夜間緊急診療の充実」が21.1%と2割を超える回答割合となっています。

生活の利便性向上及び観光による経済振興等への回答が上位を占める結果となっています。

[全体：特に良くなったと思われる町の取り組み]



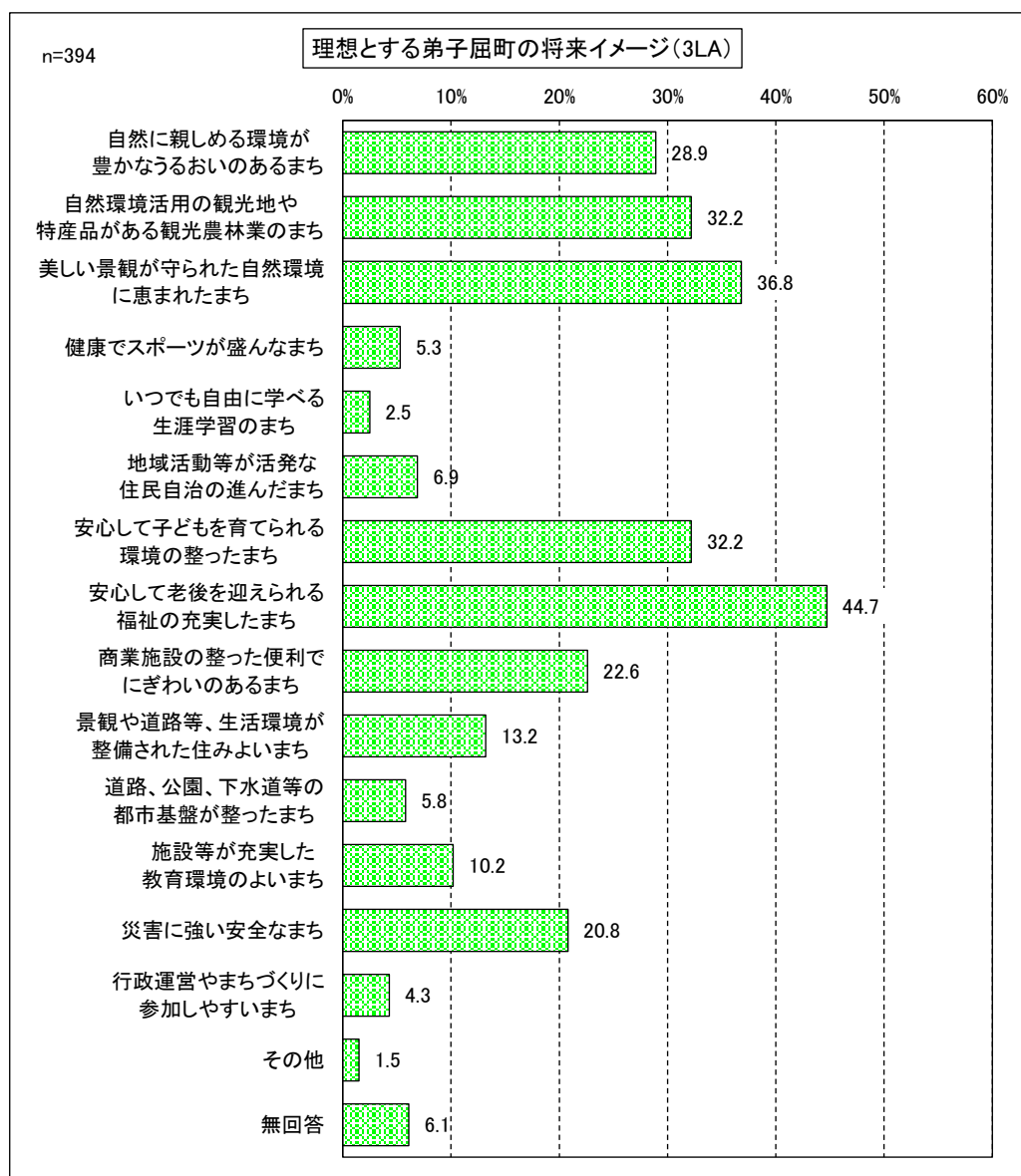
[全体：今後特に必要だと思われる町の取り組み]



問 14 あなたが持つ、理想とする将来の弟子屈町のイメージはどのようなものですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

【全体】

理想とする将来の弟子屈町のイメージとしては、「安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち」への回答が44.7%と最も高い回答割合となっており、次いで、「美しい景観が守られた自然環境に恵まれたまち」が36.8%、「自然環境活用の観光地や特産品がある観光農林業のまち」及び「安心して子どもを育てられる環境の整ったまち」が32.2%、「自然に親しめる環境が豊かなうるおいのあるまち」が28.9%と続いています。



【属性別】

性別では、「男性」に比べ、「女性」の「安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち」への回答割合が、非常に高くなっています。

年齢別では、50歳未満と50歳以上で回答傾向に違いが現れています。50歳以上では、各年齢層ともに「安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち」への回答割合が最も高い結果となっていますが、50歳未満の各年齢層では「安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち」への回答割合はそれほど高くなく、特に、「30～39歳」の子育て世代では「安心して子どもを育てられる環境の整ったまち」への回答割合が非常に高い結果となっています。

居住地区別では、「弟子屈地区」、「川湯市街地区」及び「屈斜路地区」を除き居住地区毎の回答者数が少ないことから、「弟子屈地区」、「川湯市街地区」及び「屈斜路地区」の3地区を比較してみると、「弟子屈地区」では「安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち」への回答割合が高く、「川湯市街地区」及び「屈斜路地区」では「美しい景観が守られた自然環境に恵まれたまち」への回答割合が高くなっています。

〔性別〕

	自然に親しめる環境が豊かな うのおいのあるまち	自然環境活用の観光地や特産 品がある観光農林業のまち	美しい景観が守られた自然環 境に恵まれたまち	健康でスポーツが盛んなまち	いつでも自由に学べる生涯学 習のまち	地域活動等が活発な住民自治 の進んだまち	安心して子どもを育てられる 環境の整ったまち	安心して老後を迎えられる福 祉の充実したまち	商業施設の整った便利でにぎ わいのあるまち
全体 (n=394)	28.9	32.2	36.8	5.3	2.5	6.9	32.2	44.7	22.6
男性 (n=188)	31.9	34.0	37.8	5.3	1.6	5.9	29.3	37.2	25.0
女性 (n=202)	26.2	30.2	36.1	5.0	3.5	7.4	35.6	52.5	20.3
無回答 (n=4)	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0

	景観や道路等、生活環境が 整備された住みよいまち	道路、公園、下水道等の都 市基盤が整ったまち	施設等が充実した教育環境 のよいまち	災害に強い安全なまち	行政運営やまちづくりに参 加しやすいまち	その他	無回答
全体 (n=394)	13.2	5.8	10.2	20.8	4.3	1.5	6.1
男性 (n=188)	15.4	8.0	11.2	19.1	3.7	2.1	5.9
女性 (n=202)	11.4	4.0	9.4	22.8	5.0	1.0	5.9
無回答 (n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみる事が望ましい。

〔年齢別〕

	自然に親しめる環境が豊かな うらおいのあるまち	自然環境活用の観光地や特産 品がある観光農林業のまち	美しい景観が守られた自然環 境に恵まれたまち	健康でスポーツが盛んなまち	いつでも自由に学べる生涯学 習のまち	地域活動等が活発な住民自治 の進んだまち	安心して子どもを育てられる 環境の整ったまち	安心して老後を迎えられる福 祉の充実したまち	商業施設の整った便利でにぎ わいのあるまち
全体 (n=394)	28.9	32.2	36.8	5.3	2.5	6.9	32.2	44.7	22.6
18～29歳 (n=24)	45.8	45.8	41.7	12.5	4.2	8.3	16.7	16.7	33.3
30～39歳 (n=31)	38.7	29.0	41.9	6.5	0.0	3.2	58.1	35.5	12.9
40～49歳 (n=46)	23.9	37.0	41.3	10.9	2.2	2.2	39.1	32.6	30.4
50～59歳 (n=69)	33.3	23.2	39.1	4.3	2.9	5.8	29.0	50.7	13.0
60～69歳 (n=101)	25.7	33.7	37.6	2.0	4.0	6.9	36.6	48.5	21.8
70～79歳 (n=119)	25.2	31.9	31.1	5.0	1.7	9.2	25.2	50.4	25.2
80歳以上 (n=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	50.0
無回答 (n=2)	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

	景観や道路等、生活環境 が整備された住みよいま	道路、公園、下水道等の 都市基盤が整ったまち	施設等が充実した教育環 境のよいまち	災害に強い安全なまち	行政運営やまちづくりに 参加しやすいまち	その他	無回答
全体 (n=394)	13.2	5.8	10.2	20.8	4.3	1.5	6.1
18～29歳 (n=24)	12.5	4.2	25.0	12.5	0.0	0.0	4.2
30～39歳 (n=31)	25.8	0.0	9.7	16.1	3.2	3.2	3.2
40～49歳 (n=46)	19.6	8.7	15.2	13.0	8.7	2.2	0.0
50～59歳 (n=69)	17.4	11.6	10.1	18.8	5.8	2.9	2.9
60～69歳 (n=101)	5.9	3.0	7.9	24.8	5.0	1.0	5.9
70～79歳 (n=119)	11.8	5.9	6.7	25.2	2.5	0.8	11.8
80歳以上 (n=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

〔居住地区別〕

	自然に親しめる環境が豊かな うらおいのあるまち	自然環境活用の観光地や特産 品がある観光農林業のまち	美しい景観が守られた自然環 境に恵まれたまち	健康でスポーツが盛んなまち	いつでも自由に学べる生涯学 習のまち	地域活動等が活発な住民自治 の進んだまち	安心して子どもを育てられる 環境の整ったまち	安心して老後を迎えられる福 祉の充実したまち	商業施設の整った便利でにぎ わいのあるまち
全体 (n=394)	28.9	32.2	36.8	5.3	2.5	6.9	32.2	44.7	22.6
弟子屈地区 (n=271)	29.2	32.5	33.2	6.6	2.6	7.0	36.2	49.4	22.5
川湯市街地区 (n=26)	26.9	26.9	42.3	3.8	0.0	7.7	26.9	23.1	30.8
川湯駅前地区 (n=9)	33.3	11.1	55.6	0.0	0.0	0.0	33.3	55.6	22.2
跡佐登地区 (n=4)	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
仁伏地区 (n=3)	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
屈斜路地区 (n=20)	35.0	45.0	65.0	0.0	5.0	0.0	20.0	45.0	10.0
札友内地区 (n=5)	80.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	20.0
美留和地区 (n=14)	14.3	35.7	35.7	0.0	0.0	7.1	21.4	42.9	14.3
奥春別地区 (n=9)	11.1	22.2	55.6	11.1	11.1	11.1	33.3	11.1	11.1
御卒別地区 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
最栄利別地区 (n=2)	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
鑑別地区 (n=13)	30.8	23.1	38.5	0.0	0.0	7.7	15.4	38.5	30.8
仁多地区 (n=9)	11.1	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	33.3	55.6	44.4
南屈斜路地区 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=7)	28.6	42.9	42.9	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	28.6

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

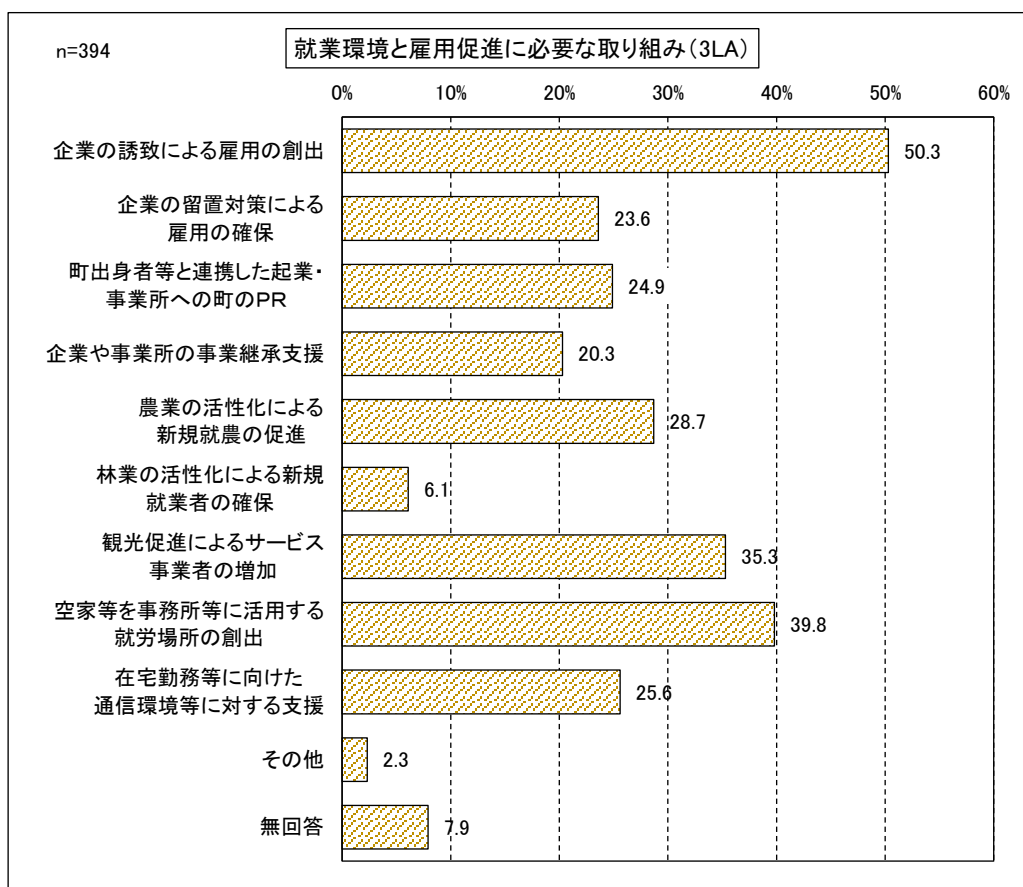
(続き)

	景観や道路等、生活環境が整備された住みよいま	道路、公園、下水道等の都市基盤が整ったまち	施設等が充実した教育環境のよいまち	災害に強い安全なまち	行政運営やまちづくりに参加しやすいまち	その他	無回答
全体 (n=394)	13.2	5.8	10.2	20.8	4.3	1.5	6.1
弟子屈地区 (n=271)	11.4	5.2	11.1	19.9	3.7	1.5	5.2
川湯市街地区 (n=26)	26.9	15.4	11.5	23.1	7.7	0.0	3.8
川湯駅前地区 (n=9)	33.3	11.1	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0
跡佐登地区 (n=4)	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
仁伏地区 (n=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
屈斜路地区 (n=20)	15.0	10.0	0.0	35.0	0.0	0.0	5.0
札友内地区 (n=5)	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0
美留和地区 (n=14)	14.3	7.1	7.1	14.3	7.1	7.1	21.4
奥春別地区 (n=9)	22.2	0.0	0.0	33.3	11.1	0.0	11.1
御卒別地区 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
最栄利別地区 (n=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鑑別地区 (n=13)	7.7	7.7	0.0	23.1	7.7	0.0	15.4
仁多地区 (n=9)	11.1	0.0	22.2	22.2	0.0	0.0	11.1
南屈斜路地区 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
無回答 (n=7)	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0

問 15 働く場づくりと雇用の促進に向け、どのような取り組みに力を入れるべきとお考えですか。
 あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

【全体】

働く場づくりと雇用の促進に向け、力を入れるべき取り組みとしては、「企業の誘致による雇用の創出」への回答割合が50.3%と最も高く、次いで、「空家や空き事務所を作業場・事務所として活用することによる就労場所の創出」が39.8%、「観光促進によるサービス事業者の増加」が35.3%、「農業の活性化による新規就農の促進」が28.7%、「在宅勤務・サテライトオフィスに向けた通信環境等に対する支援」が25.6%と続いています。



【属性別】

性別では、男女ともに同じ回答傾向となっています。

年齢別では、各年齢層ともに「企業の誘致による雇用の創出」への回答割合が高い結果となっていますが、「19～29歳」では「空家等を事務所等に活用する就労場所の創出」が、また「30～29歳」では「観光促進によるサービス事業者の増加」への回答割合が高い結果となっています。

居住地区別では、「弟子屈地区」、「川湯市街地区」及び「屈斜路地区」を除き居住地区毎の回答者数が少ないことから、「弟子屈地区」、「川湯市街地区」及び「屈斜路地区」の3地区を比較してみると、「弟子屈地区」では「企業の誘致による雇用の創出」への回答割合が最も高くなっていますが、「川湯市街地区」及び「屈斜路地区」では「観光促進によるサービス事業者の増加」への回答割合が最も高くなっています。

〔性別〕

	企業の誘致による雇用の創出	企業の留置対策による雇用の確保	町出身者等と連携した起業・事業所への町のPR	企業や事業所の事業継承支援	農業の活性化による新規就農の促進	林業の活性化による新規就業者の確保	観光促進によるサービス事業者の増加	空家等を事務所等に活用する就労場所の創出	在宅勤務等に向けた通信環境等に対する支援
全体 (n=394)	50.3	23.6	24.9	20.3	28.7	6.1	35.3	39.8	25.6
男性 (n=188)	54.3	21.8	22.3	23.4	28.2	5.3	34.6	37.2	25.5
女性 (n=202)	46.5	25.7	27.2	17.8	29.2	6.9	36.1	43.1	26.2
無回答 (n=4)	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0

	その他	無回答
全体 (n=394)	2.3	7.9
男性 (n=188)	3.7	5.3
女性 (n=202)	1.0	9.4
無回答 (n=4)	0.0	50.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみることを望ましい。

〔年齢別〕

	企業の誘致による雇用の創出	企業の留置対策による雇用の確保	町出身者等と連携した起業・事業所への町のPR	企業や事業所の事業継承支援	農業の活性化による新規就農の促進	林業の活性化による新規就業者の確保	観光促進によるサービス事業者の増加	空家等を事務所等に活用する就労場所の創出	在宅勤務等に向けた通信環境等に対する支援
全体 (n=394)	50.3	23.6	24.9	20.3	28.7	6.1	35.3	39.8	25.6
18～29歳 (n=24)	41.7	16.7	41.7	8.3	33.3	4.2	41.7	45.8	25.0
30～39歳 (n=31)	45.2	16.1	32.3	29.0	29.0	0.0	45.2	38.7	38.7
40～49歳 (n=46)	52.2	30.4	32.6	19.6	26.1	4.3	45.7	41.3	28.3
50～59歳 (n=69)	47.8	29.0	18.8	26.1	23.2	4.3	30.4	40.6	29.0
60～69歳 (n=101)	53.5	21.8	25.7	15.8	35.6	10.9	34.7	35.6	21.8
70～79歳 (n=119)	51.3	23.5	18.5	21.0	26.1	5.9	31.1	42.0	23.5
80歳以上 (n=2)	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0
無回答 (n=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	その他	無回答
全体 (n=394)	2.3	7.9
18～29歳 (n=24)	0.0	8.3
30～39歳 (n=31)	6.5	0.0
40～49歳 (n=46)	6.5	0.0
50～59歳 (n=69)	1.4	7.2
60～69歳 (n=101)	3.0	5.9
70～79歳 (n=119)	0.0	14.3
80歳以上 (n=2)	0.0	0.0
無回答 (n=2)	0.0	50.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

〔居住地区別〕

	企業の誘致による雇用の創出	企業の留置対策による雇用の確保	町出身者等と連携した起業・事業所への町のPR	企業や事業所の事業継承支援	農業の活性化による新規就農の促進	林業の活性化による新規就業者の確保	観光促進によるサービス事業者の増加	空家等を事務所等に活用する就労場所の創出	在宅勤務等に向けた通信環境等に対する支援
全体 (n=394)	50.3	23.6	24.9	20.3	28.7	6.1	35.3	39.8	25.6
弟子屈地区 (n=271)	50.6	25.1	26.6	21.4	25.8	5.5	33.6	43.2	26.6
川湯市街地区 (n=26)	53.8	19.2	30.8	19.2	15.4	3.8	57.7	50.0	19.2
川湯駅前地区 (n=9)	77.8	55.6	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	44.4	22.2
跡佐登地区 (n=4)	75.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	50.0	50.0
仁伏地区 (n=3)	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	100.0	0.0	66.7
屈斜路地区 (n=20)	25.0	20.0	35.0	20.0	50.0	10.0	55.0	40.0	15.0
札友内地区 (n=5)	40.0	40.0	0.0	0.0	100.0	20.0	20.0	40.0	20.0
美留和地区 (n=14)	42.9	7.1	14.3	21.4	28.6	7.1	35.7	28.6	35.7
奥春別地区 (n=9)	55.6	22.2	11.1	22.2	22.2	0.0	22.2	11.1	55.6
御卒別地区 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
最栄利別地区 (n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0
鑑別地区 (n=13)	38.5	15.4	23.1	7.7	38.5	0.0	38.5	7.7	15.4
仁多地区 (n=9)	55.6	22.2	11.1	33.3	55.6	11.1	22.2	33.3	0.0
南屈斜路地区 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=7)	71.4	14.3	28.6	14.3	57.1	14.3	0.0	14.3	0.0

	その他	無回答
全体 (n=394)	2.3	7.9
弟子屈地区 (n=271)	2.6	7.4
川湯市街地区 (n=26)	0.0	0.0
川湯駅前地区 (n=9)	0.0	0.0
跡佐登地区 (n=4)	0.0	0.0
仁伏地区 (n=3)	0.0	0.0
屈斜路地区 (n=20)	0.0	5.0
札友内地区 (n=5)	0.0	0.0
美留和地区 (n=14)	0.0	21.4
奥春別地区 (n=9)	0.0	22.2
御卒別地区 (n=1)	0.0	0.0
最栄利別地区 (n=2)	0.0	0.0
鑑別地区 (n=13)	15.4	15.4
仁多地区 (n=9)	0.0	11.1
南屈斜路地区 (n=1)	0.0	100.0
無回答 (n=7)	0.0	14.3

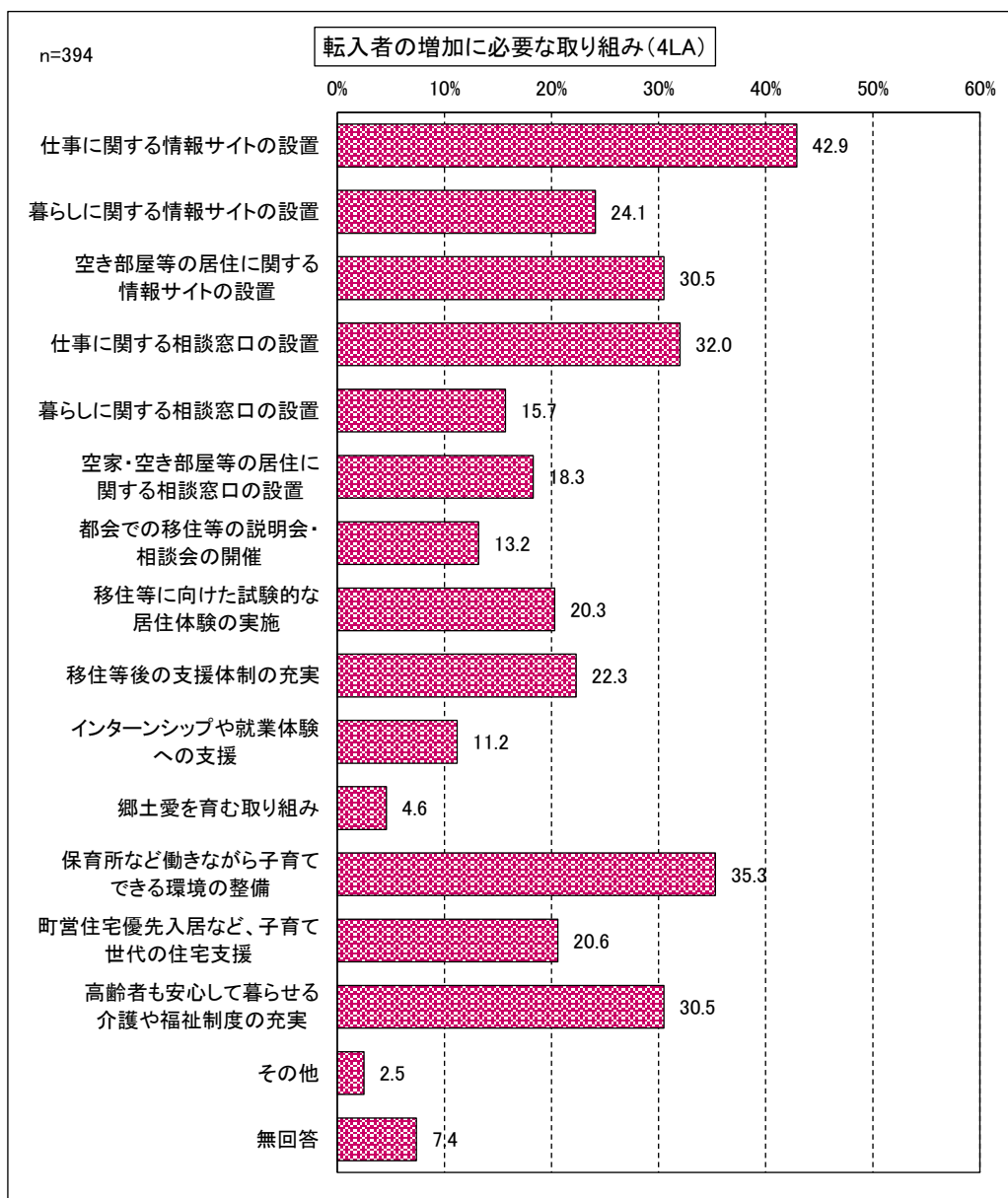
※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

問 16 本町へ移住・U I J ターンを促し、転入者を増加させるために、どのような取り組みに力を入れるべきとお考えですか。あてはまる番号に4つまで○をつけてください。

(Uターンは、本町から他市町村へ移住したあと、再び本町へ戻ること。Iターンは、他市町村から本町へ移住すること。Jターンは出身地から別の市町村へ移住したあと、出身地近くの本町へ移住すること。)

【全体】

本町へ移住・U I J ターンを促し、転入者を増加させるために、力を入れるべき取り組みとしては、「仕事に関する情報サイトの設置」への回答割合が42.9%と最も高く、次いで、「保育所やファミリー・サポートなど働きながら子育てできる環境の整備」が35.3%、「仕事に関する相談窓口の設置」が32.0%、「空家・空き部屋等の居住に関する情報サイトの設置」及び「介護や福祉制度の充実など、高齢者も安心して暮らせるための取り組み」が30.5%と続いています。



【属性別】

性別では、男女ともに同じ回答傾向となっています。

年齢別では、80歳未満の各年齢層ともに「仕事に関する情報サイトの設置」への回答割合が最も高くなっていますが、年齢層が上がるにつれ回答割合は低くなる傾向となっています。また、「70～79歳」では、「高齢者も安心して暮らせる介護や福祉制度の充実」への回答割合が最も高くなっています。

居住地区別では、「弟子屈地区」、「川湯市街地区」及び「屈斜路地区」を除き居住地区毎の回答者数が少ないことから、「弟子屈地区」、「川湯市街地区」及び「屈斜路地区」の3地区を比較してみると、「弟子屈地区」及び「屈斜路地区」では「仕事に関する情報サイトの設置」への回答割合が最も高くなっていますが、「川湯市街地区」では「保育所など働きながら子育てできる環境の整備」への回答割合が最も高くなっています。

〔性別〕

	仕事に関する情報サイトの設置	暮らしに関する情報サイトの設置	空き部屋等の居住に関する情報サイトの設置	仕事に関する相談窓口の設置	暮らしに関する相談窓口の設置	空家・空き部屋等の居住に関する相談窓口の設置	都会での移住等の説明会・相談会の開催	移住等に向けた試験的な居住体験の実施	移住等後の支援体制の充実
全体 (n=394)	42.9	24.1	30.5	32.0	15.7	18.3	13.2	20.3	22.3
男性 (n=188)	44.1	24.5	28.7	28.2	15.4	18.6	14.9	15.4	25.5
女性 (n=202)	42.1	23.8	32.2	35.1	15.8	17.8	11.4	24.8	19.8
無回答 (n=4)	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0

	インターンシップや就業体験への支援	郷土愛を育む取り組み	保育所など働きながら子育てできる環境の整備	町営住宅優先入居など、子育て世代の住宅支援	高齢者も安心して暮らせる介護や福祉制度の充実	その他	無回答
全体 (n=394)	11.2	4.6	35.3	20.6	30.5	2.5	7.4
男性 (n=188)	10.1	2.1	33.5	19.1	26.1	3.2	9.0
女性 (n=202)	12.4	6.9	37.1	21.3	35.1	2.0	5.4
無回答 (n=4)	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみることを望ましい。

〔年齢別〕

	仕事に関する情報サイトの設置	暮らしに関する情報サイトの設置	空き部屋等の居住に関する情報サイトの設置	仕事に関する相談窓口の設置	暮らしに関する相談窓口の設置	空家・空き部屋等の居住に関する相談窓口の設置	都会での移住等の説明会・相談会の開催	移住等に向けた試験的な居住体験の実施	移住等後の支援体制の充実
全体 (n=394)	42.9	24.1	30.5	32.0	15.7	18.3	13.2	20.3	22.3
18～29歳 (n=24)	54.2	20.8	45.8	20.8	12.5	8.3	8.3	16.7	12.5
30～39歳 (n=31)	51.6	19.4	32.3	25.8	3.2	25.8	12.9	6.5	22.6
40～49歳 (n=46)	56.5	37.0	41.3	23.9	10.9	13.0	8.7	10.9	26.1
50～59歳 (n=69)	40.6	20.3	31.9	39.1	17.4	20.3	14.5	17.4	29.0
60～69歳 (n=101)	40.6	26.7	25.7	25.7	13.9	19.8	14.9	30.7	19.8
70～79歳 (n=119)	35.3	21.8	25.2	38.7	22.7	17.6	13.4	20.2	21.8
80歳以上 (n=2)	100.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
無回答 (n=2)	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

	インタビューシップや就業体験への支援	郷土愛を育む取り組み	子育てできる環境の整備	保育所など働きながら子育てできる環境の整備	町営住宅優先入居など、子育て世代の住宅支援	高齢者も安心して暮らせる介護や福祉制度の充実	その他	無回答
全体 (n=394)	11.2	4.6	35.3	20.6	30.5	2.5	7.4	
18～29歳 (n=24)	25.0	4.2	45.8	25.0	20.8	0.0	8.3	
30～39歳 (n=31)	9.7	16.1	67.7	25.8	25.8	6.5	3.2	
40～49歳 (n=46)	6.5	4.3	45.7	15.2	17.4	4.3	2.2	
50～59歳 (n=69)	8.7	1.4	33.3	17.4	27.5	4.3	5.8	
60～69歳 (n=101)	9.9	4.0	31.7	24.8	30.7	3.0	8.9	
70～79歳 (n=119)	13.4	4.2	25.2	17.6	40.3	0.0	10.1	
80歳以上 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	
無回答 (n=2)	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみることを望ましい。

〔居住地区別〕

	仕事に関する情報サイトの設置	暮らしに関する情報サイトの設置	空き部屋等の居住に関する情報サイトの設置	仕事に関する相談窓口の設置	暮らしに関する相談窓口の設置	空家・空き部屋等の居住に関する相談窓口の設置	都会での移住等の説明会・相談会の開催	移住等に向けた試験的な居住体験の実施	移住等後の支援体制の充実
全体 (n=394)	42.9	24.1	30.5	32.0	15.7	18.3	13.2	20.3	22.3
弟子屈地区 (n=271)	41.3	26.6	31.7	32.8	15.5	18.1	12.5	22.5	20.7
川湯市街地区 (n=26)	38.5	15.4	38.5	38.5	26.9	7.7	3.8	11.5	34.6
川湯駅前地区 (n=9)	22.2	33.3	11.1	44.4	22.2	11.1	33.3	33.3	11.1
跡佐登地区 (n=4)	50.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
仁伏地区 (n=3)	33.3	33.3	66.7	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	33.3
屈斜路地区 (n=20)	50.0	25.0	45.0	10.0	0.0	25.0	20.0	20.0	30.0
札友内地区 (n=5)	80.0	20.0	60.0	20.0	0.0	40.0	20.0	40.0	0.0
美留和地区 (n=14)	35.7	21.4	21.4	21.4	14.3	7.1	21.4	14.3	42.9
奥春別地区 (n=9)	66.7	0.0	11.1	33.3	0.0	11.1	33.3	11.1	33.3
御卒別地区 (n=1)	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
最栄利別地区 (n=2)	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
鑑別地区 (n=13)	53.8	15.4	0.0	30.8	38.5	7.7	15.4	7.7	30.8
仁多地区 (n=9)	33.3	22.2	11.1	33.3	22.2	33.3	0.0	0.0	0.0
南屈斜路地区 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=7)	57.1	0.0	14.3	28.6	28.6	28.6	0.0	42.9	14.3

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

(続き)

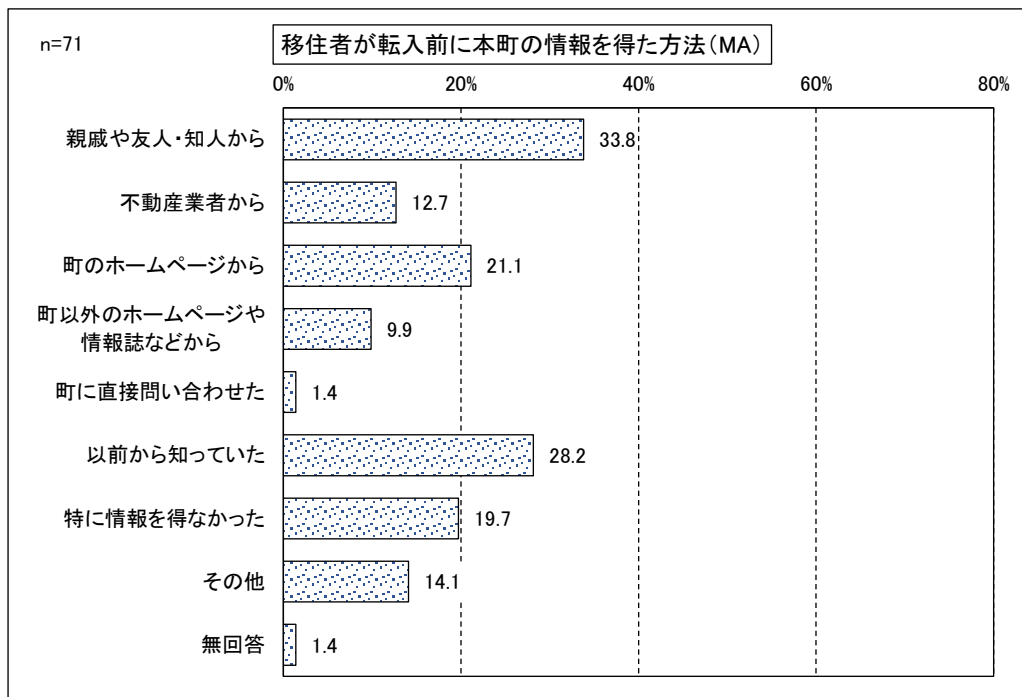
	インターシッ プや就業 体験への支援	郷土愛を育む 取り組み	保育所など働 きながら子 育てできる環 境の整備	町営住宅優 先入居など、 子育て世代の 住宅支援	高齢者も安 心して暮らせ る介護や福 祉制度の充 実	その他	無 回 答
全体 (n=394)	11.2	4.6	35.3	20.6	30.5	2.5	7.4
弟子屈地区 (n=271)	9.6	5.2	36.9	19.9	29.9	2.2	7.4
川湯市街地区 (n=26)	26.9	3.8	50.0	19.2	34.6	0.0	3.8
川湯駅前地区 (n=9)	22.2	0.0	11.1	33.3	44.4	0.0	11.1
跡佐登地区 (n=4)	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
仁伏地区 (n=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
屈斜路地区 (n=20)	10.0	0.0	35.0	15.0	25.0	10.0	5.0
札友内地区 (n=5)	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0
美留和地区 (n=14)	14.3	7.1	35.7	7.1	50.0	0.0	7.1
奥春別地区 (n=9)	11.1	0.0	22.2	33.3	22.2	11.1	11.1
御卒別地区 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最栄利別地区 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
鑑別地区 (n=13)	7.7	0.0	15.4	23.1	30.8	0.0	7.7
仁多地区 (n=9)	22.2	0.0	44.4	11.1	55.6	0.0	22.2
南屈斜路地区 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
無回答 (n=7)	14.3	0.0	42.9	71.4	14.3	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみることを望ましい。

問 17 この 10 年間で、本町へ移住・U I J ターンをされた方におたずねします。転入する前に本町の情報はどのように得られましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【全体】

この 10 年間で、本町へ移住・U I J ターンをされた方が、転入前に本町の情報を得た方法としては、「親戚や友人・知人から情報を得た」への回答割合が 33.8%と最も高くなっており、次いで、「以前から知っていた」が 28.2%、「町のホームページから情報を得た」が 21.1%、「特に情報を得なかった」が 19.7%と続いています。



【属性別】

性別では、「男性」と「女性」では回答傾向が異なり、「女性」では「親戚や友人・知人から」への回答が高い一方で、「男性」は「親戚や友人・知人から」、「町のホームページから」、及び「特に情報を得なかった」が同じ回答割合となっています。

年齢別では、各年齢層ともに参考値としてみる必要がありますが、「親戚や友人・知人から」への回答割合が高い結果となっています。なお、「50～29歳」のみ回答傾向が異なり、「以前から知っていた」への回答割合が最も高い結果となっています。

家族構成別では、「一人世帯」及び「夫婦のみ」を除き回答者数が少ないことから、「一人世帯」及び「夫婦のみ」をみると、「一人世帯」では「親戚や友人・知人から」への回答割合が高く、「夫婦のみ」世帯では、「以前から知っていた」への回答割合が最も高い結果となっています。

居住地区別では、「弟子屈地区」を除き居住地区毎の回答者数が少ないことから、「弟子屈地区」をみると、「親戚や友人・知人から」への回答割合が最も高い結果となっています。

〔性別〕

	親戚や友人・知人から	不動産業者から	町のホームページから	町以外のホームページや情報誌などから	町に直接問い合わせた	以前から知っていた	特に情報を得なかった	その他
全体 (n=71)	33.8	12.7	21.1	9.9	1.4	28.2	19.7	14.1
男性 (n=38)	23.7	15.8	23.7	10.5	2.6	21.1	23.7	18.4
女性 (n=32)	43.8	9.4	18.8	9.4	0.0	37.5	15.6	9.4
無回答 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみることを望ましい。

〔年齢別〕

	親戚や友人・知人から	不動産業者から	町のホームページから	町以外のホームページや情報誌などから	町に直接問い合わせた	以前から知っていた	特に情報を得なかった	その他
全体 (n=71)	33.8	12.7	21.1	9.9	1.4	28.2	19.7	14.1
18～29歳 (n=10)	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0	20.0	30.0	10.0
30～39歳 (n=12)	50.0	16.7	41.7	8.3	0.0	33.3	16.7	16.7
40～49歳 (n=12)	41.7	0.0	25.0	8.3	0.0	33.3	16.7	8.3
50～59歳 (n=14)	7.1	21.4	14.3	21.4	0.0	42.9	28.6	14.3
60～69歳 (n=12)	25.0	33.3	16.7	8.3	8.3	25.0	8.3	25.0
70～79歳 (n=11)	54.5	0.0	18.2	9.1	0.0	9.1	18.2	9.1
80歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

※年齢別の無回答者はいない (n=0) ので、表記していない。

〔家族構成別〕

	親戚や友人・知人から	不動産業者から	町のホームページから	町以外のホームページや情報誌などから	町に直接問い合わせた	以前から知っていた	特に情報を得なかった	その他
全体 (n=71)	33.8	12.7	21.1	9.9	1.4	28.2	19.7	14.1
一人世帯 (n=21)	38.1	9.5	14.3	4.8	4.8	19.0	23.8	9.5
夫婦のみ (n=26)	23.1	23.1	26.9	23.1	0.0	30.8	11.5	23.1
夫婦と子ども (n=12)	66.7	8.3	33.3	0.0	0.0	41.7	0.0	8.3
ひとり親と子ども (n=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
夫婦と親と子ども (三世代同居) (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 (n=9)	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	55.6	11.1

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

※家族構成別の無回答者はいない (n=0) ので、表記していない。

〔居住地区別〕

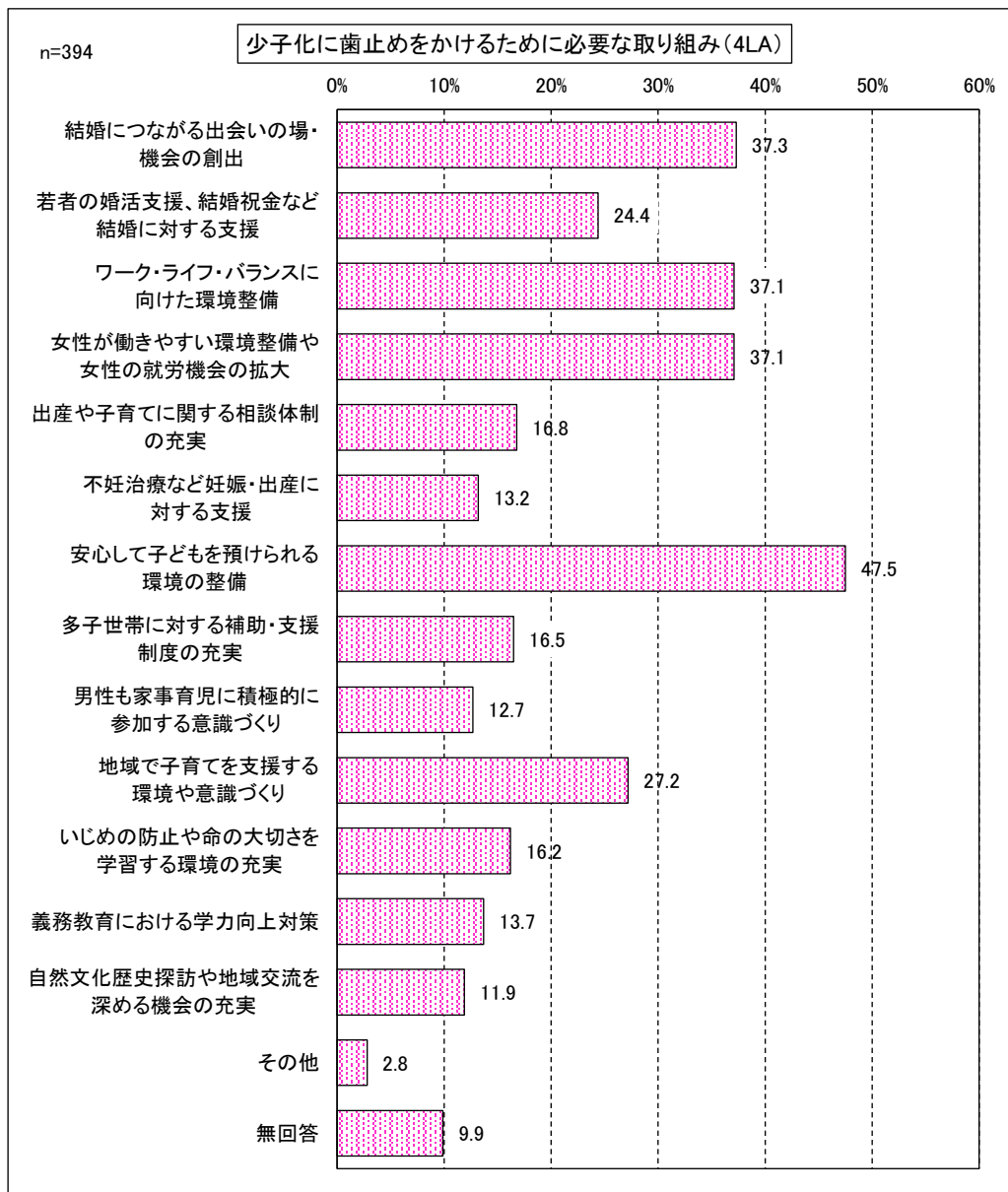
	親戚や友人・知人から	不動産業者から	町のホームページから	町以外のホームページや情報誌などから	町に直接問い合わせた	以前から知っていた	特に情報を得なかった	その他
全体 (n=71)	33.8	12.7	21.1	9.9	1.4	28.2	19.7	14.1
弟子屈地区 (n=41)	43.9	7.3	17.1	4.9	0.0	36.6	22.0	12.2
川湯市街地区 (n=5)	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
川湯駅前地区 (n=3)	33.3	33.3	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
跡佐登地区 (n=1)	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
仁伏地区 (n=1)	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
屈斜路地区 (n=5)	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0
札友内地区 (n=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
美留和地区 (n=4)	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0
奥春別地区 (n=3)	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0
御卒別地区 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最栄利別地区 (n=2)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鑑別地区 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
仁多地区 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
南屈斜路地区 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみることを望ましい。

問 18 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、本町の少子化に歯止めをかけるために、どのような取り組みに力を入れるべきとお考えですか。あてはまる番号に4つまで○をつけてください。

【全体】

結婚・出産・子育ての希望をかなえ、本町の少子化に歯止めをかけるために、力を入れるべき取り組みとしては、「安心して子どもを預けられる環境の整備」への回答割合が47.5%と最も高くなっており、次いで、「結婚につながる出会いの場・機会の創出」が37.3%、「仕事と家庭生活（ワーク・ライフ・バランス）に向けた環境整備」及び「女性が働きやすい環境整備や女性の就労機会の拡大」が37.1%と続いています。



【属性別】

性別では、男女ともに「安心して子どもを預けられる環境の整備」への回答割合が最も高くなっていますが、「男性」では「ワーク・ライフ・バランスに向けた環境整備」が、また「女性」では「女性が働きやすい環境整備や女性の就労機会の拡大」への回答割合も高い結果となっています。

年齢別では、各年齢層ともに「安心して子どもを預けられる環境の整備」への回答割合が高い結果となっていますが、「18～29歳」では「結婚につながる出会いの場・機会の創出」が、「40～49歳」では「ワーク・ライフ・バランスに向けた環境整備」への回答割合が最も高い回答割合となっています。

居住地区別では、「弟子屈地区」、「川湯市街地区」及び「屈斜路地区」を除き居住地区毎の回答者数が少ないことから、「弟子屈地区」、「川湯市街地区」及び「屈斜路地区」の3地区を比較してみると、3地区ともに「安心して子どもを預けられる環境の整備」への回答割合が最も高い結果となっています。

〔性別〕

	結婚につながる出会いの場・機会の創出	若者の婚活支援、結婚祝金など結婚に対する支援	ワーク・ライフ・バランスに向けた環境整備	女性が働きやすい環境整備や女性の就労機会の拡大	出産や子育てに関する相談体制の充実	不妊治療など妊娠・出産に対する支援	安心して子どもを預けられる環境の整備	多子世帯に対する補助・支援制度の充実	男性も家事育児に積極的に参加する意識づくり
全体 (n=394)	37.3	24.4	37.1	37.1	16.8	13.2	47.5	16.5	12.7
男性 (n=188)	35.1	25.5	37.2	34.0	16.5	11.7	47.9	16.5	6.4
女性 (n=202)	39.1	23.3	37.6	40.6	16.3	14.9	47.0	16.8	18.3
無回答 (n=4)	50.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	25.0

	地域で子育てを支援する環境や意識づくり	いじめの防止や命の大切さを学習する環境の充実	義務教育における学力向上対策	自然文化歴史探訪や地域交流を深める機会の充実	その他	無回答
全体 (n=394)	27.2	16.2	13.7	11.9	2.8	9.9
男性 (n=188)	22.3	12.8	11.2	13.3	4.8	13.3
女性 (n=202)	32.2	19.3	16.3	10.9	1.0	6.4
無回答 (n=4)	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

〔年齢別〕

	結婚につながる出会いの場・機会の創出	若者の婚活支援、結婚祝いなど結婚に対する支援	ワーク・ライフ・バランスに向けた環境整備	女性が働きやすい環境整備や女性の就労機会の拡大	出産や子育てに関する相談体制の充実	不妊治療など妊娠・出産に対する支援	安心して子どもを預けられる環境の整備	多子世帯に対する補助・支援制度の充実	男性も家事育児に積極的に参加する意識づくり
全体 (n=394)	37.3	24.4	37.1	37.1	16.8	13.2	47.5	16.5	12.7
18～29歳 (n=24)	58.3	45.8	37.5	20.8	20.8	8.3	54.2	29.2	4.2
30～39歳 (n=31)	41.9	38.7	38.7	32.3	16.1	41.9	71.0	22.6	9.7
40～49歳 (n=46)	28.3	26.1	47.8	37.0	17.4	13.0	43.5	26.1	10.9
50～59歳 (n=69)	26.1	24.6	47.8	43.5	13.0	8.7	52.2	5.8	20.3
60～69歳 (n=101)	39.6	18.8	33.7	39.6	12.9	9.9	43.6	12.9	11.9
70～79歳 (n=119)	38.7	20.2	30.3	35.3	21.0	11.8	42.0	17.6	12.6
80歳以上 (n=2)	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
無回答 (n=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0

	地域で子育てを支援する環境や意識づくり	いじめの防止や命の大切さを学習する環境の充実	義務教育における学力向上対策	自然文化歴史探訪や地域交流を深める機会の充実	その他	無回答
全体 (n=394)	27.2	16.2	13.7	11.9	2.8	9.9
18～29歳 (n=24)	16.7	8.3	20.8	20.8	4.2	4.2
30～39歳 (n=31)	25.8	16.1	9.7	9.7	3.2	0.0
40～49歳 (n=46)	21.7	17.4	19.6	8.7	8.7	2.2
50～59歳 (n=69)	23.2	14.5	15.9	8.7	2.9	5.8
60～69歳 (n=101)	30.7	16.8	11.9	10.9	3.0	11.9
70～79歳 (n=119)	31.9	17.6	11.8	15.1	0.0	17.6
80歳以上 (n=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

〔居住地区別〕

	結婚につながる出会いの場・機会の創出	若者の婚活支援、結婚祝金など結婚に対する支援	ワーク・ライフ・バランスに向けた環境整備	女性が働きやすい環境整備や女性の就労機会の拡大	出産や子育てに関する相談体制の充実	不妊治療など妊娠・出産に対する支援	安心して子どもを預けられる環境の整備	多子世帯に対する補助・支援制度の充実	男性も家事育児に積極的に参加する意識づくり
全体 (n=394)	37.3	24.4	37.1	37.1	16.8	13.2	47.5	16.5	12.7
弟子屈地区 (n=271)	37.6	22.5	38.4	38.4	19.9	12.2	47.2	17.3	12.9
川湯市街地区 (n=26)	34.6	42.3	38.5	42.3	3.8	15.4	69.2	26.9	11.5
川湯駅前地区 (n=9)	33.3	0.0	44.4	22.2	0.0	22.2	55.6	0.0	0.0
跡佐登地区 (n=4)	25.0	0.0	75.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
仁伏地区 (n=3)	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
屈斜路地区 (n=20)	40.0	30.0	35.0	40.0	10.0	20.0	45.0	35.0	20.0
札友内地区 (n=5)	40.0	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0	40.0	0.0	40.0
美留和地区 (n=14)	21.4	21.4	42.9	28.6	21.4	28.6	35.7	0.0	14.3
奥春別地区 (n=9)	55.6	44.4	11.1	33.3	11.1	11.1	44.4	11.1	0.0
御卒別地区 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最栄利別地区 (n=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0
鑑別地区 (n=13)	46.2	15.4	30.8	38.5	15.4	7.7	23.1	7.7	15.4
仁多地区 (n=9)	44.4	44.4	33.3	11.1	11.1	22.2	55.6	11.1	0.0
南屈斜路地区 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=7)	28.6	42.9	14.3	14.3	28.6	14.3	71.4	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

(続き)

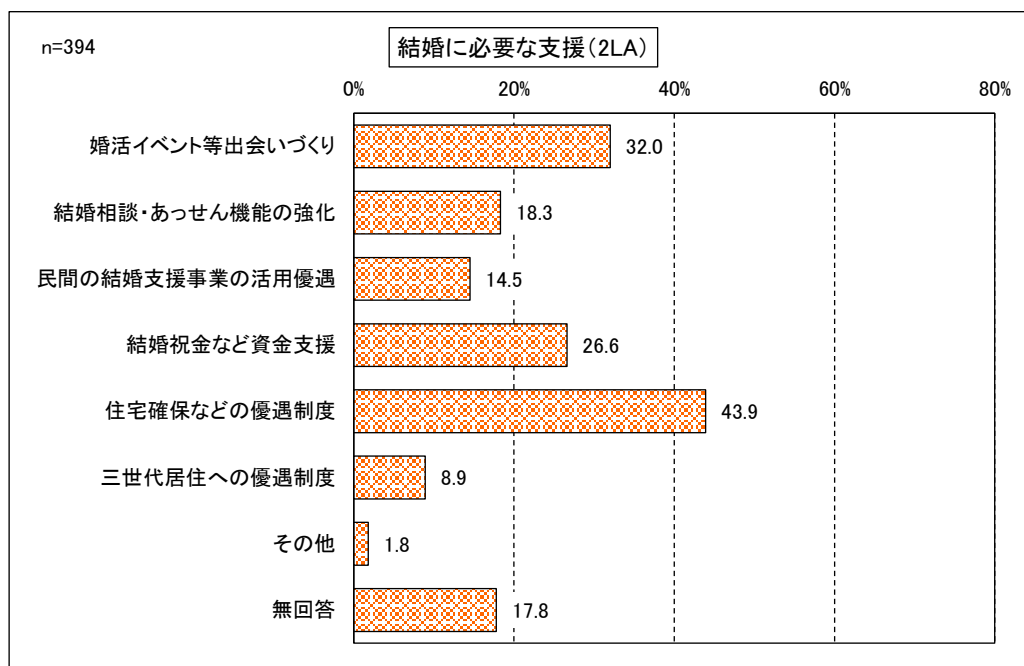
	地域で子育てを支援する環境や意識づくり	いじめの防止や命の大切さを学習する環境の充実	義務教育における学力向上対策	自然文化歴史探訪や地域交流を深める機会の充実	その他	無回答
全体 (n=394)	27.2	16.2	13.7	11.9	2.8	9.9
弟子屈地区 (n=271)	25.1	17.0	14.0	11.8	1.5	10.3
川湯市街地区 (n=26)	42.3	23.1	11.5	0.0	3.8	0.0
川湯駅前地区 (n=9)	22.2	11.1	11.1	22.2	0.0	33.3
跡佐登地区 (n=4)	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0
仁伏地区 (n=3)	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
屈斜路地区 (n=20)	20.0	15.0	0.0	35.0	0.0	5.0
札友内地区 (n=5)	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
美留和地区 (n=14)	42.9	7.1	21.4	14.3	7.1	7.1
奥春別地区 (n=9)	33.3	22.2	22.2	0.0	33.3	0.0
御卒別地区 (n=1)	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
最栄利別地区 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鑑別地区 (n=13)	38.5	7.7	23.1	7.7	7.7	7.7
仁多地区 (n=9)	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	22.2
南屈斜路地区 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
無回答 (n=7)	28.6	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

問 19 あなたは、本町において、結婚に関してどのような支援があればよいと思いますか。特に期待する番号に2つまで○をつけてください。

【全体】

結婚に関してあればよいと思う支援について、「住宅確保などの優遇制度」への回答割合が43.9%と最も高くなっており、次いで、「婚活イベント等出会いづくり」が32.0%、「結婚祝金など資金支援」が26.6%、「結婚相談・あっせん機能の強化」が18.3%と続いています。



【属性別】

性別では、男女ともに「住宅確保などの優遇制度」への回答割合が最も高くなっていますが、「女性」では「婚活イベント等出会いづくり」への回答割合も高い結果となっています。

年齢別では、各年齢層ともに「住宅確保などの優遇制度」への回答割合が最も高くなっていますが、40歳未満の年齢層では「結婚祝金など資金支援」が、50歳以上の年齢層では「婚活イベント等出会いづくり」への回答割合が高い結果となっています。

居住地区別では、「弟子屈地区」、「川湯市街地区」及び「屈斜路地区」を除き居住地区毎の回答者数が少ないことから、「弟子屈地区」、「川湯市街地区」及び「屈斜路地区」の3地区を比較してみると、3地区ともに「住宅確保などの優遇制度」への回答割合が最も高い結果となっていますが、「弟子屈地区」及び「屈斜路地区」では「婚活イベント等出会いづくり」が、「川湯市街地区」では「結婚祝金など資金支援」への回答割合が高い結果となっています。

〔性別〕

	く り 婚 活 イ ベ ン ト 等 出 会 い づ	結 婚 相 談 ・ あ っ せ ん 機 能 の 強 化	民 間 の 結 婚 支 援 事 業 の 活 用 優 遇	結 婚 祝 金 な ど 資 金 支 援	住 宅 確 保 な ど の 優 遇 制 度	三 世 代 居 住 へ の 優 遇 制 度	そ の 他	無 回 答
全体 (n=394)	32.0	18.3	14.5	26.6	43.9	8.9	1.8	17.8
男性 (n=188)	25.0	19.7	13.8	25.0	43.1	9.6	3.2	21.3
女性 (n=202)	38.1	16.8	15.3	28.7	45.0	8.4	0.5	13.9
無回答 (n=4)	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみることを望ましい。

〔年齢別〕

	く り 婚 活 イ ベ ン ト 等 出 会 い づ	結 婚 相 談 ・ あ っ せ ん 機 能 の 強 化	民 間 の 結 婚 支 援 事 業 の 活 用 優 遇	結 婚 祝 金 な ど 資 金 支 援	住 宅 確 保 な ど の 優 遇 制 度	三 世 代 居 住 へ の 優 遇 制 度	そ の 他	無 回 答
全体 (n=394)	32.0	18.3	14.5	26.6	43.9	8.9	1.8	17.8
18～29歳 (n=24)	33.3	20.8	25.0	41.7	50.0	0.0	0.0	8.3
30～39歳 (n=31)	25.8	22.6	9.7	51.6	64.5	6.5	0.0	3.2
40～49歳 (n=46)	34.8	10.9	6.5	34.8	54.3	6.5	2.2	4.3
50～59歳 (n=69)	33.3	11.6	8.7	27.5	46.4	13.0	0.0	18.8
60～69歳 (n=101)	30.7	24.8	21.8	17.8	40.6	8.9	5.0	16.8
70～79歳 (n=119)	31.9	18.5	14.3	21.0	35.3	10.1	0.8	27.7
80歳以上 (n=2)	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
無回答 (n=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみることを望ましい。

〔居住地区別〕

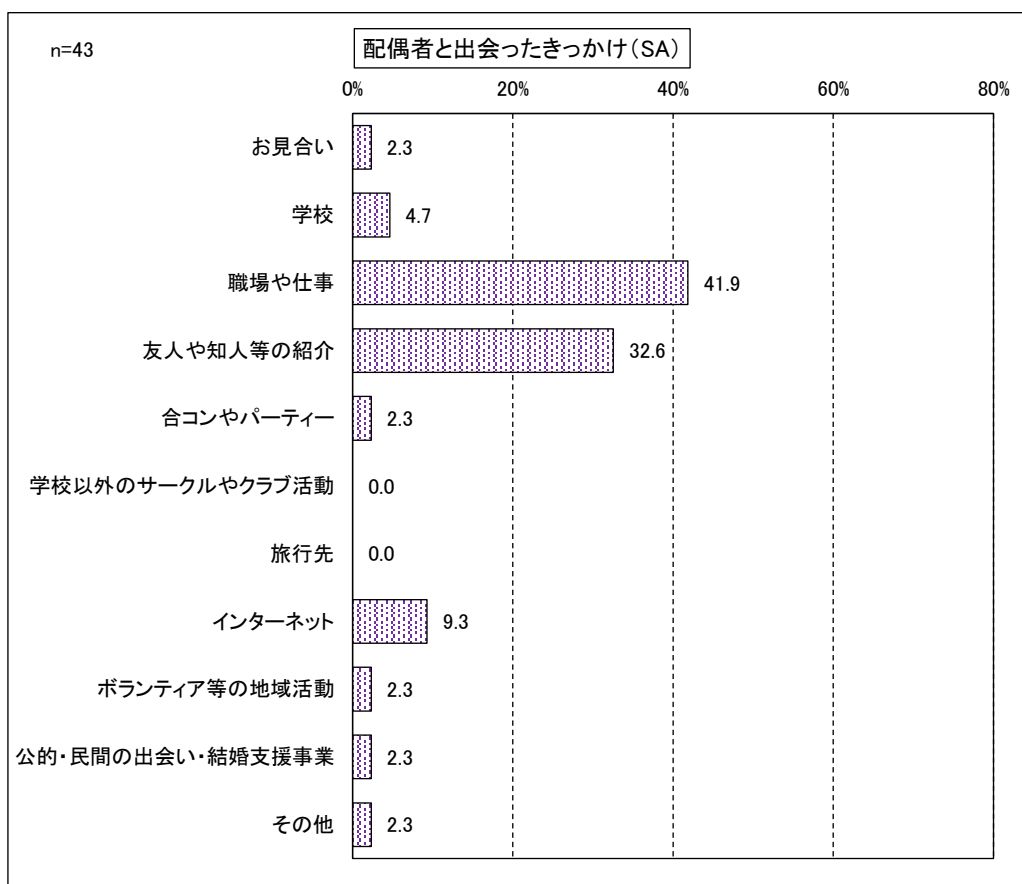
	く 婚 活 イ ベ ン ト 等 出 会 い づ り	結 婚 相 談 ・ あ っ せ ん 機 能 の 強 化	民 間 の 結 婚 支 援 事 業 の 活 用 優 遇	結 婚 祝 金 な ど 資 金 支 援	住 宅 確 保 な ど の 優 遇 制 度	三 世 代 居 住 へ の 優 遇 制 度	そ の 他	無 回 答
全体 (n=394)	32.0	18.3	14.5	26.6	43.9	8.9	1.8	17.8
弟子屈地区 (n=271)	32.5	17.3	14.0	26.9	46.9	9.2	0.7	17.7
川湯市街地区 (n=26)	30.8	23.1	23.1	42.3	50.0	3.8	0.0	7.7
川湯駅前地区 (n=9)	33.3	11.1	0.0	0.0	55.6	11.1	0.0	33.3
跡佐登地区 (n=4)	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0
仁伏地区 (n=3)	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
屈斜路地区 (n=20)	35.0	25.0	20.0	25.0	45.0	10.0	0.0	10.0
札友内地区 (n=5)	20.0	40.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0
美留和地区 (n=14)	21.4	35.7	14.3	21.4	42.9	0.0	7.1	21.4
奥春別地区 (n=9)	33.3	22.2	0.0	33.3	22.2	11.1	22.2	11.1
御卒別地区 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
最栄利別地区 (n=2)	50.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
鑑別地区 (n=13)	53.8	15.4	7.7	7.7	23.1	23.1	7.7	7.7
仁多地区 (n=9)	22.2	11.1	0.0	44.4	11.1	11.1	0.0	33.3
南屈斜路地区 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
無回答 (n=7)	28.6	0.0	42.9	14.3	28.6	0.0	0.0	28.6

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみることを望ましい。

問 20 この10年間に結婚された方におたずねします。あなたが配偶者と出会ったきっかけは、どのようなことでしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

【全体】

この10年間に結婚された方に配偶者と出会ったきっかけをお聞きしたところ、「職場や仕事」への回答割合が41.9%と最も高くなっており、次いで、「友人や知人等の紹介」が32.6%、「インターネット」が9.3%と続いています。



【属性別】

性別では、男女ともに同じ回答傾向となっています。

年齢別では、各年齢層ともに参考値としてみる必要がありますが、「職場や仕事」と「友人や知人等の紹介」への回答割合が高い結果となっています。

また、家族構成別、通勤・通学先別、及び職業別でも、「職場や仕事」と「友人や知人等の紹介」への回答割合が高い結果となっています。

〔性別〕

	お見合い	学校	職場や仕事	友人や知人等の紹介	合コンやパーティー	学校以外のサークルやクラブ活動	旅行先	インターネット	ボランティア等の地域活動
全体 (n=43)	2.3	4.7	41.9	32.6	2.3	0.0	0.0	9.3	2.3
男性 (n=15)	0.0	0.0	33.3	33.3	6.7	0.0	0.0	6.7	6.7
女性 (n=28)	3.6	7.1	46.4	32.1	0.0	0.0	0.0	10.7	0.0

	公的・民間の出会い・結婚支援事業	その他
全体 (n=43)	2.3	2.3
男性 (n=15)	6.7	6.7
女性 (n=28)	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみることを望ましい。

〔年齢別〕

	お見合い	学校	職場や仕事	友人や知人等の紹介	合コンやパーティー	学校以外のサークルやクラブ活動	旅行先	インターネット	ボランティア等の地域活動
全体 (n=43)	2.3	4.7	41.9	32.6	2.3	0.0	0.0	9.3	2.3
18～29歳 (n=4)	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
30～39歳 (n=17)	0.0	5.9	41.2	35.3	5.9	0.0	0.0	11.8	0.0
40～49歳 (n=10)	0.0	10.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
50～59歳 (n=2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60～69歳 (n=6)	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
70～79歳 (n=4)	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	婚 支 援 事 業	公 的 ・ 民 間 の 出 会 い ・ 結	そ の 他
全体 (n=43)	2.3		2.3
18～29歳 (n=4)	0.0		0.0
30～39歳 (n=17)	0.0		0.0
40～49歳 (n=10)	0.0		0.0
50～59歳 (n=2)	50.0		0.0
60～69歳 (n=6)	0.0		16.7
70～79歳 (n=4)	0.0		0.0
80歳以上 (n=0)	0.0		0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

〔家族構成別〕

	お見合い	学校	職場や仕事	友人や知人等の紹介	合コンやパーティー	学校以外のサークルやクラブ活動	旅行先	インターネット	ボランティア等の地域活動
全体 (n=43)	2.3	4.7	41.9	32.6	2.3	0.0	0.0	9.3	2.3
一人世帯 (n=2)	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
夫婦のみ (n=18)	0.0	0.0	61.1	27.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6
夫婦と子ども (n=19)	0.0	5.3	31.6	36.8	5.3	0.0	0.0	21.1	0.0
ひとり親と子ども (n=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
夫婦と親と子ども (三世代同居) (n=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	公的・民間の出会い・結婚支援事業	その他
全体 (n=43)	2.3	2.3
一人世帯 (n=2)	0.0	0.0
夫婦のみ (n=18)	5.6	0.0
夫婦と子ども (n=19)	0.0	0.0
ひとり親と子ども (n=1)	0.0	0.0
夫婦と親と子ども (三世代同居) (n=2)	0.0	50.0
その他 (n=1)	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみることを望ましい。

〔通勤・通学先別〕

	お見合い	学校	職場や仕事	友人や知人等の紹介	合コンやパーティー	学校以外のサークルやクラブ活動	旅行先	インターネット	ボランティア等の地域活動
全体 (n=43)	2.3	4.7	41.9	32.6	2.3	0.0	0.0	9.3	2.3
町内 (n=37)	2.7	5.4	37.8	35.1	2.7	0.0	0.0	10.8	2.7
町外 (n=3)	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=3)	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	公的・民間の出会い・結婚支援事業	その他
全体 (n=43)	2.3	2.3
町内 (n=37)	0.0	2.7
町外 (n=3)	33.3	0.0
無回答 (n=3)	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみることを望ましい。

〔職業別〕

	お見合い	学校	職場や仕事	友人や知人等の紹介	合コンやパーティー	学校以外のサークルやクラブ活動	旅行先	インターネット	ボランティア等の地域活動
全体 (n=43)	2.3	4.7	41.9	32.6	2.3	0.0	0.0	9.3	2.3
会社員、公務員 (n=14)	0.0	0.0	57.1	21.4	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0
自営業 (n=4)	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
農業 (n=3)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
林業 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パート・アルバイト (n=6)	0.0	16.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
家事専業者 (主婦等) (n=8)	0.0	0.0	25.0	62.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
学生 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無職 (n=4)	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
その他 (n=3)	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

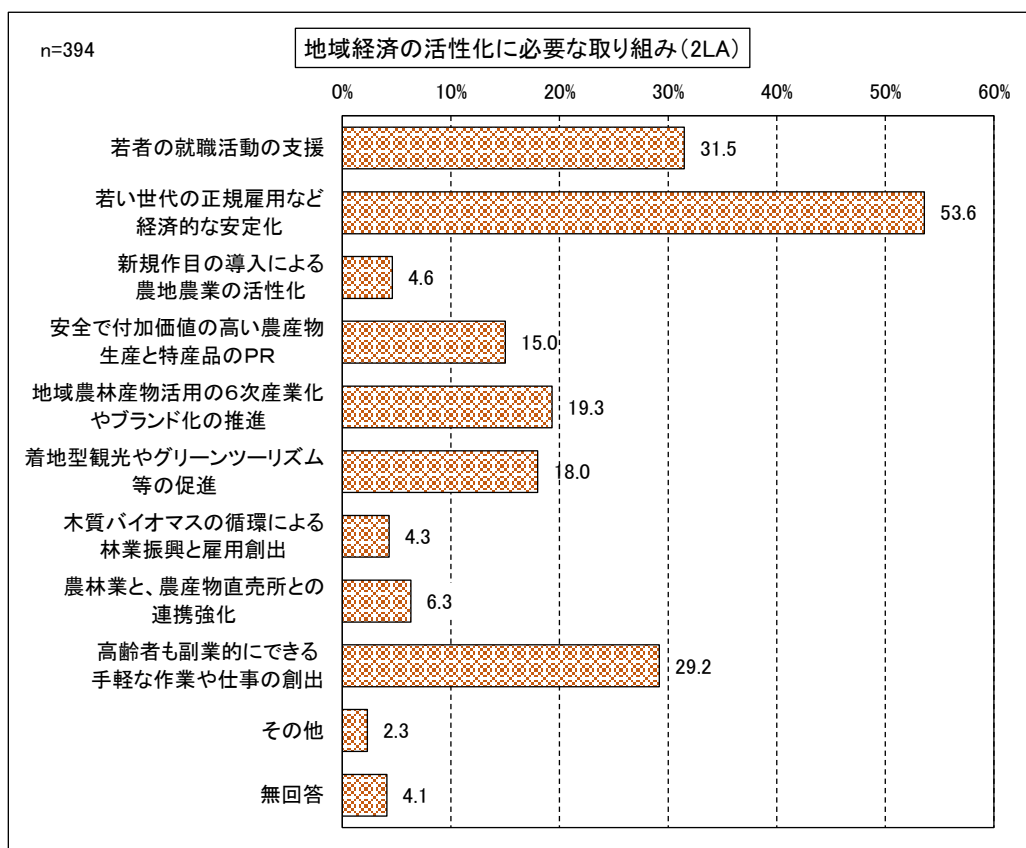
	公的・民間の出会い・結婚支援事業	その他
全体 (n=43)	2.3	2.3
会社員、公務員 (n=14)	7.1	0.0
自営業 (n=4)	0.0	0.0
農業 (n=3)	0.0	0.0
林業 (n=0)	0.0	0.0
パート・アルバイト (n=6)	0.0	0.0
家事専業者 (主婦等) (n=8)	0.0	0.0
学生 (n=0)	0.0	0.0
無職 (n=4)	0.0	0.0
その他 (n=3)	0.0	33.3
無回答 (n=1)	0.0	0.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみることを望ましい。

問 21 地域経済の活性化に向けて、どのような取り組みに力を入れるべきとお考えですか。あてはまる番号に2つまで○をつけてください。

【全体】

地域経済の活性化に向けて、力を入れるべき取り組みとして、「若い世代の正規雇用など経済的な安定化」への回答割合が53.6%と最も高くなっており、次いで、「若者の就職活動の支援」が31.5%、「高齢者も副業的にできる手軽な作業や仕事の創出」が29.2%と続いています。



【属性別】

性別では、男女ともに「若い世代の正規雇用など経済的な安定化」への回答割合が最も高くなっていますが、それに次いで、「男性」では「高齢者も副業的にできる手軽な作業や仕事の創出」が、「女性」では「若者の就職活動の支援」への回答割合が高くなっています。

年齢別では、各年齢層ともに「若い世代の正規雇用など経済的な安定化」への回答割合が最も高くなっていますが、それに次いで、「若者の就職活動の支援」も高い回答割合となっています。ただし、50歳代、60歳代では、「若者の就職活動の支援」よりも「高齢者も副業的にできる手軽な作業や仕事の創出」への回答割合が高い結果となっています。

居住地区別では、「弟子屈地区」、「川湯市街地区」及び「屈斜路地区」を除き居住地区毎の回答者数が少ないことから、「弟子屈地区」、「川湯市街地区」及び「屈斜路地区」の3地区を比較してみると、「屈斜路地区」では他の2地区と異なり、「着地型観光やグリーンツーリズム等の促進」への回答割合が最も高い結果となっています。

〔性別〕

	若者の就職活動の支援	若い世代の正規雇用など経済的な安定化	新規作目の導入による農地農業の活性化	安全で付加価値の高い農産物生産と特産品のPR	地域農林産物活用の6次産業化やブランド化の推進	着地型観光やグリーンツーリズム等の促進	木質バイオマスの循環による林業振興と雇用創出	農林業と、農産物直売所との連携強化	高齢者も副業的にできる手軽な作業や仕事の創出
全体 (n=394)	31.5	53.6	4.6	15.0	19.3	18.0	4.3	6.3	29.2
男性 (n=188)	28.2	45.7	5.9	17.6	22.9	19.7	4.3	4.8	30.3
女性 (n=202)	34.2	61.9	3.5	12.9	15.8	16.8	4.5	7.9	28.2
無回答 (n=4)	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0

	その他	無回答
全体 (n=394)	2.3	4.1
男性 (n=188)	4.3	2.1
女性 (n=202)	0.5	5.0
無回答 (n=4)	0.0	50.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

〔年齢別〕

	若者の就職活動の支援	若い世代の正規雇用など 経済的な安定化	新規作目の導入による農 地農業の活性化	安全で付加価値の高い農 産物生産と特産品のPR	地域農林産物活用の6次 産業化やブランド化の推 進	着地型観光やグリーンツ ーリズム等の促進	木質バイオマスの循環に よる林業振興と雇用創出	農林業と、農産物直売所 との連携強化	高齢者も副業的にできる 手軽な作業や仕事の創出
全体 (n=394)	31.5	53.6	4.6	15.0	19.3	18.0	4.3	6.3	29.2
18～29歳 (n=24)	50.0	66.7	8.3	16.7	20.8	12.5	0.0	8.3	4.2
30～39歳 (n=31)	32.3	64.5	3.2	19.4	16.1	22.6	9.7	6.5	22.6
40～49歳 (n=46)	45.7	58.7	6.5	13.0	15.2	23.9	0.0	2.2	15.2
50～59歳 (n=69)	26.1	55.1	7.2	8.7	17.4	17.4	4.3	2.9	36.2
60～69歳 (n=101)	24.8	50.5	3.0	13.9	22.8	14.9	4.0	8.9	38.6
70～79歳 (n=119)	30.3	48.7	2.5	19.3	19.3	19.3	5.9	7.6	29.4
80歳以上 (n=2)	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
無回答 (n=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	その他	無回答
全体 (n=394)	2.3	4.1
18～29歳 (n=24)	0.0	4.2
30～39歳 (n=31)	0.0	0.0
40～49歳 (n=46)	8.7	0.0
50～59歳 (n=69)	4.3	2.9
60～69歳 (n=101)	2.0	4.0
70～79歳 (n=119)	0.0	6.7
80歳以上 (n=2)	0.0	0.0
無回答 (n=2)	0.0	50.0

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみることを望ましい。

〔居住地区別〕

	若者の就職活動の支援	若い世代の正規雇用など 経済的な安定化	新規作目の導入による農 地農業の活性化	安全で付加価値の高い農 産物生産と特産品のPR	地域農林産物活用の6次 産業化やブランド化の推 進	着地型観光やグリーンツ ーリズム等の促進	木質バイオマスの循環に よる林業振興と雇用創出	農林業と、農産物直売所 との連携強化	高齢者も副業的にできる 手軽な作業や仕事の創出
全体 (n=394)	31.5	53.6	4.6	15.0	19.3	18.0	4.3	6.3	29.2
弟子屈地区 (n=271)	34.7	56.5	4.8	14.0	18.1	14.8	4.1	5.5	31.0
川湯市街地区 (n=26)	38.5	57.7	0.0	19.2	15.4	26.9	7.7	7.7	19.2
川湯駅前地区 (n=9)	22.2	55.6	0.0	22.2	11.1	33.3	0.0	11.1	44.4
跡佐登地区 (n=4)	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0
仁伏地区 (n=3)	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	66.7
屈斜路地区 (n=20)	10.0	35.0	5.0	15.0	45.0	40.0	0.0	20.0	15.0
札友内地区 (n=5)	40.0	60.0	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0
美留和地区 (n=14)	7.1	42.9	14.3	14.3	14.3	21.4	14.3	7.1	35.7
奥春別地区 (n=9)	33.3	66.7	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	0.0	22.2
御卒別地区 (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最栄利別地区 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0
鑑別地区 (n=13)	7.7	46.2	0.0	15.4	30.8	23.1	0.0	7.7	30.8
仁多地区 (n=9)	44.4	55.6	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	44.4
南屈斜路地区 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (n=7)	28.6	57.1	0.0	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0

	その他	無回答
全体 (n=394)	2.3	4.1
弟子屈地区 (n=271)	1.8	4.1
川湯市街地区 (n=26)	0.0	0.0
川湯駅前地区 (n=9)	0.0	0.0
跡佐登地区 (n=4)	0.0	0.0
仁伏地区 (n=3)	0.0	0.0
屈斜路地区 (n=20)	5.0	0.0
札友内地区 (n=5)	20.0	0.0
美留和地区 (n=14)	7.1	7.1
奥春別地区 (n=9)	11.1	0.0
御卒別地区 (n=1)	0.0	0.0
最栄利別地区 (n=2)	0.0	0.0
鑑別地区 (n=13)	0.0	7.7
仁多地区 (n=9)	0.0	11.1
南屈斜路地区 (n=1)	0.0	100.0
無回答 (n=7)	0.0	14.3

※網掛している属性は、回答者数が少ないので、参考値としてみるのが望ましい。

4 町への意見や要望

問 22 よりよいまちづくりに向けて、あなたのご意見を下欄に自由にお書きください。

本町への意見や要望として、アンケート回答者 394 人の 36.8%にあたる 145 人から回答をいただきました。

回答の傾向を見ると、豊かな自然環境や景観の保全を求める意見が多い一方で、若者の転出防止や増加対策を希望する意見、人口増加に向けて移住者の増加を求める意見も多くなっています。

また、産業については、観光資源の活用による観光産業の活性化、農業と連携した産業の活性化、それによる就業機会の確保等の意見も多く見られる結果となっています。

〔意見例〕

- ・弟子屈には豊富な自然と美味しい食べ物がたくさんあって大好きです。外の人たちにもそれをもっともっと知って頂ける工夫が必要だと思いますし、知って欲しいと本当に思います。(30代、女性)
- ・美しい湖が2つ、豊かな川や山々がこの町の魅力だと思います。その景観に憧れて移住する人も多くいます。(略) 世界にも誇ることができる自然を活かしていきたいものです。(40代、男性)
- ・温泉があるのに活かしていない。(略) 温泉に特化すべき。誇れる温泉があるのに活かしていない。7,000人を割った弟子屈に雇用をつくるにはどうしたら良いか。企業を誘致するしか方法はない。企業をどうしたら来るか考えるべき。(50代、男性)
- ・高校生まで弟子屈町に住んでいましたが、人口減少と町があまりにも静かになっています。温泉地のホテルの数も少なくなっています。他の町の人「せっかく良い温泉があるのに勿体ない」と言われています。昔のように活気がある町になるよう頑張ってください。(50代、女性)
- ・人口減少には働き口を確保することが大切と思う。(60代、男性)
- ・弟子屈町の魅力は豊かな観光資源があること。これを活かすために従来のありきたりなやり方ではなく、新しい視点で思い切った方策を行って、多くの観光客を呼び入れること。そうすれば自ずと地域活性し雇用も生まれ、魅力的な町になると思う。(60代、女性)
- ・町に何か活気がないように思います。子どもや高齢者が集まる場所があるといいですね。もっと気軽に行く足があるといいと思います。温泉の町なのに入れるところが少ないと思います。(70代、男性)
- ・弟子屈町に移住を決めたのは大きな自然を楽しむことと交通（飛行場を含めて）の要になっていたことでした。こんな素晴らしい自然を多くの人に知ってもらいたいと思っています。(略) 私の友人たちは弟子屈町の自然を羨ましがっています。(70代、女性)
- ・摩周湖、屈斜路湖、硫黄山、温泉。自然に恵まれたところだと思います。それを大事に観光に力を入れたらと思います。酪農、畑作など大事に観光客に売ってください。それと図書館も子どもから高齢者まで入れるようなところだと良いですね。(70代、女性)

「第6次弟子屈町総合計画」及び「人口ビジョン・次期てしかがまち・ひと・しごと創生戦略」
策定に向けて

弟子屈町 町民アンケート調査

にご協力をお願いします。

平素より、本町の行政運営にあたりましては町民の皆様よりご協力をいただき、誠に有り難うございます。

現在、弟子屈町では、「第6次弟子屈町総合計画」及び「人口ビジョン・次期てしかがまち・ひと・しごと創生戦略」の見直しに向けて準備を進めております。

さて、令和4（2022）年度から新たに始まる『第6次弟子屈町総合計画』は、本町のまちづくりを進める上での大きな指針となるものであり、行政運営の最上位計画と位置付けられています。

また、同じく令和4（2022）年度から新たに始まる「人口ビジョン・次期てしかがまち・ひと・しごと創生戦略」は、本町における人口減少や若い世代の雇用、結婚、子育て等の課題解決を図り、魅力的な地域の創生を推進するため、人口の将来展望を示す「人口ビジョン」、及び地域の実情に応じた目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「創生戦略」から成るものです。

これらの新しい計画の検討にあたりましては、広く町民の皆様のご意見をお聞きし、参考にさせていただき所存でございますが、町民の皆様への町へのご意見や評価は、適切なまちづくりを進める上での大きな指針となることから、アンケート調査を実施することとなりました。

このアンケート調査は、新しいまちづくりの計画策定の貴重な資料として活用させていただくため、幅広く回答いただく内容となっています。

皆様におかれましては、将来の弟子屈町のために、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年1月吉日

弟子屈町長 徳永 哲雄

ご記入に際して

1. 本アンケートは、住民基本台帳（18歳以上の方）から1,000名を無作為に抽出し、ご送付しています。したがって、アンケート票には必ずご本人の方がご記入ください。
2. 該当する選択肢の番号を○印で囲んでください。
3. ご記入が済みましたら、誠に恐縮ですが、同封の返信用封筒に入れて
令和3年1月18日（月）までにご投函ください。（※切手を貼る必要はありません。）
4. アンケート票は機械的に処理されますので、回答者ご本人が特定されることはありません。
5. 記入の不明な点、調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お問い合わせ先】 弟子屈町 まちづくり政策課 政策調整係 担当 鶴田・大井

TEL 015 (482) 2913

総合計画について（ミニ知識）



○総合計画とは

将来のまちづくりの方向を定め、それを実現するための手段などを示す、町の計画の中で最も上位に位置づけられる計画です。

まちづくりを総合的かつ計画的に進めることを目的とし、まちづくりの長期的な展望を示します。

この計画に基づいて、本町の様々なまちづくりに関する事業が進められます。

○計画期間

現在準備を進めている新しい総合計画の計画期間は、令和4年度から令和11年度までの8年間です。

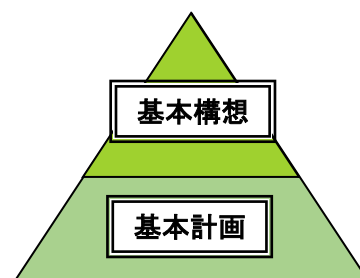
○計画の構成

総合計画は、次の2層による構成を予定しています。

☞町の将来像などを示す「基本構想」

☞基本構想を実現するため方法を示す「基本計画」

※「基本計画」は中間見直しを行う予定です。



町民アンケート調査で回答いただいた結果（町民のみなさまのご意向）等に基づき、計画を策定します。

※総合計画の策定状況については、広報紙やホームページでお知らせします。

問1 あなたの性別をおたずねします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの満年齢をおたずねします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18～19 歳 | 2. 20～29 歳 | 3. 30～39 歳 |
| 4. 40～49 歳 | 5. 50～59 歳 | 6. 60～69 歳 |
| 7. 70～79 歳 | 8. 80 歳以上 | |

問3 あなたの家族構成をおたずねします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|---------------------|-----------|
| 1. 一人世帯 | 2. 夫婦のみ | 3. 夫婦と子ども |
| 4. ひとり親と子ども | 5. 夫婦と親と子ども (三世代同居) | |
| 6. その他 () | | |

問4 あなたのお住いの地区をおたずねします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 1. 弟子屈地区 | 2. 川湯市街地区 | 3. 川湯駅前地区 |
| 4. 跡佐登地区 | 5. 仁伏地区 | 6. 屈斜路地区 |
| 7. 札友内地区 | 8. 美留和地区 | 9. 奥春別地区 |
| 10. 御卒別地区 | 11. 最栄利別地区 | 12. 鑑別地区 |
| 13. 仁多地区 | 14. 南屈斜路地区 | |

問5 あなたは弟子屈町にお住まいになって、通算何年になりますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|----------|------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年～9年 | 3. 10年～19年 |
| 4. 20～29年 | 5. 30年以上 | |

問6 あなたの通勤・通学先はどこですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-----------|------|
| 1. 町内 | 2. 町外 () | 市町村) |
|-------|-----------|------|

問7 あなたの職業についておたずねします。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|--------------|----------------|
| 1. 会社員、公務員 | 2. 自営業 | 3. 農業 |
| 4. 林業 | 5. パート・アルバイト | 6. 家事専業者 (主婦等) |
| 7. 学生 | 8. 無職 | 9. その他 () |

問 8 弟子屈町はあなたにとって住みよいまちだと思えますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|------------------|-----------------|--------|
| 1. 住みよい | 2. どちらかといえば住みよい | 3. ふつう |
| 4. あまり住みよいとは言えない | 5. 住みにくい | |

問 9 あなたは将来も引き続き、弟子屈町に住みたいと思えますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 2. ある程度住み続けたい | 3. できれば転居したい |
| 4. 転居したい | 5. わからない | |

問 10 問 9 で「3. できれば転居したい」または「4. 転居したい」と答えた方におたずねします。転居したい理由は何ですか。あてはまる番号に 2 つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. 生活に不便がある | 2. 自然環境が悪い |
| 3. 文化・教育環境が悪い | 4. 通勤・通学に時間がかかる |
| 5. 道路事情が悪い | 6. バスや鉄道等の利便性が悪い |
| 7. 隣近所との人間関係 | 8. 町への愛着や郷土意識が持てない |
| 9. 働く場所や仕事がない | 10. 娯楽施設がない |
| 11. その他 () | |

問 11 本町は今後も人口が減少していくことが見込まれますが、人口減少に歯止めをかけ、本町の持続ある発展を目指すためには、どのような取り組みが必要とお考えですか。あてはまる番号に 2 つまで○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 産業を振興し、雇用の創出を図る取り組み |
| 2. 空家活用や住宅整備等による、移住や定住を促進する取り組み |
| 3. 結婚・出産・子育てを支援し、安心して子どもを産み育てるための取り組み |
| 4. 地震や土砂災害等の防災対策による、安全に暮らせるための取り組み |
| 5. 介護や福祉制度の充実など、高齢者も安心して暮らせるための取り組み |
| 6. 子どもへの教育等を通じて、郷土愛を育む取り組み |
| 7. その他 () |

問 12 弟子屈町の生活環境やまちづくり、町政等について「満足度」と「重要度」についておたずねします。以下の 60 ある項目の「満足度」と「重要度」それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

【環境】について

	満足度					重要度				
	大変満足している	満足している	ふつう	あまり満足していない	満足していない	大変重要である	重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない
■「満足度」と「重要度」それぞれについて、1つずつ○										
※回答例（それぞれ1つに○）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1 摩周湖、屈斜路湖、釧路川などの自然環境保護	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 周囲の自然環境と調和する街並み景観の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 緑化や花いっぱい運動などの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 自然開発におけるルールづくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 省資源や省エネルギー化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 ごみの分別収集の徹底とリサイクルの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7 新エネルギーなど CO2 を削減する環境保全の推進と啓発	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【産業活性化について】

	満足度					重要度				
	大変満足している	満足している	ふつう	あまり満足していない	満足していない	大変重要である	重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない
■「満足度」と「重要度」それぞれについて、 1つずつ○										
8 地域の特産品、お土産などの開発	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9 地域資源などの活用による起業の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10 市場性の高い新作物や加工品の研究開発	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11 通年雇用型の企業の誘致	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12 若者が働ける職場づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13 既存企業の育成・振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14 地元農産物の販売環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15 地域密着型の安心できる商店の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16 買い物に来やすい商店街の環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17 町民と連携した地産地消への積極的な取り組みの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18 温泉保養やスポーツを生かした宿泊や滞在型観光の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19 カヌーや釣り、農業体験などの体験型観光の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20 サービスの向上など魅力ある宿泊施設づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【暮らしについて】

	満足度					重要度				
	大変満足している	満足している	ふつう	あまり満足していない	満足していない	大変重要である	重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない
■「満足度」と「重要度」それぞれについて、 1つずつ〇										
21 検（健）診など健康づくり事業の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22 医療施設の診療科目、救急体制の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23 医療費助成の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24 福祉施設の整備や福祉サービスの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25 高齢者のための健康・生きがいづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
26 自立支援や在宅介護など障がい者 （児）福祉制度の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27 子どもを安心して産み育てるための 保健医療の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
28 母子・父子家庭福祉サービスの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
29 保育所など地域の子育て支援サービス 体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
30 子育てしやすいまちづくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31 町ぐるみで育児支援ができる行政と 町民の協働推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
32 下水道の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
33 観光のまちにふさわしい街並み、景観 の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
34 公園、子どもの遊び場、散策路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
35 安全な通行と輸送などのための道路 整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
36 自宅周辺や幹線道路の除雪や排雪	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
37 通勤・通学・買い物・病院への通院な どの移動の利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
38 消防救急・防災防犯体制と関連施設や 設備などの整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
39 学校施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【教育について】

	満足度					重要度				
	大変満足している	満足している	ふつう	あまり満足していない	満足していない	大変重要である	重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない
■「満足度」と「重要度」それぞれについて、 1つずつ○										
40 教育教材や保護者の負担軽減などの教育環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
41 幼児教育施設や機能の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
42 生涯学習機会の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
43 図書館や資料館などの施設や機能の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
44 芸術や文化にふれられる機会の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
45 スポーツ環境の充実や施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
46 アウトドアライフを楽しめる施設や機能の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【人材について】

	満足度					重要度				
	大変満足している	満足している	ふつう	あまり満足していない	満足していない	大変重要である	重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない
■「満足度」と「重要度」それぞれについて、 1つずつ○										
47 人材育成の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
48 弟子屈町のことを学ぶ機会の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
49 団体やサークル、リーダーの育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
50 町民同士や団体同士の連携や協力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
51 他地域へ誇る郷土愛を育む学習や町の魅力を高める活動参加機会の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
52 姉妹都市交流や多様な交流機会などの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【行政について】

	満足度					重要度				
	大変満足している	満足している	ふつう	あまり満足していない	満足していない	大変重要である	重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない
■「満足度」と「重要度」それぞれについて、 1つずつ〇										
53 町民主体のまちづくり活動への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
54 地域コミュニティー会館の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
55 バリアフリー化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
56 広報や町ホームページ、広聴の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
57 インターネット、ラジオ、テレビなどの 地域情報基盤の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
58 行政サービスの向上と迅速化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
59 政策の考え方の公表(施策の説明責任)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
60 財政の健全化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 14 あなたが持つ、理想とする将来の弟子屈町のイメージはどのようなものですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 湖や河川などの自然に親しめる環境が豊かなうるおいのあるまち
2. 自然環境を活用した観光地や山の幸等を使った特産品がある観光農林業のまち
3. 湖や森林など美しい景観が守られた自然環境に恵まれたまち
4. 健康でスポーツが盛んなまち
5. いつでも自由に学べる生涯学習のまち
6. ボランティア活動、地域活動等が活発な住民自治の進んだまち
7. 安心して子どもを育てられる環境の整ったまち
8. 安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち
9. 商業施設の整った便利でにぎわいのあるまち
10. 住宅スペースにゆとりがあり、景観や道路等、生活環境が整備された住みよいまち
11. 道路、公園、下水道等の都市基盤が整ったまち
12. 施設等が充実した教育環境のよいまち
13. 災害に強い安全なまち
14. 行政運営やまちづくりに参加しやすいまち
15. その他 ()

問 15 働く場づくりと雇用の促進に向け、どのような取り組みに力を入れるべきとお考えですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 企業の誘致による雇用の創出
2. 企業の留置対策による雇用の確保
3. 町外ネットワーク（町出身者等）との連携による起業・事業所への弟子屈町のPR
4. 企業や事業所の事業継承支援
5. 農業の活性化による新規就農の促進
6. 林業の活性化による新規就業者の確保
7. 観光促進によるサービス事業者の増加
8. 空家や空き事務所を作業場・事務所として活用することによる就労場所の創出
9. 在宅勤務・サテライトオフィス※に向けた通信環境等に対する支援
10. その他 ()

※サテライトオフィス：通信機能を整備し、本社や拠点事務所から離れた場所に設ける事務所

問 16 本町へ移住・U I J ターンを促し、転入者を増加させるために、どのような取り組みに力を入れるべきとお考えですか。あてはまる番号に4つまで○をつけてください。

(Uターンは、本町から他市町村へ移住したあと、再び本町へ戻ること。Iターンは、他市町村から本町へ移住すること。Jターンは出身地から別の市町村へ移住したあと、出身地近くの本町へ移住すること。)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 仕事に関する情報サイト*の設置2. 暮らしに関する情報サイトの設置3. 空家・空き部屋等の居住に関する情報サイトの設置4. 仕事に関する相談窓口の設置5. 暮らしに関する相談窓口の設置6. 空家・空き部屋等の居住に関する相談窓口の設置7. 都会での移住・U I J ターンに関する説明会・相談会の開催8. 移住・U I J ターンに向けた試験的な居住体験の実施9. 移住・U I J ターン後の支援体制の充実10. インターンシップや就業体験への支援11. 郷土愛を育む取り組み12. 保育所やファミリー・サポートなど働きながら子育てできる環境の整備13. 町営住宅への優先入居など、子育て世代の住宅支援14. 介護や福祉制度の充実など、高齢者も安心して暮らせるための取り組み15. その他 () |
|--|

*情報サイト：情報の掲載されたホームページ等

問 17 この10年間で、本町へ移住・U I J ターンをされた方におたずねします。転入する前に本町の情報はどのように得られましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 親戚や友人・知人から情報を得た2. 不動産業者から情報を得た3. 町のホームページから情報を得た4. 町以外のホームページや情報誌などから情報を得た5. 町に直接問い合わせた6. 以前から知っていた7. 特に情報を得なかった8. その他 () |
|--|

問 21 地域経済の活性化に向けて、どのような取り組みに力を入れるべきとお考えですか。あてはまる番号に2つまで○をつけてください。

1. 若者の就職活動の支援
2. 若い世代の正規雇用など経済的な安定化
3. 新規作目の導入による農地（農業）の活性化
4. 安全で付加価値の高い農産物などの生産と特産品のPR
5. 地域の農林産物を活用した6次産業化^{※1}やブランド化の推進
6. 地域資源を活用した着地型観光^{※2}やグリーンツーリズム等の促進
7. 木質バイオマスの循環による林業振興と雇用創出
8. 農林業と、農産物直売所との連携強化
9. 高齢者も副業的にできる手軽な作業や仕事の創出
10. その他（)

※1 6次産業化：1次産業（農林業）と、2次産業（製造業）、及び3次産業（小売業等）の事業を総合的かつ一体的な推進を図り、農山村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取り組み

※2 着地型観光：観光客の受け入れ先が地元ならではのプログラムを企画し、参加者が現地集合、現地解散する観光の形態

問 22 よりよいまちづくりに向けて、あなたのご意見を下欄に自由にお書きください。

ご質問は以上です。
ご協力いただき、大変有り難うございました。

この調査票は、同封の封筒に三つ折りにして入れ、
切手を貼らずに、令和3年1月18日（月）まで
お近くのポストに投函してください。



